

鳥取市高齢者一般調査委託業務

健康とくらしの調査
報告書

令和2年3月

鳥取市

一般社団法人 日本老年学的評価研究機構

目次

1．はじめに	1
2．本報告書を読む際の注意	1
3．調査実施の概要	2
4．集計数・集計項目・回答の修正方法について	2
5．要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク	7
6．要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較	27
7．保険者独自項目の調査結果	38
(資料) 基礎集計表	69

1 . はじめに

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すことを指針として提示している。また、高齢者人口がピークに達する2040年を見据えた地域共生社会の実現や、その実現のための、介護予防・地域づくりの推進～健康寿命の延伸～、保険者機能の強化等を意識した計画立案が求められる。

本報告書は、日本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクトの研究知見に基づき、特に介護予防や地域づくりにフォーカスをして、本調査結果としてまとめたものである。

2 . 本報告書を読む際の注意

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率(%)を表記し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合がある。また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問(複数回答)では、回答率が通常100.0%を上回る。
- (2) 調査結果の分析記述においては、誤差を考慮し、回答者数が30人未満の場合は、分析の対象からは除いている。また、本報告書全体について、分析記述の基本的考え方は、6頁の「4.(4)分析記述の基本的考え方」を参照。
- (3) 分析記述やグラフ・数表上で次の略称を使用している。
 - n : 回答者の数
 - : 回答者がいないもの
 - 0.0 : 表章単位に満たないが、回答者がいるもの
- (4) 「7. 保険者独自項目の調査結果」及び「(資料)基礎集計表」においては、スペースの都合上、調査票の質問文や選択肢を一部短縮している部分がある。

3 . 調査実施の概要

調査対象者：令和元年 11 月 25 日時点¹で 65 歳以上である高齢者

対象者数：6,300 人

調査方法：郵送法

調査期間：令和 2 年 1 月 6 日～令和 2 年 1 月 27 日²

回収結果（回収率）：4,248 票（67.4%）

4 . 集計数・集計項目・回答の修正方法について

（ 1 ）集計数についての注意

投函締切の 1 ヶ月後までに自治体に返送された調査票のうち、記入された対象者の年齢が「65 歳未満」の票は対象外とし、年齢が「無回答」の調査票は、原則として対象者データから補正した。また保険者の中には要介護者と要支援者、事業対象者も調査対象者に含めている保険者がある³。本来ならば同一条件で集計するところであるが、本報告書ではこれらの対象者の回答も合わせて集計している。そのため調査結果の分析の「第 2 期参加自治体」全体での割合との比較を読む際は留意する必要がある。また、集計には、調査票 ID を切り取って返送された場合等による小地域不明者も含めているが、「6 . 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較」において、小地域不明者の集計結果は掲載していない。回収数と集計数の結果は以下のとおりである。

市町村	回収数	集計数
鳥取市	4,248	4,230

¹ この基準日は鳥取市が調査対象者の抽出を行った日であり、基準日は自治体によってそれぞれ異なる。

² 本調査プロジェクトは 56 介護保険者 63 市町村が参加し、11 月 25 日～2 月 10 日の調査期間を 3 分割して実施された。1 月 6 日～1 月 27 日に調査を実施した保険者は、八戸市、六戸町、五戸町、南部町(青森県)、岩沼市(宮城県)、葛尾村(福島県)、さいたま市(埼玉県)、市川市(千葉県)、町田市(東京都)、森町(静岡県)、知多北部広域連合、半田市、常滑市、武豊町(愛知県)、神戸市、多可町(兵庫県)、鳥取市(鳥取県)、臼杵市(大分県)の 18 保険者を「第 2 期参加自治体」と表記する。なお平成 28 年度調査では、市町村の規模別に調査期間を分けていたが、今回の調査では同じ期間に行っている市町村でも、その規模は大小さまざまとなっている。

³ 「第 2 期参加自治体」の調査対象者の詳細は 6 頁の「4 . (5) 各保険者の調査対象者」を参照。

(2) 各集計項目(20項目)の定義

各集計項目の定義は以下のとおりである。

各集計項目分析は、「第2期参加自治体」全体での割合との比較を中心に行った。

「要介護リスク」

要介護リスク	設問番号	定義
フレイルあり割合	問4-1で「できるけど、していない」「できない」 問4-2で「できるけど、していない」「できない」 問4-5で「できるけど、していない」「できない」 問4-10で「いいえ」/問4-11で「いいえ」 問3-6で「できるけど、していない」「できない」 問3-7で「できるけど、していない」「できない」 問4-14で「できるけど、していない」「できない」 問3-4で「何度もある」「1度ある」 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」 問11-4で「はい」/問11-3より、BMI=18.5未満 問2-1で「はい」/問2-2で「はい」 問2-3で「はい」 問3-1で「月1~3回」「年に数回」「していない」 問3-2で「とても減っている」「減っている」 問4-15で「はい」/問4-16で「いいえ」 問4-17で「はい」/問10-16で「はい」 問10-17で「はい」/問10-18で「はい」 問10-19で「はい」/問10-20「はい」	25項目中8項目以上該当
運動機能低下者割合	問3-6で「できない」/問3-7で「できない」 問4-14で「できない」 問3-4で「何度もある」「1度ある」 問3-5で「とても不安である」「やや不安である」	5項目中3項目以上該当
1年間の転倒あり割合	問3-4で「何度もある」「1度ある」	1項目中1項目該当
物忘れが多い者の割合	問4-18で「はい」	1項目中1項目該当
閉じこもり者割合	問3-1で「月1~3回」「年に数回」「していない」	1項目中1項目該当
うつ割合	問10-16で「はい」/問10-17で「はい」 問10-18で「はい」/問10-19で「はい」 問10-20で「はい」	5項目中2項目以上
口腔機能低下者割合	問2-1で「はい」/問2-2で「はい」 問2-3で「はい」	3項目中2項目以上該当
低栄養の傾向	問11-3より、BMI=18.5未満	1項目中1項目該当

要支援・要介護リスク者割合(要支援・要介護リスク評価尺度による算出)	問 11-1 で「男性」が1点、 問 11-2 で「65-66歳」が0点、「67-68歳」が1点、「69歳」が3点、「70歳」が4点、「71歳」が6点、「72歳」が7点、「73歳」が9点、「74歳」が10点、「75-76歳」が12点、「77歳」が13点、「78歳」が14点、「79歳」が15点、「80歳」が17点、「81歳」が18点、「82-83歳」が19点、「84-85歳」が21点、「86-87歳」が22点、「88-89歳」が23点、90歳以上が24点 問 4-1 で「できない」が2点 問 4-2 で「できない」が3点 問 4-5 で「できない」が2点 問 3-6 で「できるけど、していない」「できない」が3点 問 3-7 で「できるけど、していない」「できない」が2点 問 4-14 で「できるけど、していない」「できない」が1点 問 3-4 で「何度もある」「1度ある」が2点 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」が2点 問 11-3 より、BMI=18.5未滿が3点 問 3-2 で「とても減っている」「減っている」が3点	48点中17点以上
認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	問 4-15 で「はい」/問 4-16 で「いいえ」 問 4-17 で「はい」	3項目中1項目該当
IADL(自立度)低下者割合	問 4-1 で「できない」/問 4-2 で「できない」 問 4-3 で「できない」/問 4-4 で「できない」 問 4-5 で「できない」	5項目中1項目該当
幸福感がある者の割合	問 11-5 で「8」「9」「10」	8以上

「就労」

就労	設問番号	定義
就労していない者の割合	問 14-1 で「退職して現在就労していない」「職に就いたことがない」	1項目中1項目該当

「社会参加」

社会参加	設問番号	定義
ボランティア参加者割合	問 6-1-1 で「週に4回以上」「週2~3回」「週1回」 「月に1~3回」	1項目中1項目該当
スポーツの会参加者割合	問 6-1-2 で「週に4回以上」「週2~3回」「週1回」 「月に1~3回」	1項目中1項目該当
趣味の会参加者割合	問 6-1-3 で「週に4回以上」「週2~3回」「週1回」 「月に1~3回」	1項目中1項目該当

学習・教養サークル参加者割合	問 6-1-6 で「週に 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月に 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
通いの場参加者割合	問 6-1-7 で「週に 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月に 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当
特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	問 6-1-8 で「週に 4 回以上」「週 2~3 回」「週 1 回」「月に 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当

「社会的ネットワーク」

社会的ネットワーク	設問番号	定義
友人知人と会う頻度が高い者の割合	問 7-1 で「週に 4 回以上」「週に 2~3 回」「週 1 回」「月 1~3 回」	1 項目中 1 項目該当

(3) 回答内容の修正について

集計では出来る限り対象者の回答を有効となるよう集計した。但し、集計を行うにあたり、修正等が必要な場合は修正処理を行った。主な修正内容は以下のとおりである。

設問番号・設問内容	修正処理内容
問 11-3 身長	1メートル未満や2メートル以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。
問 11-3 体重	○20kg 未満や 120kg 以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 ○「45.5kg」など、小数点以下まで記入をされたものは、小数点以下を四捨五入し、整数の体重に修正した。 ※45.5kg→46kg
問 11-6 自治体居住年数	「6カ月以上」の回答の場合は「1年」とした。また、「6か月未満」の回答の場合は「0(ゼロ)年」とした。
問 13-2 家族構成	○「1 一人暮らし」と 2-5 選択肢の複数回答の場合で、問 13-3)で 2 人以上だった場合や、3)同居家族質問が 2-12 の場合は「1 一人暮らし」を削除した。 ○「1 一人暮らし」で問 13-3)で 2 人以上だった場合や、同居家族で 2-12 に○がついていた場合は回答を削除した。
問 13-3 世帯人数	○「0(ゼロ)人」と回答があった場合には、「1人」とした。 ○「1人」と回答し、かつ、問 13-3)同居人で「2 配偶者(夫・妻)」を選択した場合は、「2人」とした。
※記入漏れを補正 問 13-3 同居人	問 13-2 家族構成で「2 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」、「3 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」と回答し、問 13-3 同居人で「2 配偶者(夫・妻)」が無かった場合は追加した。
※記入漏れを補正 「主設問」が「無回答」で、付問が「回答有り」の場合は、「主設問」にある選択肢の中から 1 つに判断できる場合は、記入が漏れたとみなして回答コードを補正した。	(例)問 5-1 が「無回答」で問 5-2 に回答があった場合は、問 5-1 を「1 はい」として集計した。

(4) 分析記述の基本的考え方

「第2期参加自治体」全体での割合との比較を中心に分析記述を行っており、その回答差が比較的大きい項目を分析記述の対象としている。記述の目安は下表のとおりである。

	第2期参加自治体平均	記述なし	やや高い／低い	高い／低い	とても高い／低い
①フレイルあり割合	23.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
②運動機能低下者割合	9.9	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
③1年間の転倒あり割合	25.5	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
④物忘れが多い者の割合	39.4	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑤閉じこもり者割合	4.3	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑥うつ割合	22.9	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑦口腔機能低下者割合	19.1	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑧低栄養の傾向	6.5	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑨要支援・要介護リスク者割合	42.3	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑩認知機能低下者割合	35.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑪IADL(自立度)低下者割合	11.0	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑫幸福感がある者の割合	44.4	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑬就労していない者の割合	65.1	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑭ボランティア参加者割合	11.7	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑮スポーツの会参加者割合	22.6	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑯趣味の会参加者割合	27.9	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑰学習・教養サークル参加者割合	7.8	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑱通いの場参加者割合	11.8	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑲特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	5.1	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑳友人知人と会う頻度が高い者の割合	67.9	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上

(5) 各保険者の調査対象者

「第2期参加自治体」の調査対象者は下表の通りである。

保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者	保険者名	要支援者	事業対象者
八戸市	含む	含む	市川市	含まない	含まない	武豊町	含まない	含む
六戸町	含む	含む	町田市	含む	含む	神戸市	含まない	含む
五戸町	含む	含む	森町	含む	含む	多可町	含まない	含まない
南部町	含む	含む	知多北部 広域連合	含む	含む	鳥取市	含む	含む
岩沼市	含む※	含む				臼杵市	含む	含む
葛尾村	含む	含む	半田市	含まない	含む	※岩沼市は要介護1～5を含む。		
さいたま市	含まない	含まない	常滑市	含まない	含む			

5 . 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワーク

(1) 要介護リスク：フレイルあり割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「フレイルあり割合」は「70-74歳」、「75-79歳」でやや高く、「65-69歳」で高く、「80-84歳」、「85歳以上」でとても高くなっている。

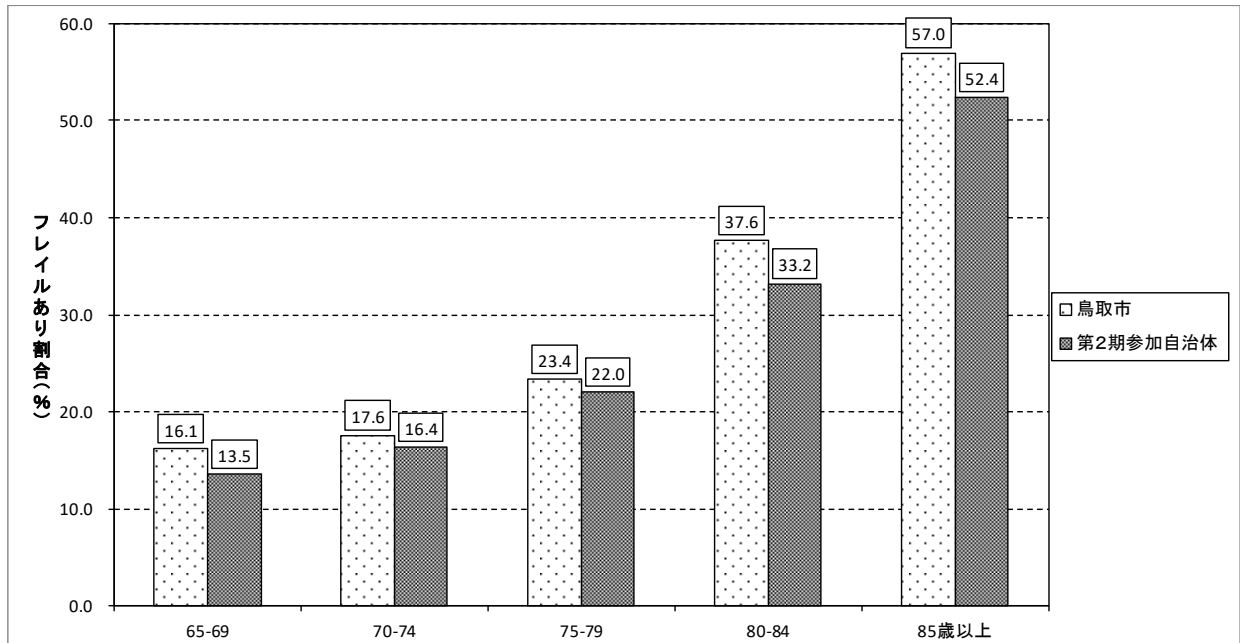


図1 フレイルあり割合

介護予防ニーズ： フレイルあり割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	186	190	193	255	281	1,105
	%	16.1	17.6	23.4	37.6	57.0	26.1
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	2,666	4,213	4,844	4,762	4,744	21,229
	%	13.5	16.4	22.0	33.2	52.4	23.4
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表1 フレイルあり割合

(2) 要介護リスク：運動機能低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「運動機能低下者割合」は「75-79歳」から「85歳以上」で高く、特に「80-84歳」、「85歳以上」ではとても高くなっている。

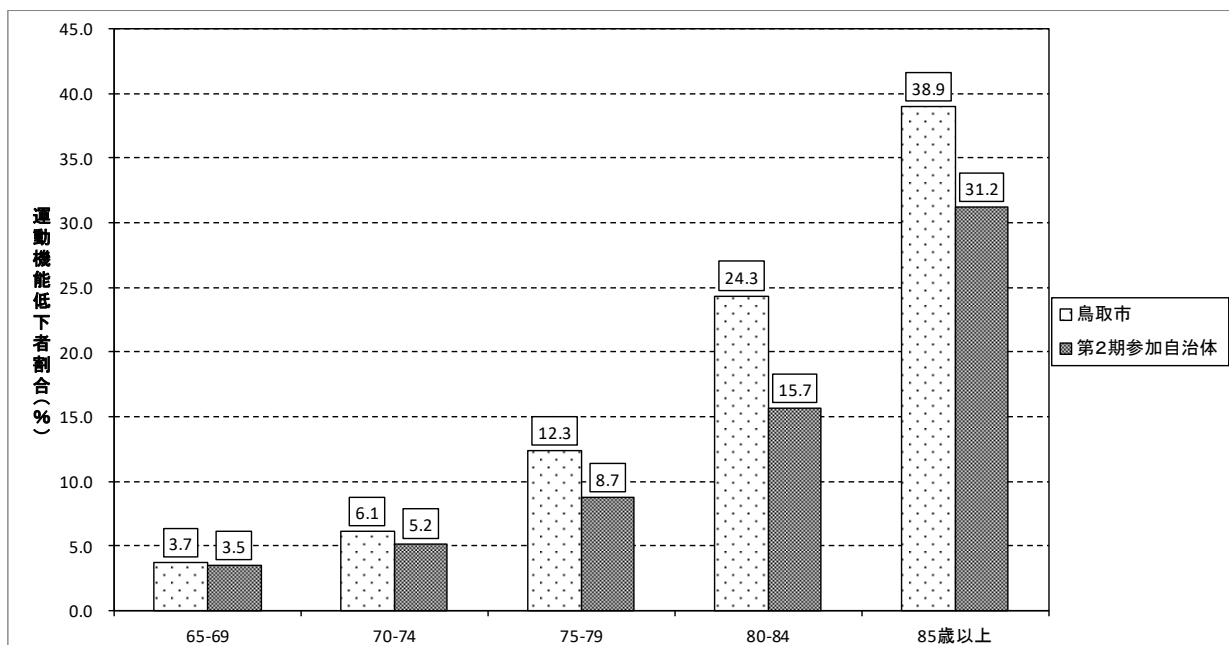


図2 運動機能低下者割合

介護予防ニーズ： 運動機能低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	43	66	102	165	192	568
	%	3.7	6.1	12.3	24.3	38.9	13.4
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	685	1,339	1,918	2,245	2,823	9,010
	%	3.5	5.2	8.7	15.7	31.2	9.9
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表2 運動機能低下者割合

(3) 要介護リスク：1年間の転倒あり割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「1年間の転倒あり割合」は「70-74歳」、「85歳以上」でやや高く、「80-84歳」でとても高い。「65-69歳」でやや低くなっている。

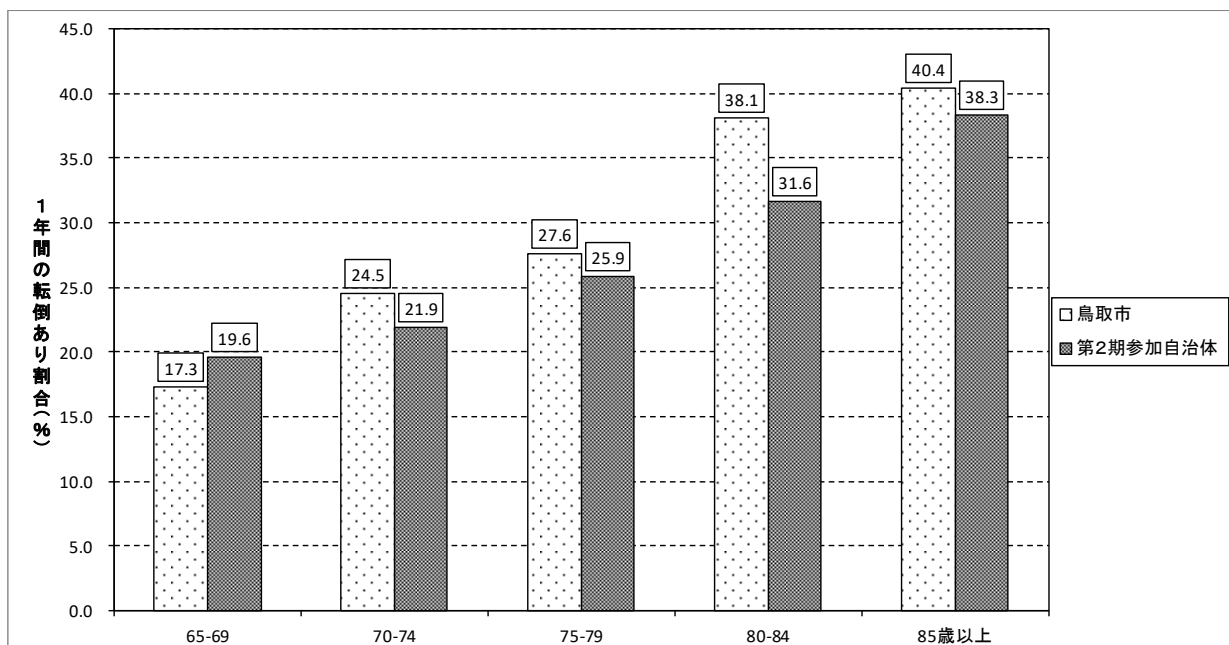


図3 1年間の転倒あり割合

介護予防ニーズ： 1年間の転倒あり割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	199	265	228	258	199	1,149
	%	17.3	24.5	27.6	38.1	40.4	27.2
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	3,860	5,638	5,688	4,539	3,466	23,191
	%	19.6	21.9	25.9	31.6	38.3	25.5
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表3 1年間の転倒あり割合

(4) 要介護リスク：物忘れが多い者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「物忘れが多い者の割合」は「85歳以上」でやや高く、「80-84歳」で高くなっている。

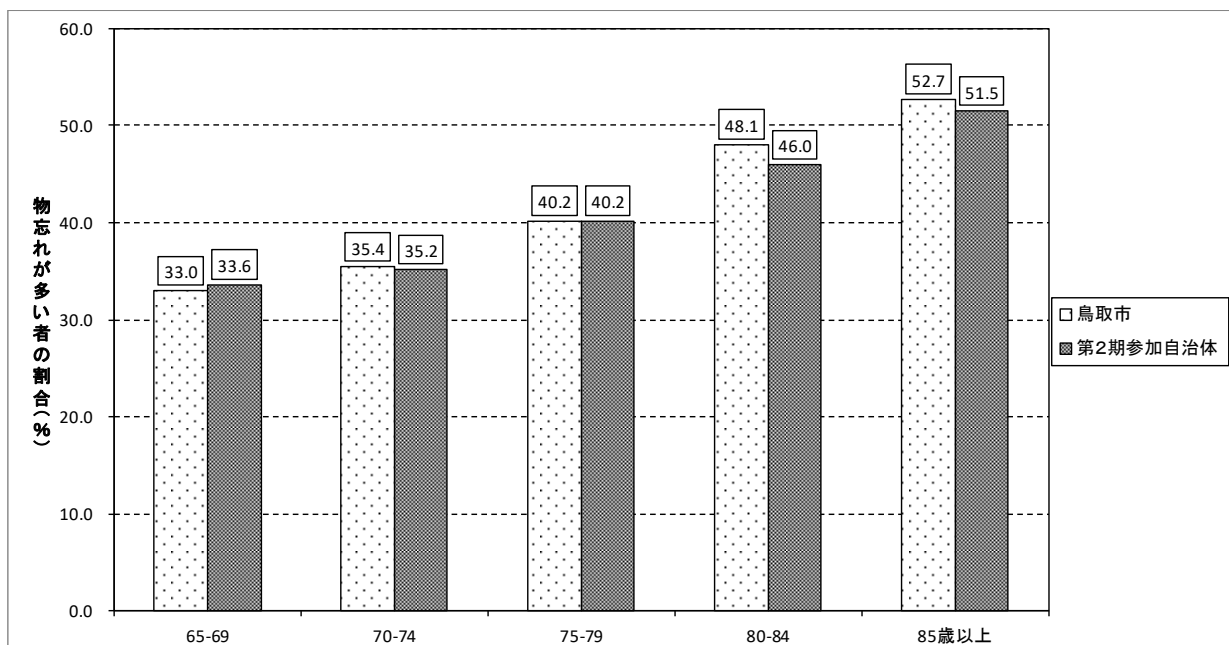


図4 物忘れが多い者の割合

介護予防ニーズ： 物忘れが多い者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	380	383	332	326	260	1,681
	%	33.0	35.4	40.2	48.1	52.7	39.7
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	6,631	9,049	8,843	6,596	4,661	35,780
	%	33.6	35.2	40.2	46.0	51.5	39.4
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表4 物忘れが多い者の割合

(5) 要介護リスク：閉じこもり者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「閉じこもり者割合」は「75-79歳」でやや高く、「80-84歳」、「85歳以上」で高くなっている。

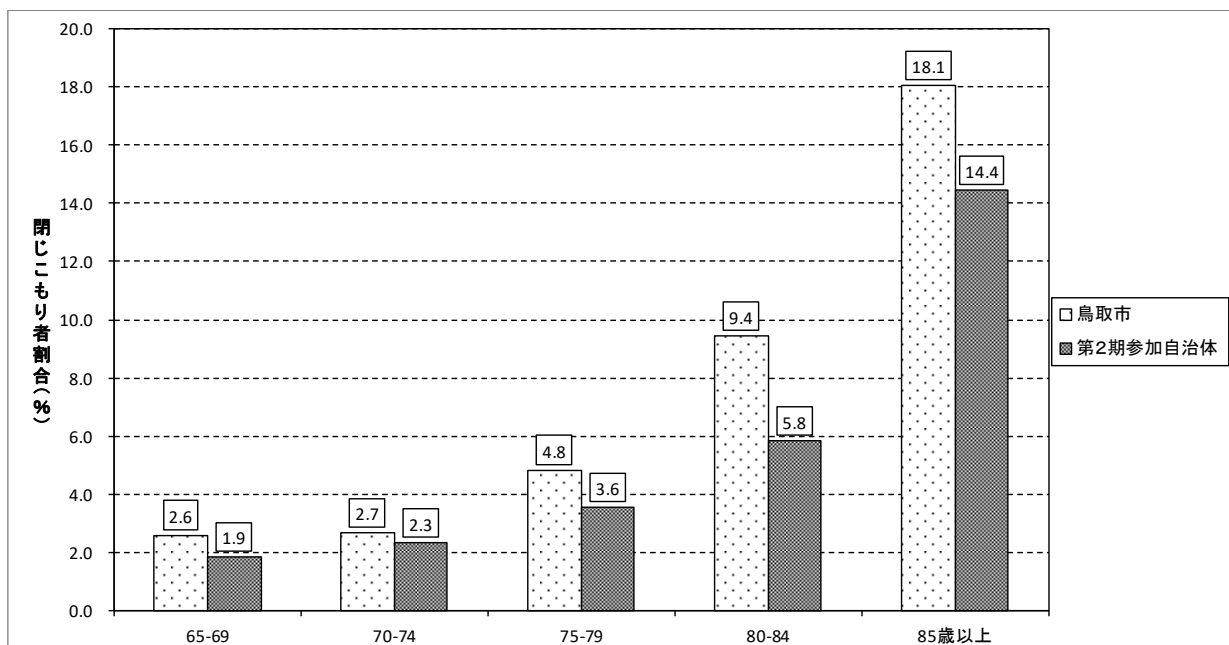


図5 閉じこもり者割合

介護予防ニーズ： 閉じこもり者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	30	29	40	64	89	252
	%	2.6	2.7	4.8	9.4	18.1	6.0
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	367	598	783	835	1,308	3,891
	%	1.9	2.3	3.6	5.8	14.4	4.3
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表5 閉じこもり者割合

(6) 要介護リスク：うつ割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「うつ割合」はすべての年齢で高く、特に「80-84歳」、「85歳以上」ではとても高くなっている。

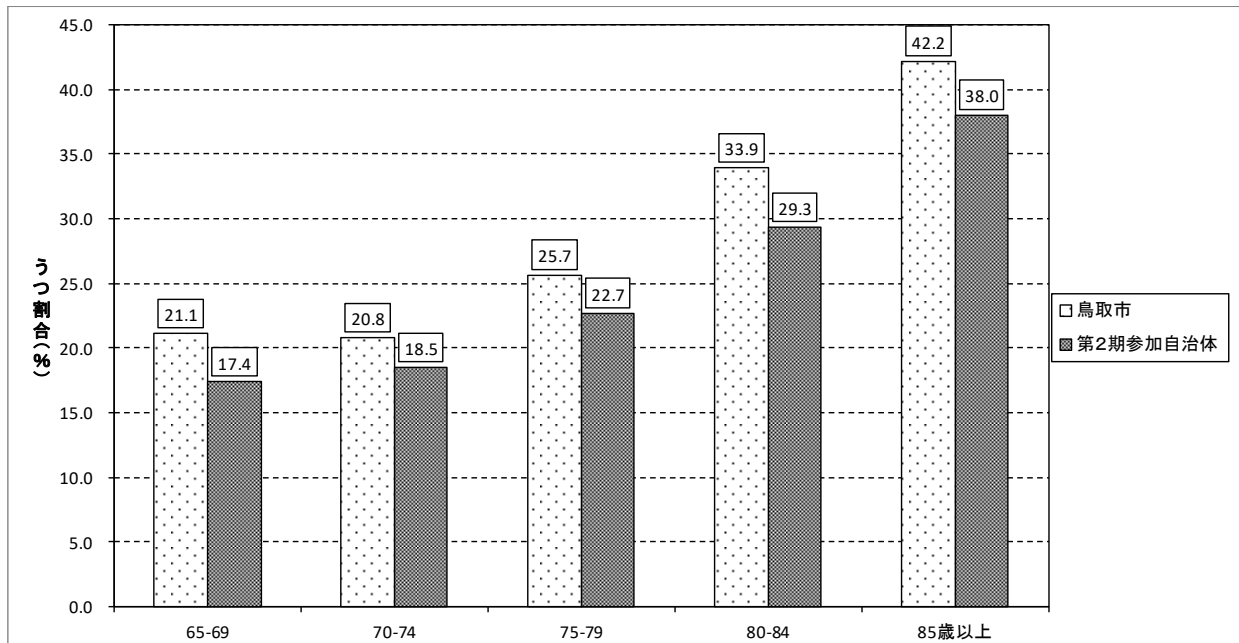


図6 うつ割合

介護予防ニーズ： うつ割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	243	225	212	230	208	1,118
	%	21.1	20.8	25.7	33.9	42.2	26.4
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	3,424	4,768	4,992	4,207	3,443	20,834
	%	17.4	18.5	22.7	29.3	38.0	22.9
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表6 うつ割合

(7) 要介護リスク：口腔機能低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「口腔機能低下者割合」は「85歳以上」で低くなっている。

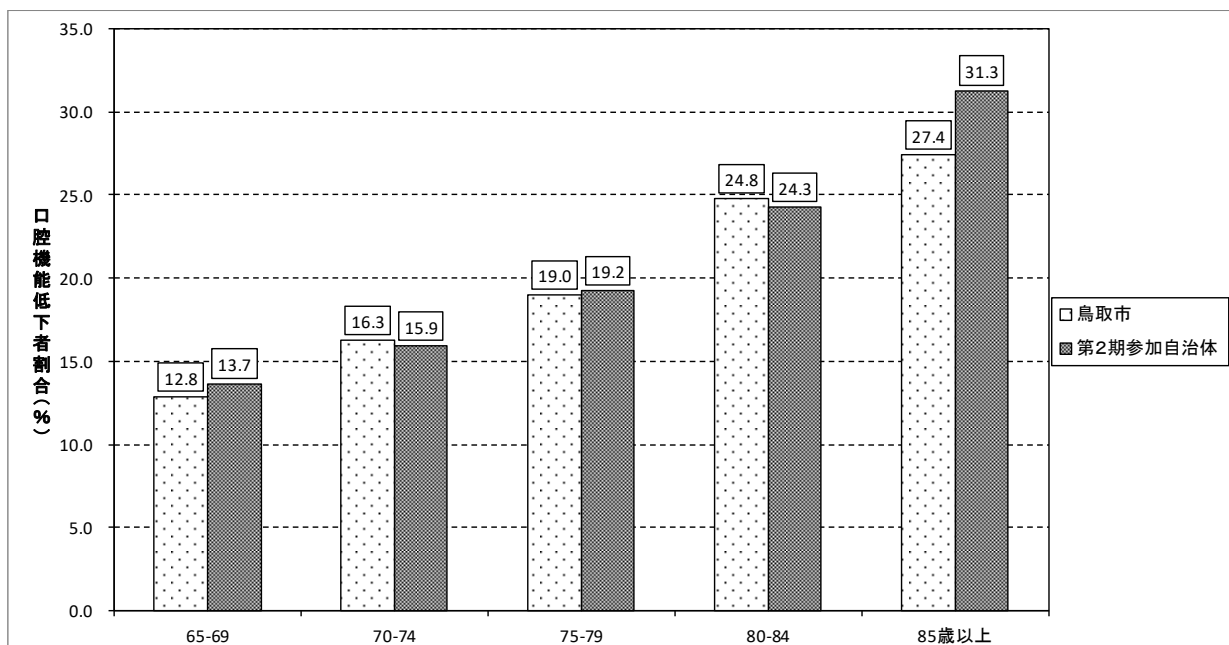


図7 口腔機能低下者割合

介護予防ニーズ： 口腔機能低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	148	176	157	168	135	784
	%	12.8	16.3	19.0	24.8	27.4	18.5
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	2,692	4,089	4,232	3,481	2,831	17,325
	%	13.7	15.9	19.2	24.3	31.3	19.1
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表7 口腔機能低下者割合

(8) 要介護リスク：低栄養の傾向割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「低栄養の傾向割合」は「65-69歳」、「75-79歳」、「85歳以上」でやや高い。「80-84歳」でやや低くなっている。

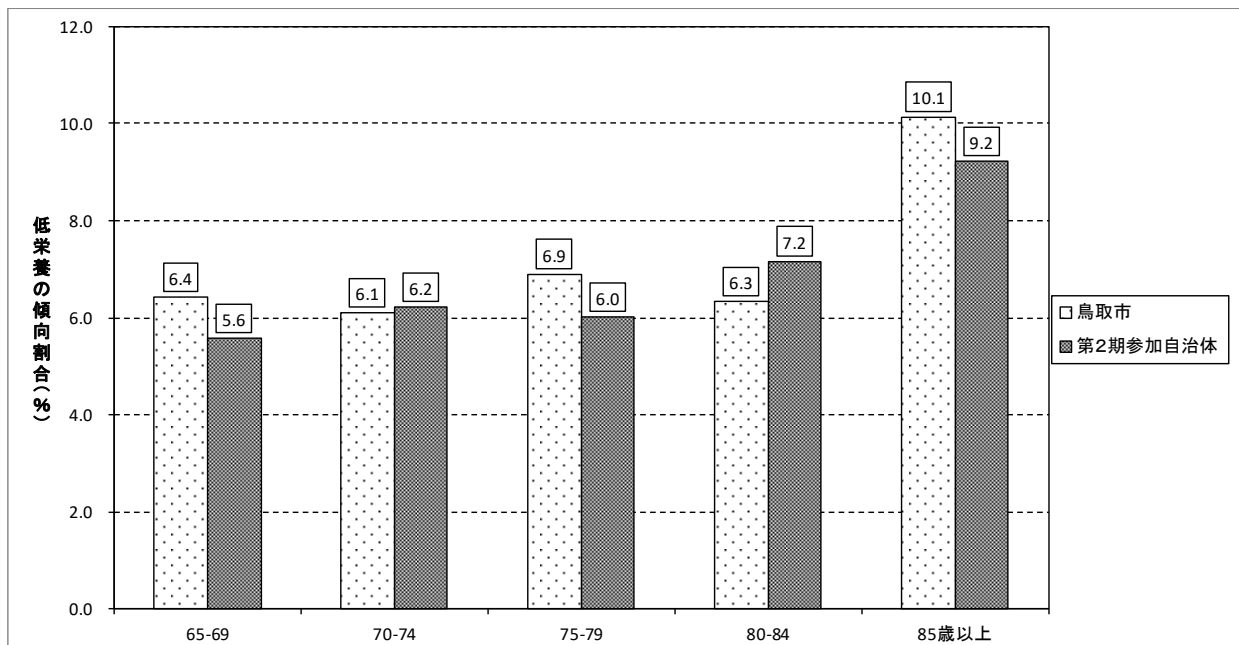


図 8 低栄養の傾向割合

介護予防ニーズ： 低栄養の傾向割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	74	66	57	43	50	290
	%	6.4	6.1	6.9	6.3	10.1	6.9
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	1,099	1,601	1,320	1,028	835	5,883
	%	5.6	6.2	6.0	7.2	9.2	6.5
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 8 低栄養の傾向割合

(9) 要介護リスク：要支援・要介護リスク者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「要支援・要介護リスク者割合」は「75-79歳」でやや高くなっている。

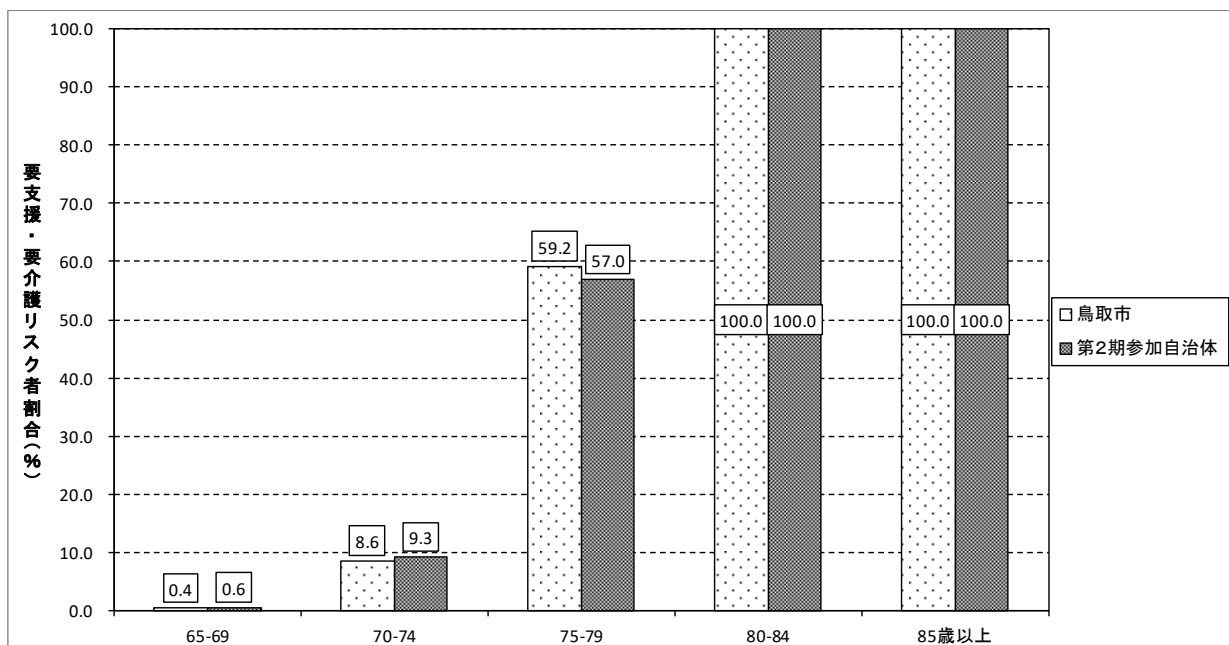


図9 要支援・要介護リスク者割合

介護予防ニーズ： 要支援・要介護リスク者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	5	93	489	678	493	1,758
	%	0.4	8.6	59.2	100.0	100.0	41.6
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	117	2,387	12,532	14,342	9,052	38,430
	%	0.6	9.3	57.0	100.0	100.0	42.3
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表9 要支援・要介護リスク者割合

(10) 要介護リスク：認知機能低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「認知機能低下者割合」は「75-79歳」でやや低く、「70-74歳」、「80-84歳」で低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

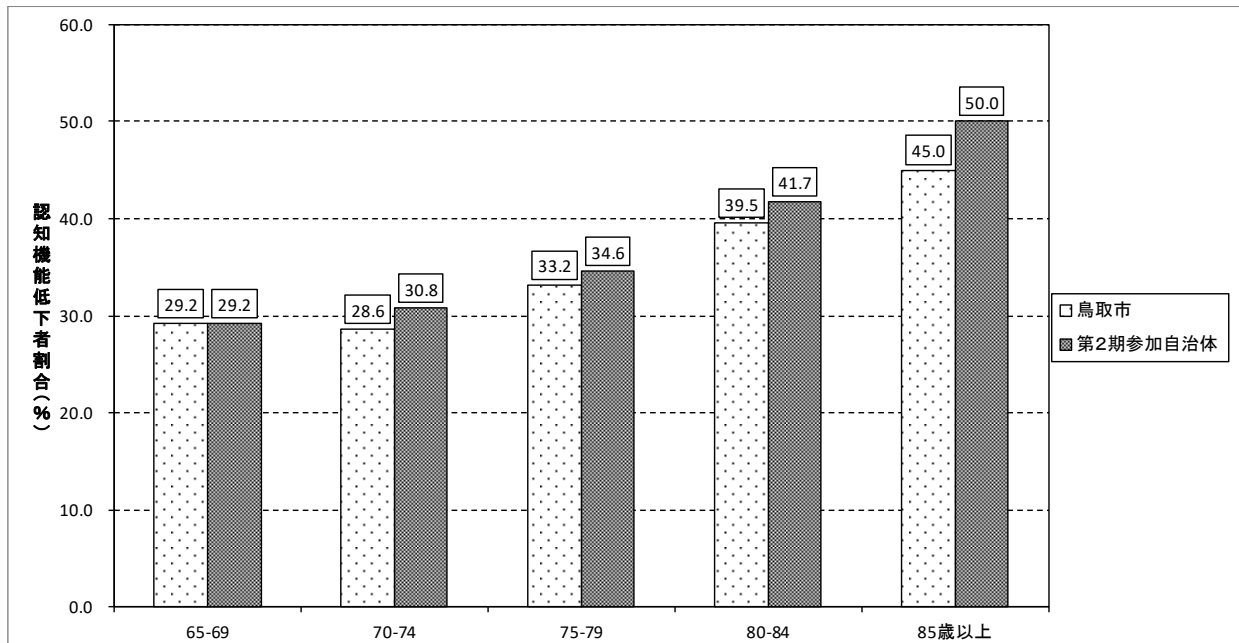


図 10 認知機能低下者割合

介護予防ニーズ： 認知機能低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	336	309	274	268	222	1,409
	%	29.2	28.6	33.2	39.5	45.0	33.3
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	5,753	7,917	7,613	5,986	4,526	31,795
	%	29.2	30.8	34.6	41.7	50.0	35.0
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 10 認知機能低下者割合

(11) 要介護リスク：IADL(自立度)低下者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「IADL(自立度)低下者割合」は「65-69歳」、「75-79歳」でやや高く、「70-74歳」、「80-84歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

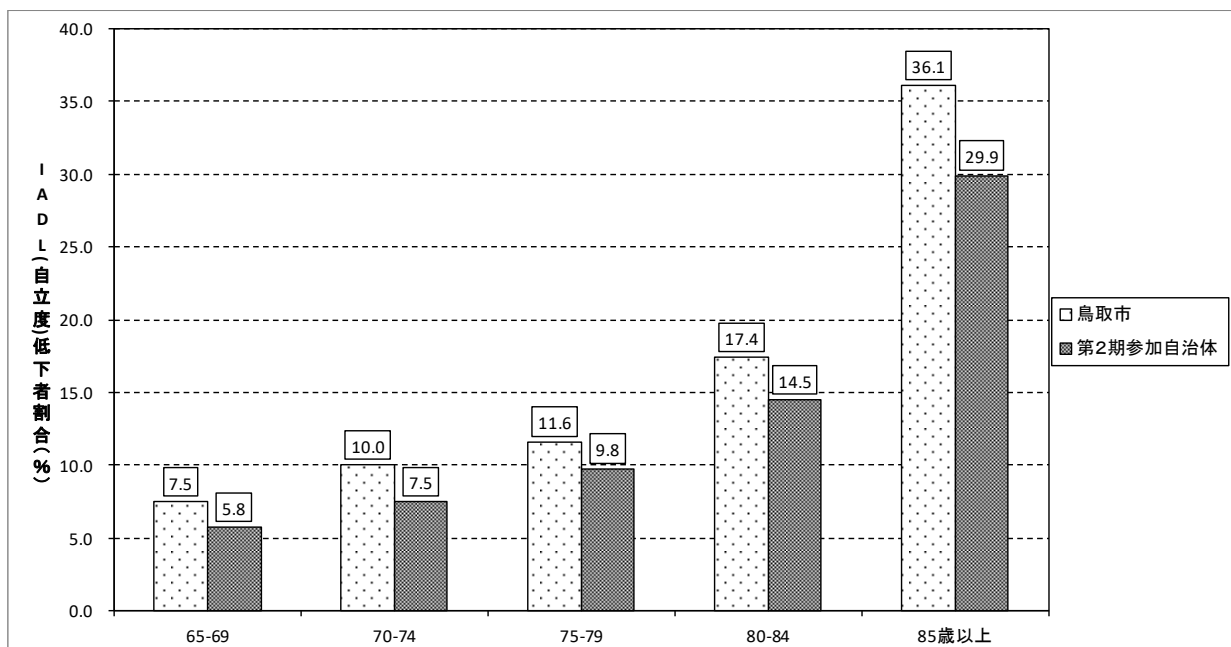


図 11 IADL(自立度)低下者割合

介護予防ニーズ： IADL(自立度)低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	86	108	96	118	178	586
	%	7.5	10.0	11.6	17.4	36.1	13.9
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	1,135	1,930	2,148	2,077	2,707	9,997
	%	5.8	7.5	9.8	14.5	29.9	11.0
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 11 IADL(自立度)低下者割合

(12) 要介護リスク：幸福感がある者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「幸福感がある者の割合」は「85歳以上」でやや低く、「75-79歳」、「80-84歳」で低く、「65-69歳」、「70-74歳」でとても低くなっている。

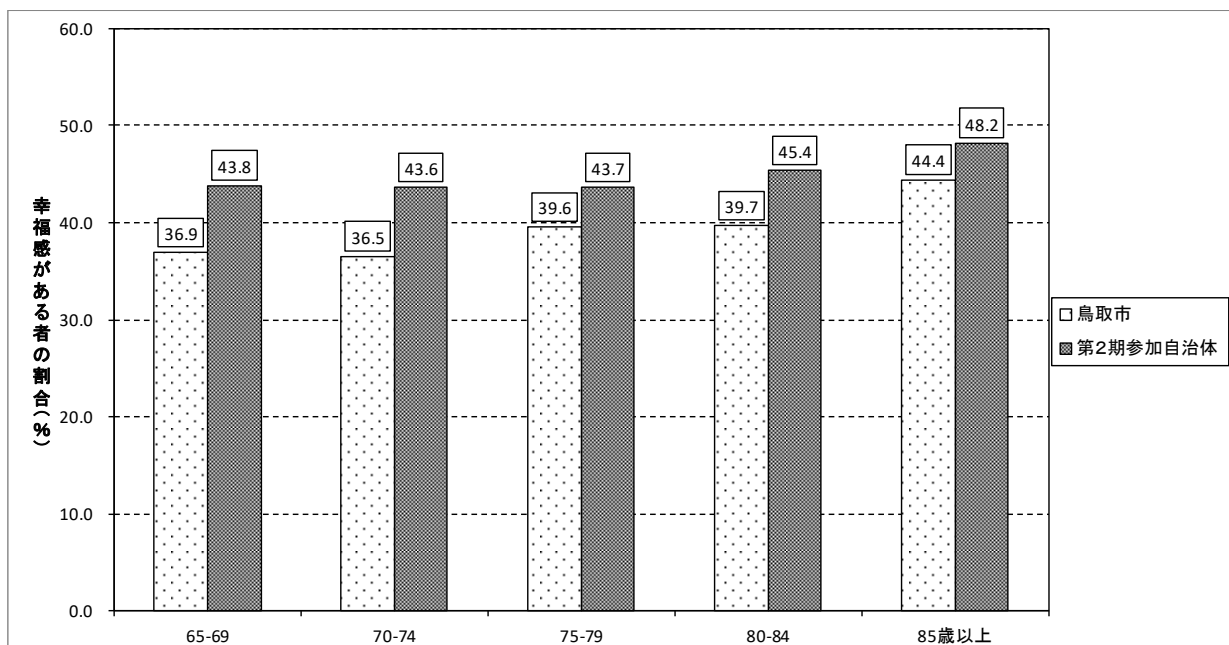


図 12 幸福感がある者の割合

介護予防ニーズ： 幸福感がある者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	425	395	327	269	219	1,635
	%	36.9	36.5	39.6	39.7	44.4	38.7
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	8,640	11,222	9,608	6,508	4,365	40,343
	%	43.8	43.6	43.7	45.4	48.2	44.4
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 12 幸福感がある者の割合

(13) 就労：就労していない者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「就労していない者の割合」は「65-69歳」、「70-74歳」で高い。「80-84歳」、「85歳以上」でとても低くなっている。

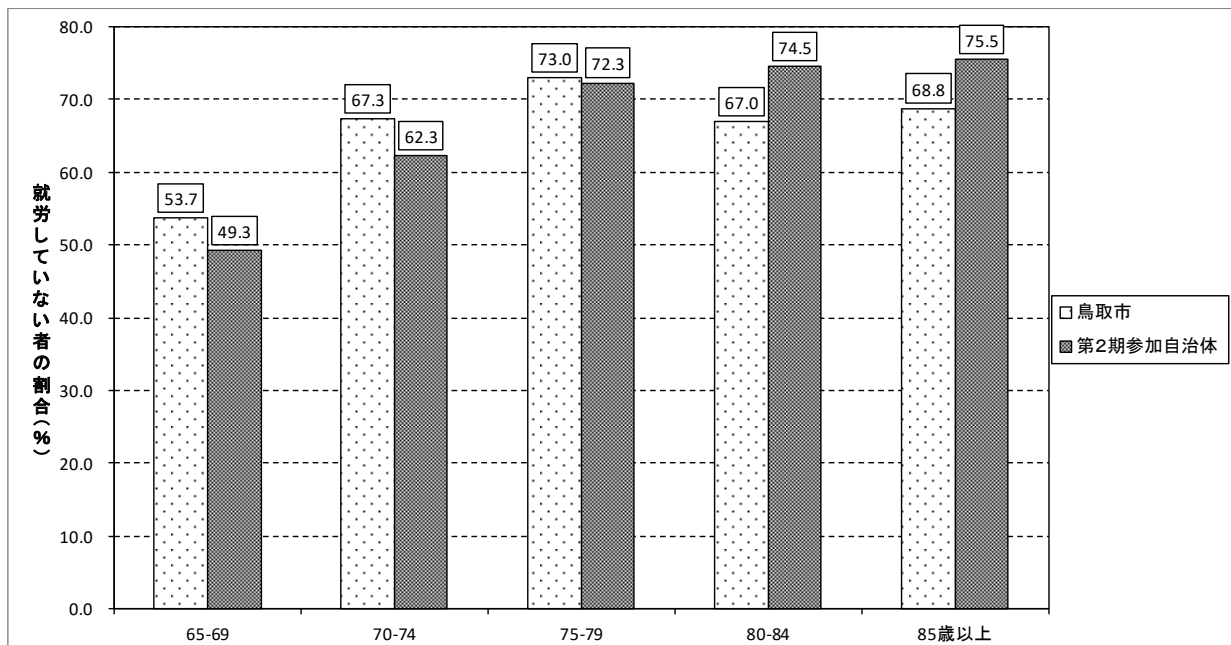


図 13 就労していない者の割合

介護予防ニーズ： 就労していない者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	619	728	603	454	339	2,743
	%	53.7	67.3	73.0	67.0	68.8	64.8
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	9,716	16,024	15,902	10,685	6,838	59,165
	%	49.3	62.3	72.3	74.5	75.5	65.1
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 13 就労していない者の割合

(14) 社会参加：ボランティア参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「ボランティア参加者割合」は「65-69歳」で高い。「80-84歳」でやや低く、「85歳以上」で低くなっている。

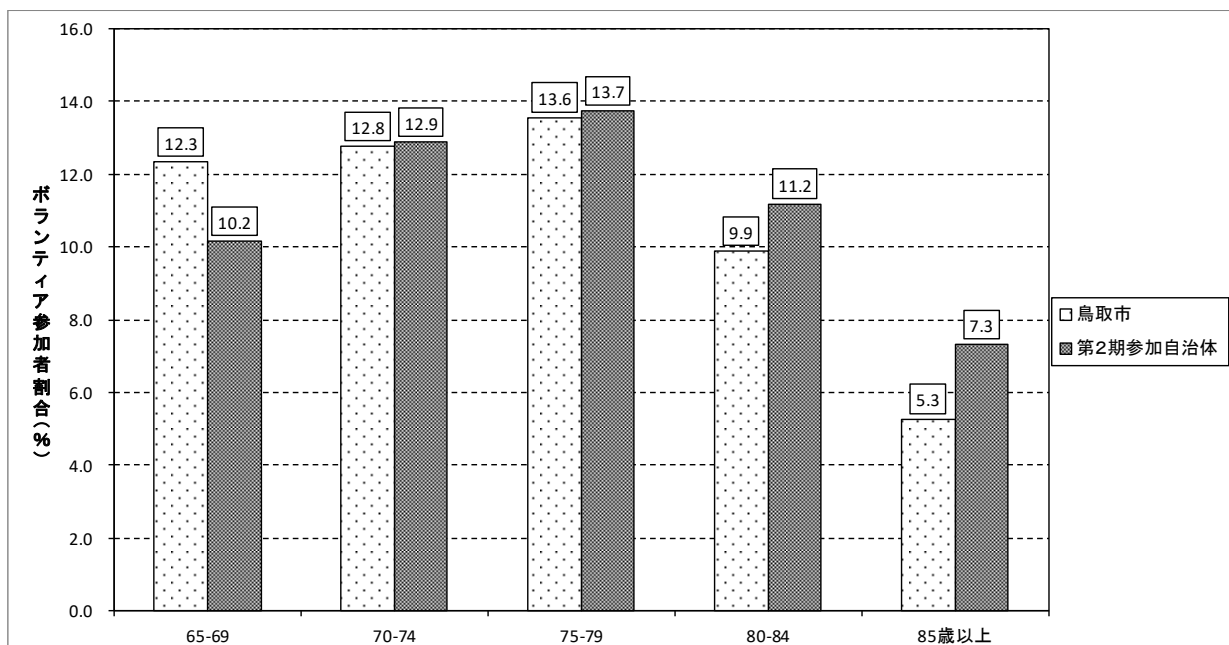


図 14 ボランティア参加者割合

介護予防ニーズ： ボランティア参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	142	138	112	67	26	485
	%	12.3	12.8	13.6	9.9	5.3	11.5
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	2,003	3,316	3,024	1,604	662	10,609
	%	10.2	12.9	13.7	11.2	7.3	11.7
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 14 ボランティア参加者割合

(15) 社会参加：スポーツの会参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「スポーツの会参加者割合」は「75-79歳」でやや低く、「65-69歳」、「70-74歳」、「85歳以上」で低く、「80-84歳」でとても低くなっている。

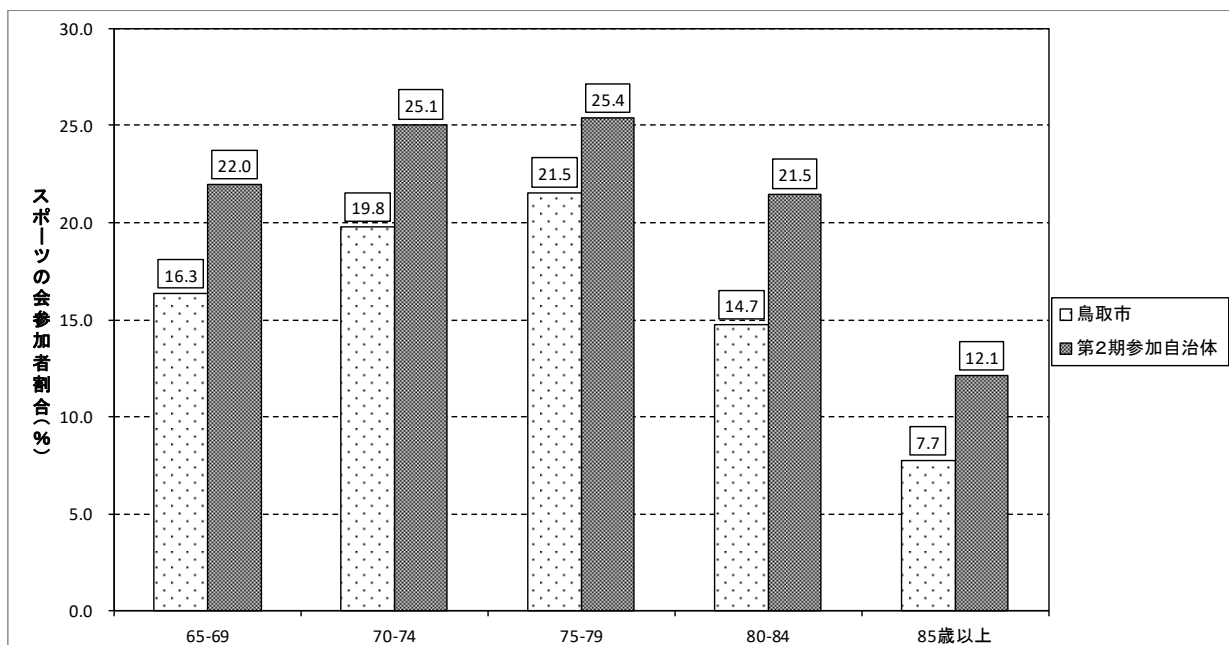


図 15 スポーツの会参加者割合

介護予防ニーズ： スポーツの会参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	188	214	178	100	38	718
	%	16.3	19.8	21.5	14.7	7.7	17.0
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	4,327	6,448	5,584	3,082	1,094	20,535
	%	22.0	25.1	25.4	21.5	12.1	22.6
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 15 スポーツの会参加者割合

(16) 社会参加：趣味の会参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「趣味の会参加者割合」は「65-69歳」から「75-79歳」でやや低く、「80-84歳」で低く、「85歳以上」でとても低くなっている。

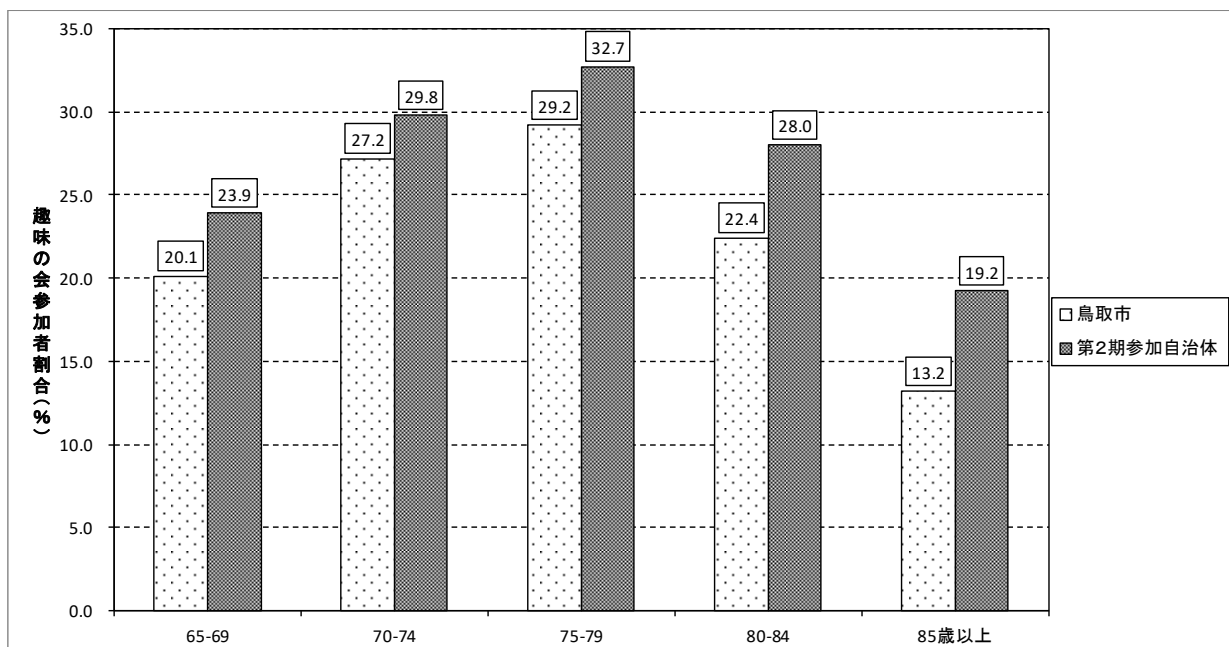


図 16 趣味の会参加者割合

介護予防ニーズ： 趣味の会参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	232	294	241	152	65	984
	%	20.1	27.2	29.2	22.4	13.2	23.3
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	4,710	7,674	7,198	4,017	1,739	25,338
	%	23.9	29.8	32.7	28.0	19.2	27.9
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 16 趣味の会参加者割合

(17) 社会参加：学習・教養サークル参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「学習・教養サークル参加者割合」は「70-74歳」で高い。「85歳以上」で低くなっている。

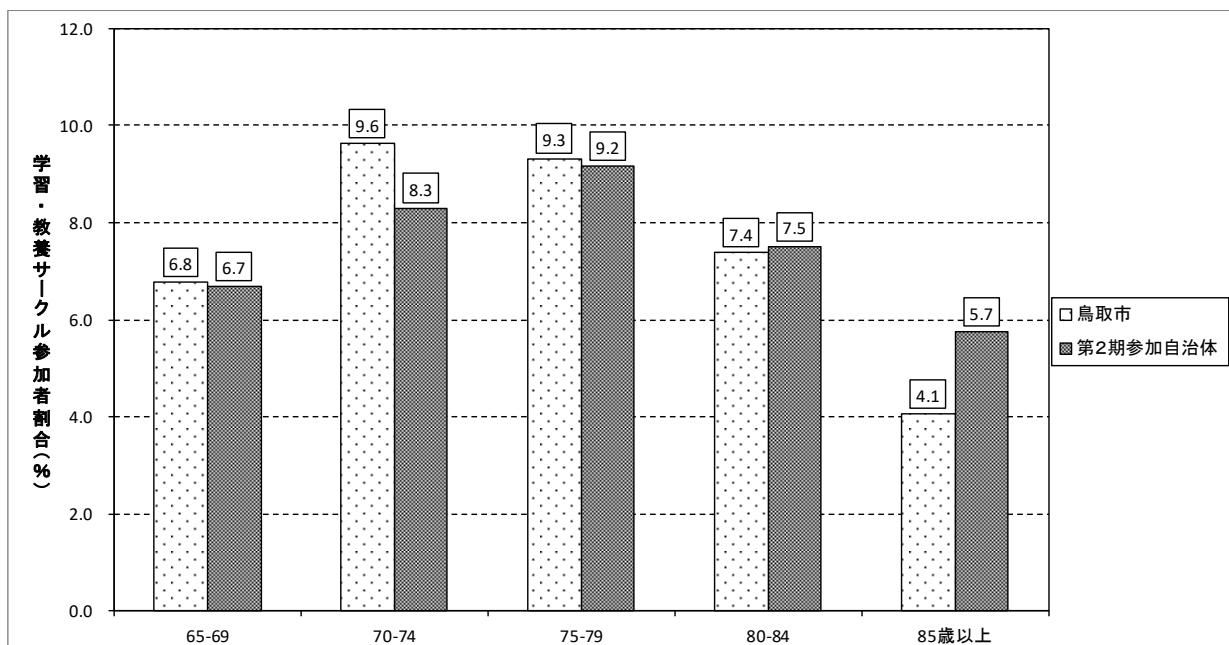


図 17 学習・教養サークル参加者割合

介護予防ニーズ： 学習・教養サークル参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	78	104	77	50	20	329
	%	6.8	9.6	9.3	7.4	4.1	7.8
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	1,317	2,137	2,017	1,076	520	7,067
	%	6.7	8.3	9.2	7.5	5.7	7.8
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 17 学習・教養サークル参加者割合

(18) 社会参加：通いの場参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「通いの場参加者割合」は「65-69歳」から「80-84歳」でやや低くなっている。

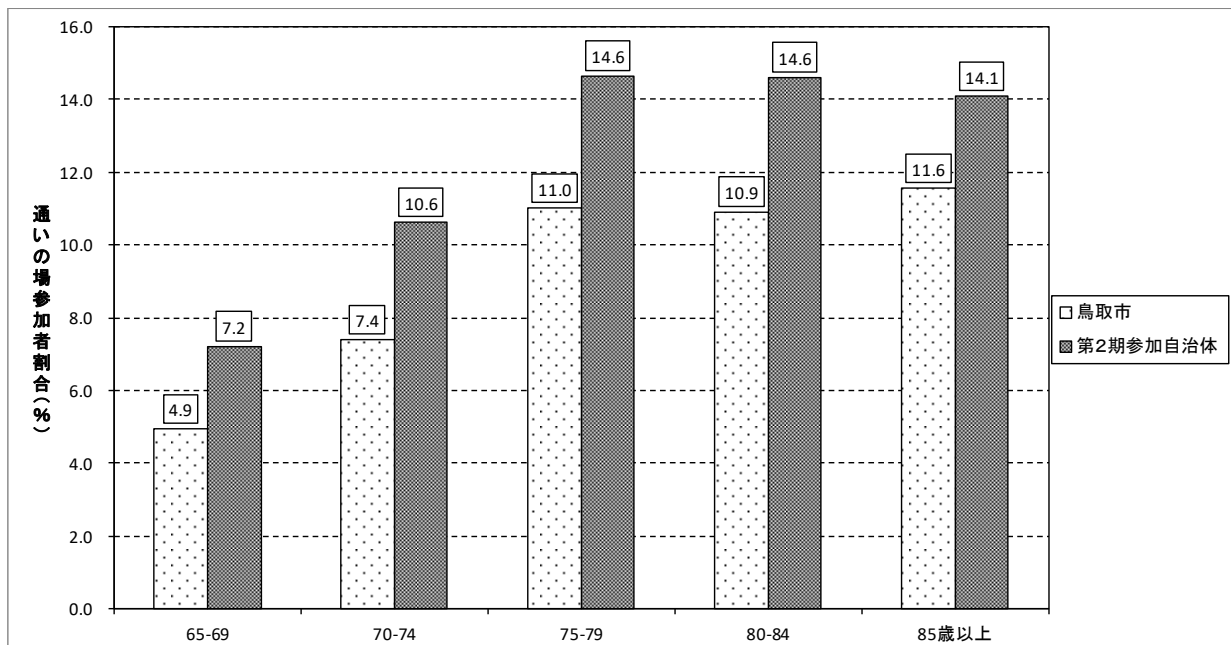


図 18 通いの場参加者割合

介護予防ニーズ： 通いの場参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	57	80	91	74	57	359
	%	4.9	7.4	11.0	10.9	11.6	8.5
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	1,422	2,736	3,222	2,096	1,276	10,752
	%	7.2	10.6	14.6	14.6	14.1	11.8
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 18 通いの場参加者割合

(19) 社会参加：特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「特技や経験を他者に伝える活動参加者割合」は「80-84歳」でやや低くなっている。

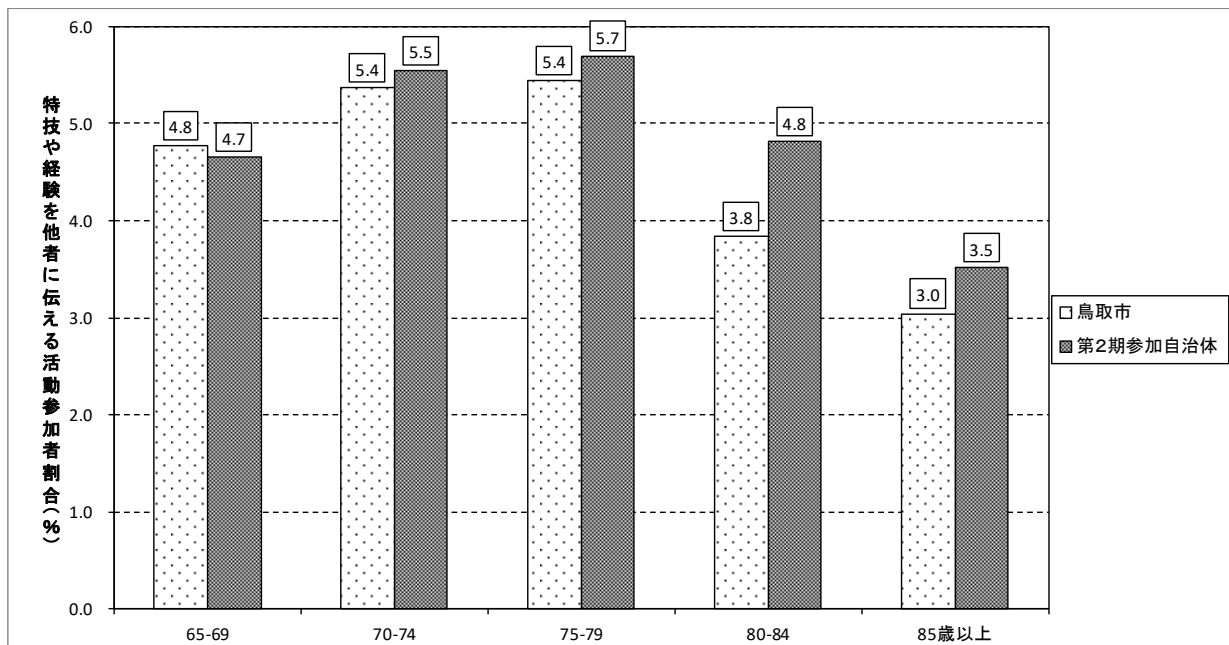


図 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

介護予防ニーズ： 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	55	58	45	26	15	199
	%	4.8	5.4	5.4	3.8	3.0	4.7
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	917	1,428	1,253	690	318	4,606
	%	4.7	5.5	5.7	4.8	3.5	5.1
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 19 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

(20) 社会的ネットワーク：友人知人と会う頻度が高い者の割合

鳥取市と第2期参加自治体を比較してみると「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「85歳以上」で高くなっている。

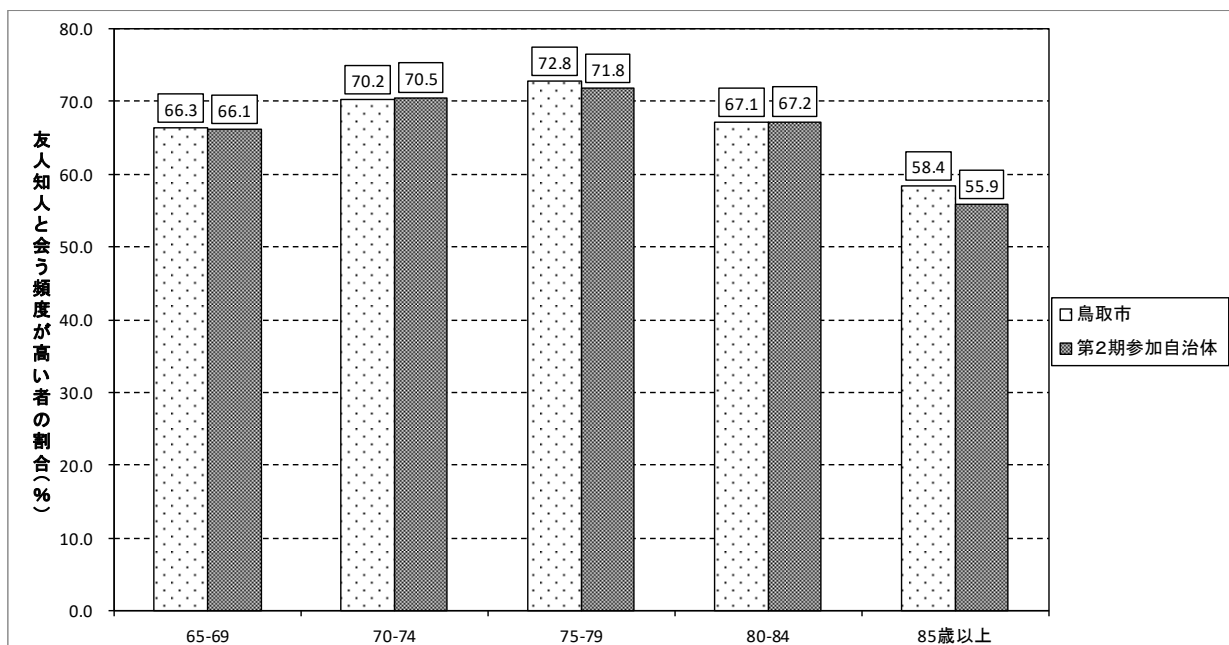


図 20 友人知人と会う頻度が高い者の割合

介護予防ニーズ： 友人知人と会う頻度が高い者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
鳥取市	人数	764	759	601	455	288	2,867
	%	66.3	70.2	72.8	67.1	58.4	67.8
	サンプル数	1,152	1,081	826	678	493	4,230
第2期参加自治体	人数	13,035	18,156	15,790	9,640	5,059	61,680
	%	66.1	70.5	71.8	67.2	55.9	67.9
	サンプル数	19,712	25,738	21,996	14,342	9,052	90,840

表 20 友人知人と会う頻度が高い者の割合

6. 要介護リスク・就労・社会参加・社会的ネットワークの小地域間比較

(1) 要介護リスク

要介護リスクの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、「フレイルあり割合」は「北」,「国府」,「江山」でやや高く、「河原」,「湖南」,「鹿野」で高く、「南」でとても高い。「運動機能低下者割合」は「桜ヶ丘」,「江山」,「河原」,「青谷」でやや高く、「西」,「南」,「国府」,「鹿野」,「佐治」で高い。「1年間の転倒あり割合」は「南」,「高草」,「河原」,「鹿野」でやや高く、「佐治」で高い。「物忘れが多い者の割合」は「北」,「湖南」,「用瀬」でやや高く、「国府」,「江山」,「福部」で高く、「鹿野」でとても高い。「閉じこもり者割合」は「湖東」,「湖南」,「鹿野」でやや高く、「用瀬」,「佐治」で高い。「うつ割合」は「江山」,「福部」でやや高く、「南」で高く、「国府」,「湖南」でとても高い。「口腔機能低下者割合」は「中ノ郷」,「南」,「青谷」でやや高く、「桜ヶ丘」,「湖東」,「福部」で高い。「低栄養者割合」は「高草」,「湖南」,「鹿野」でやや高く、「南」,「河原」で高く、「北」,「青谷」でとても高い。「要支援・要介護リスク者割合」は「福部」,「鹿野」,「用瀬」でやや高く、「国府」,「佐治」で高く、「北」,「青谷」でとても高い。「認知機能低下者割合」は「南」,「鹿野」でやや高く、「河原」で高く、「東」,「国府」,「江山」でとても高い。「IADL(自立度)低下者割合」は「湖南」でやや高く、「西」,「気高」で高く、「湖東」,「鹿野」でとても高い。「幸福感がある者の割合」は「国府」,「佐治」でやや高く、「桜ヶ丘」,「湖東」で高い。

	鳥取市全体 (n=4,230)	中ノ郷 (n=219)	北 (n=242)	東 (n=219)	西 (n=231)	南 (n=214)	国府 (n=247)	桜ヶ丘 (n=236)	湖東 (n=218)	高草 (n=219)	
全年齢	フレイルあり割合	26.1	25.6	28.1	20.5	25.5	31.3	27.1	22.5	26.1	26.9
	運動機能低下者割合	13.4	11.0	12.8	8.7	16.9	15.9	15.8	14.8	10.1	11.0
	1年間の転倒あり割合	27.2	24.2	26.9	24.7	26.8	29.9	27.9	28.0	22.9	29.2
	物忘れが多い者の割合	39.7	34.7	41.7	38.8	38.1	38.8	42.5	40.3	33.9	37.9
	閉じこもり者割合	6.0	4.6	6.2	3.7	4.3	4.2	4.9	5.1	7.8	6.8
	うつ割合	26.4	26.9	22.3	23.7	27.3	29.4	30.8	24.6	23.9	24.2
	口腔機能低下者割合	18.5	20.1	18.6	15.5	16.9	20.1	18.2	22.5	20.6	18.3
	低栄養者割合	6.9	5.5	12.4	3.7	6.5	7.9	6.1	6.8	6.4	7.8
	要支援・要介護リスク者割合	41.6	33.8	50.4	32.9	42.9	40.2	45.7	41.1	34.4	39.3
	認知機能低下者割合	33.3	27.9	31.4	37.9	32.9	35.0	38.9	29.7	33.5	32.4
	IADL(自立度)低下者割合	13.9	11.0	13.6	10.5	17.3	14.0	11.3	12.7	17.9	11.9
幸福感がある者の割合	38.7	40.6	39.7	37.4	40.3	39.3	42.1	43.6	42.7	30.1	
	江山 (n=234)	河原 (n=246)	湖南 (n=235)	福部 (n=222)	気高 (n=242)	鹿野 (n=236)	青谷 (n=231)	用瀬 (n=260)	佐治 (n=236)		
全年齢	フレイルあり割合	27.8	28.9	29.4	25.7	22.7	29.2	26.0	23.5	22.5	
	運動機能低下者割合	15.4	14.6	10.2	11.3	12.8	16.9	14.7	11.9	16.5	
	1年間の転倒あり割合	27.8	30.1	26.4	26.1	24.0	30.5	24.2	25.4	32.2	
	物忘れが多い者の割合	43.6	39.8	41.3	43.2	35.1	45.3	40.7	40.8	36.4	
	閉じこもり者割合	5.1	4.5	7.2	6.3	6.2	7.2	6.1	8.1	9.3	
	うつ割合	28.2	24.8	34.9	27.9	26.4	24.6	23.4	24.2	25.8	
	口腔機能低下者割合	18.4	16.3	17.0	21.6	18.2	19.5	19.9	16.5	15.7	
	低栄養者割合	5.6	8.5	7.7	5.0	5.0	7.6	10.0	5.4	5.5	
	要支援・要介護リスク者割合	40.6	40.7	37.9	44.1	38.0	43.6	50.6	44.6	46.2	
	認知機能低下者割合	40.2	35.8	30.6	29.3	29.8	34.7	30.3	33.8	31.4	
	IADL(自立度)低下者割合	13.2	14.2	15.3	10.4	16.1	19.1	13.0	12.3	14.4	
幸福感がある者の割合	33.8	37.8	35.7	40.1	40.1	37.7	39.0	36.9	41.1		

表 1 - 1 要介護リスク（全年齢）

65～74歳においては、「フレイルあり割合」は「中ノ郷」、「南」、「江山」、「湖南」で高く、「北」、「鹿野」でとても高い。「運動機能低下者割合」は「西」、「桜ヶ丘」、「河原」、「湖南」、「福部」でやや高く、「北」、「国府」で高い。「1年間の転倒あり割合」は「高草」、「鹿野」でやや高く、「河原」で高い。「物忘れが多い者の割合」は「西」、「湖南」でやや高く、「江山」、「福部」、「鹿野」で高く、「桜ヶ丘」、「青谷」でとても高い。「閉じこもり者割合」は「北」、「湖南」でやや高く、「用瀬」で高い。「うつ割合」は「中ノ郷」、「北」でやや高く、「国府」、「気高」、「鹿野」で高く、「湖南」でとても高い。「口腔機能低下者割合」は「江山」、「福部」、「気高」、「鹿野」で高く、「桜ヶ丘」でとても高い。「低栄養者割合」は「桜ヶ丘」、「湖東」、「鹿野」で高く、「北」、「南」、「高草」、「河原」でとても高い。「要支援・要介護リスク者割合」は「北」でやや高い。「認知機能低下者割合」は「南」、「国府」、「河原」、「用瀬」で高く、「東」、「江山」でとても高い。「IADL(自立度)低下者割合」は「湖南」でやや高く、「西」、「湖東」、「気高」で高く、「北」でとても高い。「幸福感がある者の割合」は「南」、「国府」、「湖東」、「気高」、「佐治」でやや高く、「桜ヶ丘」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=2,233)	中ノ郷 (n=129)	北 (n=112)	東 (n=130)	西 (n=116)	南 (n=119)	国府 (n=126)	桜ヶ丘 (n=115)	湖東 (n=133)	高草 (n=111)
65～74歳	フレイルあり割合	16.8	19.4	24.1	15.4	16.4	19.3	13.5	16.5	16.5	15.3
	運動機能低下者割合	4.9	3.9	8.0	4.6	6.0	5.0	7.1	6.1	2.3	1.8
	1年間の転倒あり割合	20.8	21.7	21.4	19.2	20.7	21.8	21.4	20.9	17.3	24.3
	物忘れが多い者の割合	34.2	31.0	34.8	30.0	35.3	32.8	34.9	39.1	29.3	32.4
	閉じこもり者割合	2.6	3.1	4.5	2.3	3.4	0.8	0.8	0.9	3.0	3.6
	うつ割合	21.0	22.5	22.3	19.2	19.8	21.0	23.8	17.4	21.8	19.8
	口腔機能低下者割合	14.5	15.5	13.4	14.6	13.8	14.3	12.7	20.0	13.5	14.4
	低栄養者割合	6.3	4.7	8.9	3.8	4.3	8.4	3.2	7.8	7.5	10.8
	要支援・要介護リスク者割合	4.4	3.9	8.0	4.6	4.3	5.0	5.6	1.7	3.8	4.5
	認知機能低下者割合	28.9	23.3	28.6	34.6	27.6	31.1	32.5	26.1	25.6	27.9
	IADL(自立度)低下者割合	8.7	6.2	13.4	8.5	12.1	7.6	8.7	7.8	11.3	7.2
	幸福感がある者の割合	36.7	35.7	32.1	36.9	36.2	40.3	38.9	44.3	40.6	30.6
		江山 (n=127)	河原 (n=132)	湖南 (n=135)	福部 (n=116)	気高 (n=135)	鹿野 (n=119)	青谷 (n=103)	用瀬 (n=131)	佐治 (n=117)	
65～74歳	フレイルあり割合	18.9	15.2	20.0	16.4	17.0	21.0	14.6	13.7	8.5	
	運動機能低下者割合	4.7	6.1	5.9	6.0	5.2	2.5	5.8	1.5	5.1	
	1年間の転倒あり割合	18.9	25.8	19.3	19.0	16.3	24.4	16.5	20.6	22.2	
	物忘れが多い者の割合	36.2	34.8	35.6	37.9	34.8	37.8	39.8	32.1	29.1	
	閉じこもり者割合	3.1	0.8	3.7	2.6	1.5	3.4	1.9	5.3	3.4	
	うつ割合	19.7	17.4	27.4	18.1	23.0	24.4	19.4	20.6	15.4	
	口腔機能低下者割合	16.5	13.6	8.1	18.1	17.0	18.5	13.6	10.7	13.7	
	低栄養者割合	5.5	10.6	6.7	5.2	4.4	7.6	3.9	5.3	3.4	
	要支援・要介護リスク者割合	3.1	3.8	5.9	5.2	3.7	4.2	4.9	3.1	2.6	
	認知機能低下者割合	34.6	31.1	28.1	29.3	28.1	24.4	25.2	32.1	23.9	
	IADL(自立度)低下者割合	6.3	6.8	10.4	8.6	11.9	7.6	5.8	7.6	6.0	
	幸福感がある者の割合	31.5	37.9	35.6	37.9	40.0	35.3	35.9	32.8	39.3	

表1 - 2 要介護リスク(65～74歳)

75～84歳においては、「フレイルあり割合」は「中ノ郷」で高く、「南」、「国府」、「湖東」、「江山」、「河原」、「湖南」でとても高い。「運動機能低下者割合」は「西」、「桜ヶ丘」、「河原」、「用瀬」でやや高く、「南」、「江山」、「鹿野」、「佐治」でとても高い。「1年間の転倒あり割合」は「江山」でやや高く、「河原」、「福部」、「佐治」で高く、「南」でとても高い。「物忘れが多い者の割合」は「東」、「福部」で高く、「北」、「国府」、「江山」、「湖南」、「鹿野」、「用瀬」でとても高い。「閉じこもり者割合」は「高草」、「気高」でやや高く、「河原」で高く、「湖東」、「湖南」、「佐治」でとても高い。「うつ割合」は「東」、「湖東」でやや高く、「中ノ郷」で高く、「南」、「国府」、「江山」、「湖南」、「福部」、「佐治」でとても高い。「口腔機能低下者割合」は「福部」、「青谷」でやや高く、「桜ヶ丘」で高く、「中ノ郷」、「南」、「湖東」、「湖南」でとても高い。「低栄養者割合」は「国府」で高く、「北」、「湖南」、「青谷」、「佐治」でとても高い。「要支援・要介護リスク者割合」は「北」、「江山」でやや高く、「国府」、「福部」、「青谷」、「用瀬」で高く、「佐治」でとても高い。「認知機能低下者割合」は「河原」で高く、「南」、「国府」、「湖東」、「江山」、「鹿野」でとても高い。「IADL(自立度)低下者割合」は「西」でやや高く、「河原」、「湖南」、「佐治」で高く、「南」、「湖東」、「江山」、「鹿野」でとても高い。「幸福感がある者の割合」は「桜ヶ丘」、「湖東」、「佐治」でやや高く、「西」、「国府」で高く、「中ノ郷」、「北」でとても高い。

		鳥取市全体 (n=1,504)	中ノ郷 (n=75)	北 (n=87)	東 (n=68)	西 (n=90)	南 (n=69)	国府 (n=85)	桜ヶ丘 (n=100)	湖東 (n=62)	高草 (n=90)
75～84歳	フレイルあり割合	29.8	32.0	26.4	20.6	24.4	40.6	35.3	24.0	38.7	30.0
	運動機能低下者割合	17.8	17.3	10.3	10.3	18.9	27.5	15.3	19.0	16.1	16.7
	1年間の転倒あり割合	32.3	25.3	31.0	25.0	30.0	40.6	29.4	34.0	25.8	33.3
	物忘れが多い者の割合	43.8	38.7	49.4	47.1	37.8	43.5	49.4	39.0	37.1	38.9
	閉じこもり者割合	6.9	5.3	5.7	2.9	3.3	7.2	5.9	7.0	12.9	8.9
	うつ割合	29.4	32.0	17.2	30.9	30.0	34.8	38.8	27.0	30.6	26.7
	口腔機能低下者割合	21.6	28.0	21.8	13.2	16.7	27.5	22.4	24.0	33.9	18.9
	低栄養者割合	6.6	6.7	14.9	4.4	5.6	5.8	8.2	6.0	1.6	4.4
	要支援・要介護リスク者割合	77.6	72.0	80.5	66.2	76.7	78.3	82.4	74.0	75.8	70.0
	認知機能低下者割合	36.0	34.7	33.3	35.3	32.2	43.5	43.5	30.0	45.2	36.7
	IADL(自立度)低下者割合	14.2	13.3	11.5	8.8	15.6	20.3	7.1	13.0	25.8	10.0
幸福感がある者の割合	39.6	48.0	49.4	33.8	45.6	31.9	44.7	42.0	41.9	32.2	
		江山 (n=83)	河原 (n=76)	湖南 (n=75)	福部 (n=85)	気高 (n=81)	鹿野 (n=91)	青谷 (n=94)	用瀬 (n=94)	佐治 (n=86)	
75～84歳	フレイルあり割合	37.3	35.5	36.0	30.6	23.5	27.5	27.7	21.3	30.2	
	運動機能低下者割合	25.3	19.7	10.7	15.3	14.8	23.1	17.0	19.1	22.1	
	1年間の転倒あり割合	36.1	36.8	30.7	37.6	30.9	34.1	28.7	30.9	37.2	
	物忘れが多い者の割合	49.4	43.4	48.0	45.9	33.3	52.7	41.5	48.9	37.2	
	閉じこもり者割合	4.8	9.2	12.0	5.9	8.6	3.3	6.4	4.3	12.8	
	うつ割合	33.7	28.9	42.7	36.5	27.2	15.4	24.5	23.4	33.7	
	口腔機能低下者割合	21.7	13.2	30.7	23.5	18.5	17.6	23.4	21.3	15.1	
	低栄養者割合	6.0	5.3	9.3	3.5	6.2	6.6	11.7	3.2	9.3	
	要支援・要介護リスク者割合	80.7	75.0	74.7	83.5	75.3	79.1	83.0	81.9	84.9	
	認知機能低下者割合	43.4	38.2	33.3	30.6	32.1	40.7	30.9	33.0	32.6	
	IADL(自立度)低下者割合	21.7	17.1	17.3	9.4	11.1	20.9	10.6	10.6	16.3	
幸福感がある者の割合	34.9	39.5	29.3	38.8	39.5	39.6	38.3	40.4	43.0		

表1 - 3 要介護リスク(75～84歳)

85歳以上においては、「フレイルあり割合」は「河原」、「用瀬」でとても高い。「運動機能低下者割合」は「佐治」で高く、「国府」でとても高い。「1年間の転倒あり割合」は「国府」、「佐治」でとても高い。「物忘れが多い者の割合」は「佐治」でとても高い。「閉じこもり者割合」は「佐治」で高く、「用瀬」でとても高い。「口腔機能低下者割合」は「青谷」で高く、「河原」でとても高い。「低栄養者割合」は「国府」でやや高く、「用瀬」で高く、「北」、「青谷」でとても高い。「認知機能低下者割合」は「河原」で高く、「国府」、「佐治」でとても高い。「IADL(自立度)低下者割合」は「佐治」で高く、「青谷」でとても高い。「幸福感がある者の割合」は「国府」でやや高く、「青谷」で高い。「うつ割合」、「要支援・要介護リスク者割合」では、特に目立って割合の高い地域は無い。

	鳥取市全体 (n=493)	中ノ郷 (n=15)	北 (n=43)	東 (n=21)	西 (n=25)	南 (n=26)	国府 (n=36)	桜ヶ丘 (n=21)	湖東 (n=23)	高草 (n=18)	
85歳以上	フレイルあり割合	57.0	46.7	41.9	52.4	72.0	61.5	55.6	47.6	47.8	83.3 ^(%)
	運動機能低下者割合	38.9	40.0	30.2	28.6	60.0	34.6	47.2	42.9	39.1	38.9
	1年間の転倒あり割合	40.4	40.0	32.6	57.1	44.0	38.5	47.2	38.1	47.8	38.9
	物忘れが多い者の割合	52.7	46.7	44.2	66.7	52.0	53.8	52.8	52.4	52.2	66.7
	閉じこもり者割合	18.1	13.3	11.6	14.3	12.0	11.5	16.7	19.0	21.7	16.7
	うつ割合	42.2	40.0	32.6	28.6	52.0	53.8	36.1	52.4	17.4	38.9
	口腔機能低下者割合	27.4	20.0	25.6	28.6	32.0	26.9	27.8	28.6	26.1	38.9
	低栄養者割合	10.1	6.7	16.3	-	20.0	11.5	11.1	4.8	13.0	5.6
	要支援・要介護リスク者割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	認知機能低下者割合	45.0	33.3	34.9	66.7	60.0	30.8	50.0	47.6	47.8	38.9
	IADL(自立度)低下者割合	36.1	40.0	18.6	28.6	48.0	26.9	30.6	38.1	34.8	50.0
幸福感がある者の割合	44.4	46.7	39.5	52.4	40.0	53.8	47.2	47.6	56.5	16.7	
	江山 (n=24)	河原 (n=38)	湖南 (n=25)	福部 (n=21)	気高 (n=26)	鹿野 (n=26)	青谷 (n=34)	用瀬 (n=35)	佐治 (n=33)		
85歳以上	フレイルあり割合	41.7	63.2	60.0	57.1	50.0	73.1	55.9	65.7	51.5 ^(%)	
	運動機能低下者割合	37.5	34.2	32.0	23.8	46.2	61.5	35.3	31.4	42.4	
	1年間の転倒あり割合	45.8	31.6	52.0	19.0	42.3	46.2	35.3	28.6	54.5	
	物忘れが多い者の割合	62.5	50.0	52.0	61.9	42.3	53.8	41.2	51.4	60.6	
	閉じこもり者割合	16.7	7.9	12.0	28.6	23.1	38.5	17.6	28.6	21.2	
	うつ割合	54.2	42.1	52.0	47.6	42.3	57.7	32.4	40.0	42.4	
	口腔機能低下者割合	16.7	31.6	24.0	33.3	23.1	30.8	29.4	25.7	24.2	
	低栄養者割合	4.2	7.9	8.0	9.5	3.8	11.5	23.5	11.4	3.0	
	要支援・要介護リスク者割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	認知機能低下者割合	58.3	47.4	36.0	23.8	30.8	61.5	44.1	42.9	54.5	
	IADL(自立度)低下者割合	20.8	34.2	36.0	23.8	53.8	65.4	41.2	34.3	39.4	
幸福感がある者の割合	41.7	34.2	56.0	57.1	42.3	42.3	50.0	42.9	42.4		

表1 - 4 要介護リスク(85歳以上)

(2) 就労

就労の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が高い小地域』をみると、全年齢においては、「就労していない者の割合」は「北」、「南」、「高草」、「用瀬」でやや高く、「青谷」で高く、「東」でとても高い。

65～74歳においては、「就労していない者の割合」は「西」、「国府」でやや高く、「青谷」、「用瀬」で高く、「東」、「高草」でとても高い。

75～84歳においては、「就労していない者の割合」は「河原」でやや高く、「湖南」、「青谷」で高く、「北」、「東」、「南」、「江山」でとても高い。

85歳以上においては、「就労していない者の割合」は「中ノ郷」、「北」、「東」、「南」、「国府」、「桜ヶ丘」、「湖東」、「高草」、「福部」、「鹿野」でとても高い。

	鳥取市全体	中ノ郷	北	東	西	南	国府	桜ヶ丘	湖東	高草
全年齢 (n=4,230)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=242)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=231)	全年齢 (n=214)	全年齢 (n=247)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=218)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=219)
65～74歳 (n=2,233)	65～74歳 (n=129)	65～74歳 (n=112)	65～74歳 (n=130)	65～74歳 (n=116)	65～74歳 (n=119)	65～74歳 (n=126)	65～74歳 (n=115)	65～74歳 (n=133)	65～74歳 (n=111)	65～74歳 (n=111)
75～84歳 (n=1,504)	75～84歳 (n=75)	75～84歳 (n=87)	75～84歳 (n=68)	75～84歳 (n=90)	75～84歳 (n=69)	75～84歳 (n=85)	75～84歳 (n=100)	75～84歳 (n=62)	75～84歳 (n=90)	75～84歳 (n=90)
85歳以上 (n=493)	85歳以上 (n=15)	85歳以上 (n=43)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=25)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=36)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=23)	85歳以上 (n=18)	85歳以上 (n=18)
全年齢	64.8	66.2	68.6	72.1	65.4	67.8	63.6	66.5	64.2	67.6
65～74歳	60.3	59.7	55.4	68.5	62.9	60.5	62.7	61.7	60.2	67.6
75～84歳	70.3	70.7	82.8	77.9	67.8	79.7	62.4	71.0	71.0	66.7
85歳以上	68.8	100.0	74.4	76.2	68.0	69.2	69.4	71.4	69.6	72.2
	江山	河原	湖南	福部	気高	鹿野	青谷	用瀬	佐治	
全年齢 (n=234)	全年齢 (n=246)	全年齢 (n=235)	全年齢 (n=222)	全年齢 (n=242)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=231)	全年齢 (n=260)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=236)	
65～74歳 (n=127)	65～74歳 (n=132)	65～74歳 (n=135)	65～74歳 (n=116)	65～74歳 (n=135)	65～74歳 (n=119)	65～74歳 (n=103)	65～74歳 (n=131)	65～74歳 (n=117)	65～74歳 (n=117)	
75～84歳 (n=83)	75～84歳 (n=76)	75～84歳 (n=75)	75～84歳 (n=85)	75～84歳 (n=81)	75～84歳 (n=91)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=86)	75～84歳 (n=86)	
85歳以上 (n=24)	85歳以上 (n=38)	85歳以上 (n=25)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=34)	85歳以上 (n=35)	85歳以上 (n=33)	85歳以上 (n=33)	
全年齢	66.7	63.8	60.9	58.6	60.7	65.3	69.7	67.3	51.3	(%)
65～74歳	59.8	57.6	53.3	54.3	57.8	60.5	65.0	64.9	51.3	
75～84歳	77.1	72.4	76.0	61.2	65.4	65.9	75.5	71.3	53.5	
85歳以上	66.7	68.4	56.0	71.4	61.5	84.6	67.6	65.7	45.5	

表2 - 1 就労

(3) 社会参加

社会参加の状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、「ボランティア参加者割合」は「西」、「江山」、「河原」でやや低く、「湖東」で低く、「中ノ郷」、「東」、「高草」、「福部」でとても低い。「スポーツの会参加者割合」は「西」、「青谷」、「佐治」でやや低く、「河原」、「湖南」、「福部」、「鹿野」で低い。「趣味の会参加者割合」は「福部」でやや低く、「高草」、「江山」、「河原」で低く、「佐治」でとても低い。「学習・教養サークル参加者割合」は「高草」、「気高」、「鹿野」、「佐治」で低く、「江山」、「河原」、「福部」、「青谷」でとても低い。「通いの場参加者割合」は「中ノ郷」、「東」、「南」、「湖東」、「江山」、「福部」でやや低い。

		鳥取市全体 (n=4,230)	中ノ郷 (n=219)	北 (n=242)	東 (n=219)	西 (n=231)	南 (n=214)	国府 (n=247)	桜ヶ丘 (n=236)	湖東 (n=218)	高草 (n=219)
全年齢	ボランティア参加者割合	11.5	6.4	12.4	6.8	10.4	10.7	15.8	12.3	9.2	6.4
	スポーツの会参加者割合	17.0	21.5	20.7	20.5	13.4	21.0	19.4	26.7	17.0	20.1
	趣味の会参加者割合	23.3	24.2	28.5	23.3	23.8	28.5	25.9	26.7	23.9	18.7
	学習・教養サークル参加者割合	7.8	7.3	10.3	7.3	9.1	11.2	7.3	12.7	10.1	5.9
	通いの場参加者割合	8.5	5.0	9.1	5.9	9.5	6.1	7.3	8.5	6.4	7.3
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	4.7	3.7	7.4	5.0	6.5	3.7	6.1	8.9	5.5	3.2
		江山 (n=234)	河原 (n=246)	湖南 (n=235)	福部 (n=222)	気高 (n=242)	鹿野 (n=236)	青谷 (n=231)	用瀬 (n=260)	佐治 (n=236)	
全年齢	ボランティア参加者割合	9.8	10.2	14.5	7.2	11.6	18.2	12.6	17.7	11.4	(%)
	スポーツの会参加者割合	16.2	11.8	12.8	12.6	15.7	12.7	13.4	16.5	13.1	
	趣味の会参加者割合	19.2	17.9	30.2	19.4	22.3	24.6	22.1	22.7	15.3	
	学習・教養サークル参加者割合	5.1	5.3	12.3	5.0	6.2	6.4	3.5	8.5	5.9	
	通いの場参加者割合	5.6	7.3	10.6	5.0	9.9	16.5	9.5	12.7	8.9	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	2.1	4.9	5.1	3.6	2.9	5.9	3.9	3.8	2.5	

表3 - 1 社会参加（全年齢）

65～74歳においては、「ボランティア参加者割合」は「西」、「桜ヶ丘」、「湖東」、「高草」で低く、「中ノ郷」、「東」、「福部」でとても低い。「スポーツの会参加者割合」は「河原」、「湖南」、「福部」、「青谷」でやや低く、「西」、「鹿野」でとても低い。「趣味の会参加者割合」は「西」、「高草」、「河原」、「福部」、「佐治」でやや低く、「気高」、「用瀬」で低い。「学習・教養サークル参加者割合」は「高草」、「江山」、「佐治」で低く、「西」、「河原」、「気高」、「鹿野」、「青谷」でとても低い。「通いの場参加者割合」は「東」、「南」、「湖東」、「江山」でやや低い。

		鳥取市全体 (n=2,233)	中ノ郷 (n=129)	北 (n=112)	東 (n=130)	西 (n=116)	南 (n=119)	国府 (n=126)	桜ヶ丘 (n=115)	湖東 (n=133)	高草 (n=111)
65～74歳	ボランティア参加者割合	12.5	8.5	11.6	8.5	9.5	11.8	18.3	10.4	10.5	9.0
	スポーツの会参加者割合	18.0	19.4	20.5	20.0	10.3	21.0	23.8	28.7	16.5	21.6
	趣味の会参加者割合	23.6	21.7	25.9	22.3	20.7	31.1	23.8	30.4	24.1	20.7
	学習・教養サークル参加者割合	8.2	7.8	13.4	7.7	6.0	13.4	8.7	13.9	9.0	6.3
	通いの場参加者割合	6.1	5.4	7.1	3.1	7.8	3.4	4.8	7.8	3.8	6.3
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	5.1	3.1	7.1	3.8	7.8	5.0	6.3	11.3	6.0	3.6
		江山 (n=127)	河原 (n=132)	湖南 (n=135)	福部 (n=116)	気高 (n=135)	鹿野 (n=119)	青谷 (n=103)	用瀬 (n=131)	佐治 (n=117)	
65～74歳	ボランティア参加者割合	11.8	12.1	14.8	5.2	11.9	21.0	18.4	20.6	12.0	(%)
	スポーツの会参加者割合	18.9	15.9	14.1	15.5	17.8	9.2	14.6	16.8	17.9	
	趣味の会参加者割合	25.2	21.2	30.4	19.8	19.3	23.5	25.2	19.1	19.7	
	学習・教養サークル参加者割合	6.3	4.5	11.9	7.8	5.9	5.9	2.9	8.4	6.8	
	通いの場参加者割合	3.9	6.8	6.7	4.3	5.2	8.4	7.8	9.9	9.4	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	3.1	5.3	4.4	3.4	3.0	7.6	4.9	4.6	2.6	

表3 - 2 社会参加（65～74歳）

75～84歳においては、「ボランティア参加者割合」は「南」、「福部」、「青谷」でやや低く、「湖東」、「江山」、「河原」で低く、「中ノ郷」、「東」、「高草」でとても低い。「スポーツの会参加者割合」は「国府」、「江山」、「湖南」、「気高」でやや低く、「河原」、「福部」、「佐治」でとても低い。「趣味の会参加者割合」は「高草」、「江山」、「河原」、「福部」、「佐治」でとても低い。「学習・教養サークル参加者割合」は「中ノ郷」で低く、「国府」、「高草」、「江山」、「福部」、「青谷」、「佐治」でとても低い。「通いの場参加者割合」は「北」、「東」、「西」、「南」、「高草」、「江山」、「河原」でやや低く、「中ノ郷」、「福部」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=1,504)	中ノ郷 (n=75)	北 (n=87)	東 (n=68)	西 (n=90)	南 (n=69)	国府 (n=85)	桜ヶ丘 (n=100)	湖東 (n=62)	高草 (n=90)
75～84歳	ボランティア参加者割合	11.9	4.0	16.1	4.4	13.3	10.1	17.6	14.0	8.1	4.4
	スポーツの会参加者割合	18.5	28.0	25.3	25.0	16.7	23.2	15.3	27.0	19.4	22.2
	趣味の会参加者割合	26.1	30.7	34.5	29.4	26.7	29.0	32.9	27.0	29.0	18.9
	学習・教養サークル参加者割合	8.4	6.7	9.2	8.8	13.3	11.6	5.9	10.0	16.1	4.4
	通いの場参加者割合	11.0	2.7	8.0	7.4	8.9	8.7	11.8	9.0	12.9	7.8
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	4.7	5.3	5.7	7.4	4.4	1.4	8.2	7.0	4.8	3.3
		江山 (n=83)	河原 (n=76)	湖南 (n=75)	福部 (n=85)	気高 (n=81)	鹿野 (n=91)	青谷 (n=94)	用瀬 (n=94)	佐治 (n=86)	
75～84歳	ボランティア参加者割合	9.6	9.2	14.7	10.6	12.3	17.6	10.6	19.1	11.6	(%)
	スポーツの会参加者割合	15.7	9.2	14.7	10.6	16.0	18.7	17.0	19.1	9.3	
	趣味の会参加者割合	12.0	17.1	32.0	18.8	29.6	30.8	24.5	33.0	12.8	
	学習・教養サークル参加者割合	4.8	9.2	14.7	2.4	8.6	8.8	5.3	8.5	5.8	
	通いの場参加者割合	7.2	7.9	16.0	4.7	14.8	26.4	11.7	16.0	11.6	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	1.2	5.3	6.7	4.7	3.7	5.5	3.2	4.3	2.3	

表3 - 3 社会参加（75～84歳）

85歳以上においては、「ボランティア参加者割合」は「国府」、「用瀬」で低く、「青谷」でとても低い。「スポーツの会参加者割合」は「河原」で低く、「青谷」でとても低い。「趣味の会参加者割合」は「河原」、「用瀬」で低く、「青谷」、「佐治」でとても低い。「学習・教養サークル参加者割合」は「佐治」で低く、「河原」、「青谷」でとても低い。「通いの場参加者割合」は「河原」、「青谷」でやや低く、「国府」、「佐治」でとても低い。

		鳥取市全体 (n=493)	中ノ郷 (n=15)	北 (n=43)	東 (n=21)	西 (n=25)	南 (n=26)	国府 (n=36)	桜ヶ丘 (n=21)	湖東 (n=23)	高草 (n=18)
85歳以上	ボランティア参加者割合	5.3	-	7.0	4.8	4.0	7.7	2.8	14.3	4.3	-
	スポーツの会参加者割合	7.7	6.7	11.6	9.5	16.0	15.4	13.9	14.3	13.0	-
	趣味の会参加者割合	13.2	13.3	23.3	9.5	28.0	15.4	16.7	4.8	8.7	5.6
	学習・教養サークル参加者割合	4.1	6.7	4.7	-	8.0	-	5.6	19.0	-	11.1
	通いの場参加者割合	11.6	13.3	16.3	19.0	20.0	11.5	5.6	9.5	4.3	11.1
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	3.0	-	11.6	4.8	8.0	3.8	-	4.8	4.3	-
		江山 (n=24)	河原 (n=38)	湖南 (n=25)	福部 (n=21)	気高 (n=26)	鹿野 (n=26)	青谷 (n=34)	用瀬 (n=35)	佐治 (n=33)	
85歳以上	ボランティア参加者割合	-	5.3	12.0	4.8	7.7	7.7	-	2.9	9.1	
	スポーツの会参加者割合	4.2	2.6	-	4.8	3.8	7.7	-	8.6	6.1	
	趣味の会参加者割合	12.5	7.9	24.0	19.0	15.4	7.7	5.9	8.6	6.1	
	学習・教養サークル参加者割合	-	-	8.0	-	-	-	-	8.6	3.0	
	通いの場参加者割合	8.3	7.9	16.0	9.5	19.2	19.2	8.8	14.3	-	
	特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	-	2.6	4.0	-	-	-	2.9	-	3.0	

表3 - 4 社会参加（85歳以上）

(4) 社会的ネットワーク

社会的ネットワークの状況について『鳥取市全体平均よりも割合が低い小地域』をみると、全年齢においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「湖東」でやや低く、「南」、「鹿野」で低く、「中ノ郷」、「西」、「高草」でとても低い。

65～74歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「東」でやや低く、「北」、「南」、「湖東」、「湖南」、「鹿野」で低く、「中ノ郷」、「高草」でとても低い。

75～84歳においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「北」でやや低く、「中ノ郷」、「南」、「江山」、「佐治」で低く、「西」、「高草」、「河原」でとても低い。

85歳以上においては、「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は「東」、「西」、「桜ヶ丘」、「湖東」、「高草」、「江山」、「河原」、「湖南」、「福部」、「気高」、「鹿野」、「佐治」でとても低い。

	鳥取市全体	中ノ郷	北	東	西	南	国府	桜ヶ丘	湖東	高草
全年齢 (n=4,230)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=242)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=231)	全年齢 (n=214)	全年齢 (n=247)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=218)	全年齢 (n=219)	全年齢 (n=211)
65～74歳 (n=2,233)	65～74歳 (n=129)	65～74歳 (n=112)	65～74歳 (n=130)	65～74歳 (n=116)	65～74歳 (n=119)	65～74歳 (n=126)	65～74歳 (n=115)	65～74歳 (n=133)	65～74歳 (n=111)	65～74歳 (n=111)
75～84歳 (n=1,504)	75～84歳 (n=75)	75～84歳 (n=87)	75～84歳 (n=68)	75～84歳 (n=90)	75～84歳 (n=69)	75～84歳 (n=85)	75～84歳 (n=100)	75～84歳 (n=62)	75～84歳 (n=90)	75～84歳 (n=90)
85歳以上 (n=493)	85歳以上 (n=15)	85歳以上 (n=43)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=25)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=36)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=23)	85歳以上 (n=18)	85歳以上 (n=18)
全年齢	67.8	63.0	66.9	68.5	61.5	65.4	71.7	73.7	66.1	62.1
65～74歳	68.2	61.2	64.3	66.9	67.2	65.5	72.2	80.9	64.7	62.2
75～84歳	70.2	66.7	69.0	76.5	58.9	66.7	71.8	71.0	74.2	63.3
85歳以上	58.4	60.0	69.8	52.4	44.0	61.5	69.4	47.6	52.2	55.6
	江山	河原	湖南	福部	気高	鹿野	青谷	用瀬	佐治	
全年齢 (n=234)	全年齢 (n=246)	全年齢 (n=235)	全年齢 (n=222)	全年齢 (n=242)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=231)	全年齢 (n=260)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=236)	全年齢 (n=236)
65～74歳 (n=127)	65～74歳 (n=132)	65～74歳 (n=135)	65～74歳 (n=116)	65～74歳 (n=135)	65～74歳 (n=119)	65～74歳 (n=103)	65～74歳 (n=131)	65～74歳 (n=117)	65～74歳 (n=117)	65～74歳 (n=117)
75～84歳 (n=83)	75～84歳 (n=76)	75～84歳 (n=75)	75～84歳 (n=85)	75～84歳 (n=81)	75～84歳 (n=91)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=94)	75～84歳 (n=86)	75～84歳 (n=86)	75～84歳 (n=86)
85歳以上 (n=24)	85歳以上 (n=38)	85歳以上 (n=25)	85歳以上 (n=21)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=26)	85歳以上 (n=34)	85歳以上 (n=35)	85歳以上 (n=33)	85歳以上 (n=33)	85歳以上 (n=33)
全年齢	67.5	68.7	67.2	68.0	69.4	65.3	69.7	71.9	70.8	70.8
65～74歳	69.3	73.5	65.2	67.2	67.4	64.7	68.9	67.9	78.6	78.6
75～84歳	67.5	65.8	76.0	71.8	76.5	70.3	72.3	79.8	66.3	66.3
85歳以上	58.3	57.9	52.0	57.1	57.7	50.0	64.7	65.7	54.5	54.5

表4-1 社会的ネットワーク

7. 保険者独自項目の調査結果

鳥取市独自の調査項目についての結果は以下のとおりである。

【問1】身体活動について

1) しゃんしゃん体操を知っていますか。

しゃんしゃん体操を知っているかを聞いたところ、「はい」は44.6%、「いいえ」は49.5%となっている。

年齢別にみると、「はい」は「75-79歳」で高く、「85歳以上」で低い。

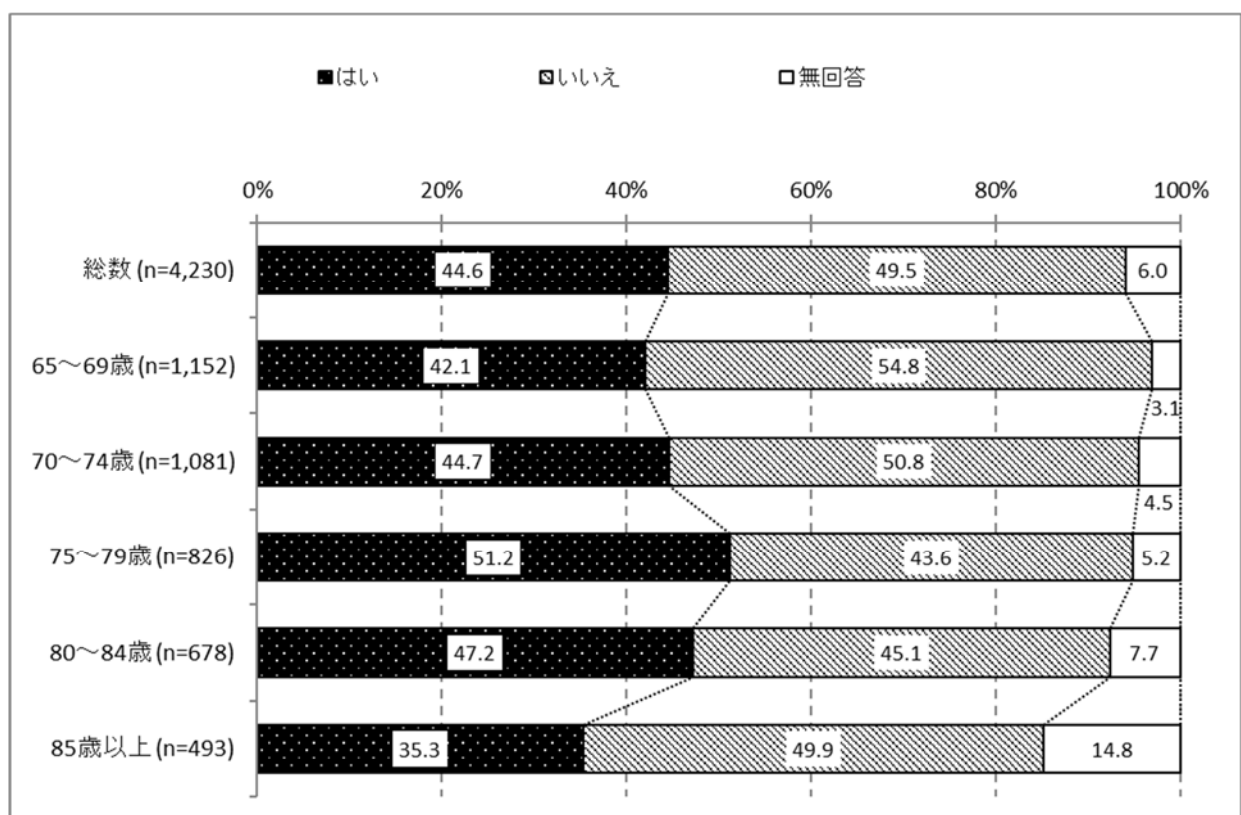


図1 しゃんしゃん体操の認知度

		サンプル 数	はい	いいえ	無回答
総数	人数	4,230	1,885	2,092	253
	%	100.0	44.6	49.5	6.0
65～69歳	人数	1,152	485	631	36
	%	100.0	42.1	54.8	3.1
70～74歳	人数	1,081	483	549	49
	%	100.0	44.7	50.8	4.5
75～79歳	人数	826	423	360	43
	%	100.0	51.2	43.6	5.2
80～84歳	人数	678	320	306	52
	%	100.0	47.2	45.1	7.7
85歳以上	人数	493	174	246	73
	%	100.0	35.3	49.9	14.8

表1 しゃんしゃん体操の認知度

【問1】

2) しゃんしゃん体操をしたことがありますか。

しゃんしゃん体操をしたことがあるかを聞いたところ、「定期的に継続」は2.7%、「体験したことあり」は24.3%、「したことがない」は67.3%となっている。

年齢別にみると、「体験したことあり」は「75-79歳」で、「したことがない」は「65-69歳」で高い。

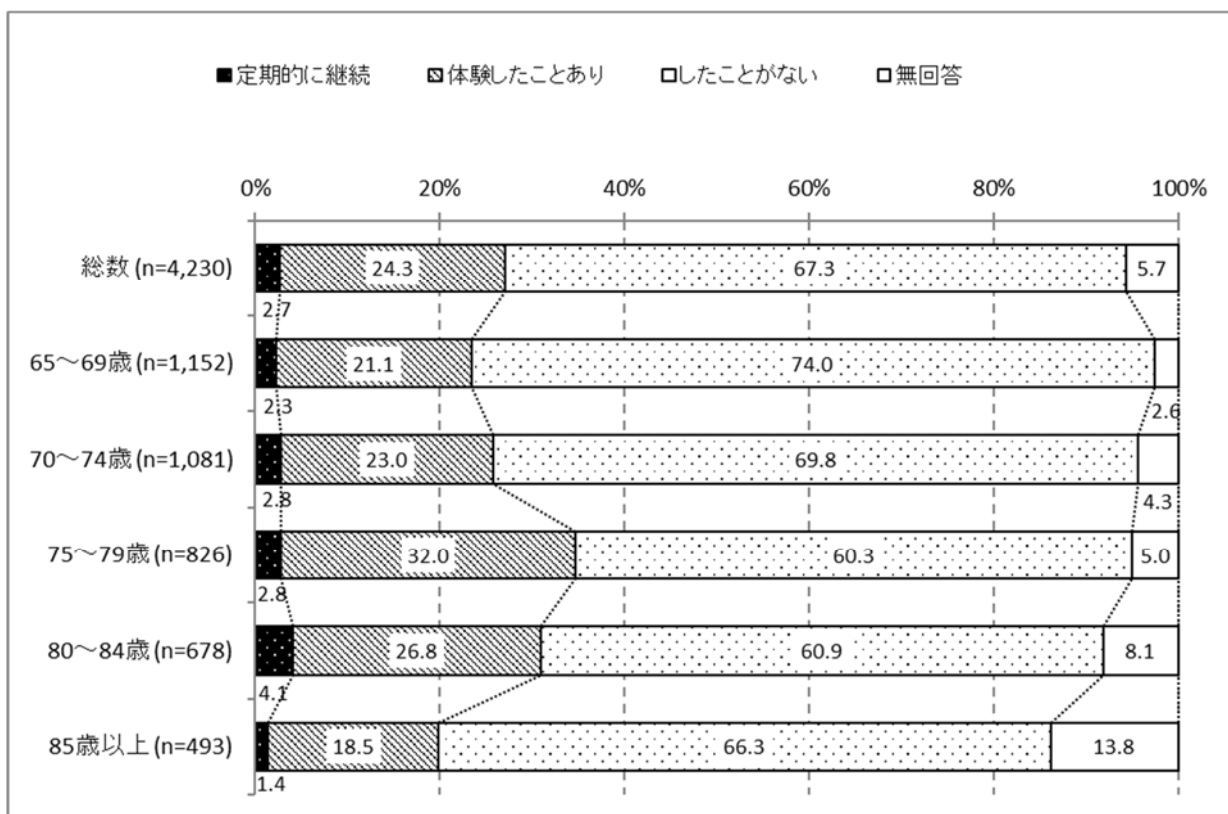


図2 しゃんしゃん体操をしたことがあるか

		サンプル数	定期的に継続	体験したことあり	したことがない	無回答
総数	人数	4,230	115	1,029	2,845	241
	%	100.0	2.7	24.3	67.3	5.7
65～69歳	人数	1,152	27	243	852	30
	%	100.0	2.3	21.1	74.0	2.6
70～74歳	人数	1,081	30	249	755	47
	%	100.0	2.8	23.0	69.8	4.3
75～79歳	人数	826	23	264	498	41
	%	100.0	2.8	32.0	60.3	5.0
80～84歳	人数	678	28	182	413	55
	%	100.0	4.1	26.8	60.9	8.1
85歳以上	人数	493	7	91	327	68
	%	100.0	1.4	18.5	66.3	13.8

表2 しゃんしゃん体操をしたことがあるか

【問2】 疾病の予防・早期発見について

1) 過去1年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
健康診査(血圧、血液・尿検査等)

過去1年間に健康診査(血圧、血液・尿検査等)を受けたかを聞いたところ、「受けた」は78.3%、「受けていない」は15.7%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は「85歳以上」で低い。

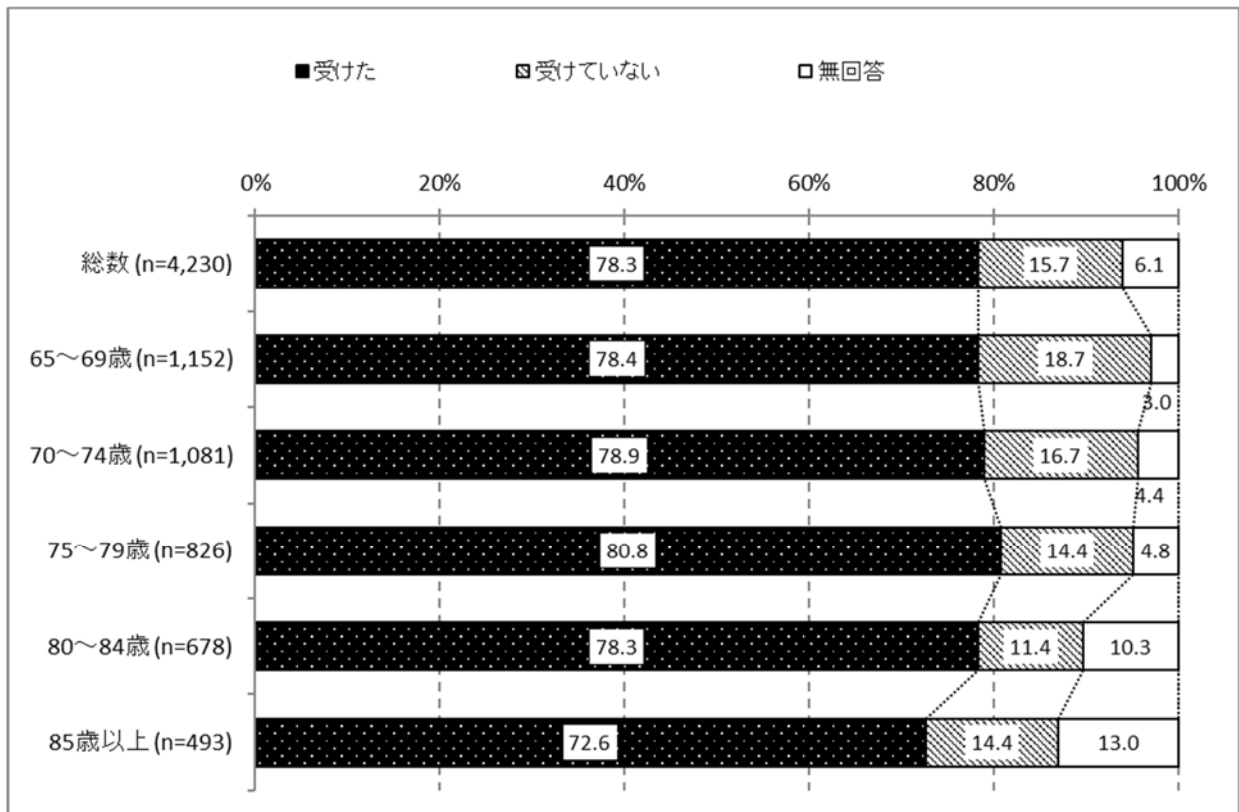


図3 過去1年間の健康診査の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
総数	人数	4,230	3,312	662	256
	%	100.0	78.3	15.7	6.1
65～69歳	人数	1,152	903	215	34
	%	100.0	78.4	18.7	3.0
70～74歳	人数	1,081	853	180	48
	%	100.0	78.9	16.7	4.4
75～79歳	人数	826	667	119	40
	%	100.0	80.8	14.4	4.8
80～84歳	人数	678	531	77	70
	%	100.0	78.3	11.4	10.3
85歳以上	人数	493	358	71	64
	%	100.0	72.6	14.4	13.0

表3 過去1年間の健康診査の受診

過去1年間に健康診査（血圧、血液・尿検査等）を受けたと回答した人（3,312人）に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」（27.1%）、「保険診療」（17.2%）などが挙げられた。年齢別にみると、「職場検診」は「65-69歳」で高い。

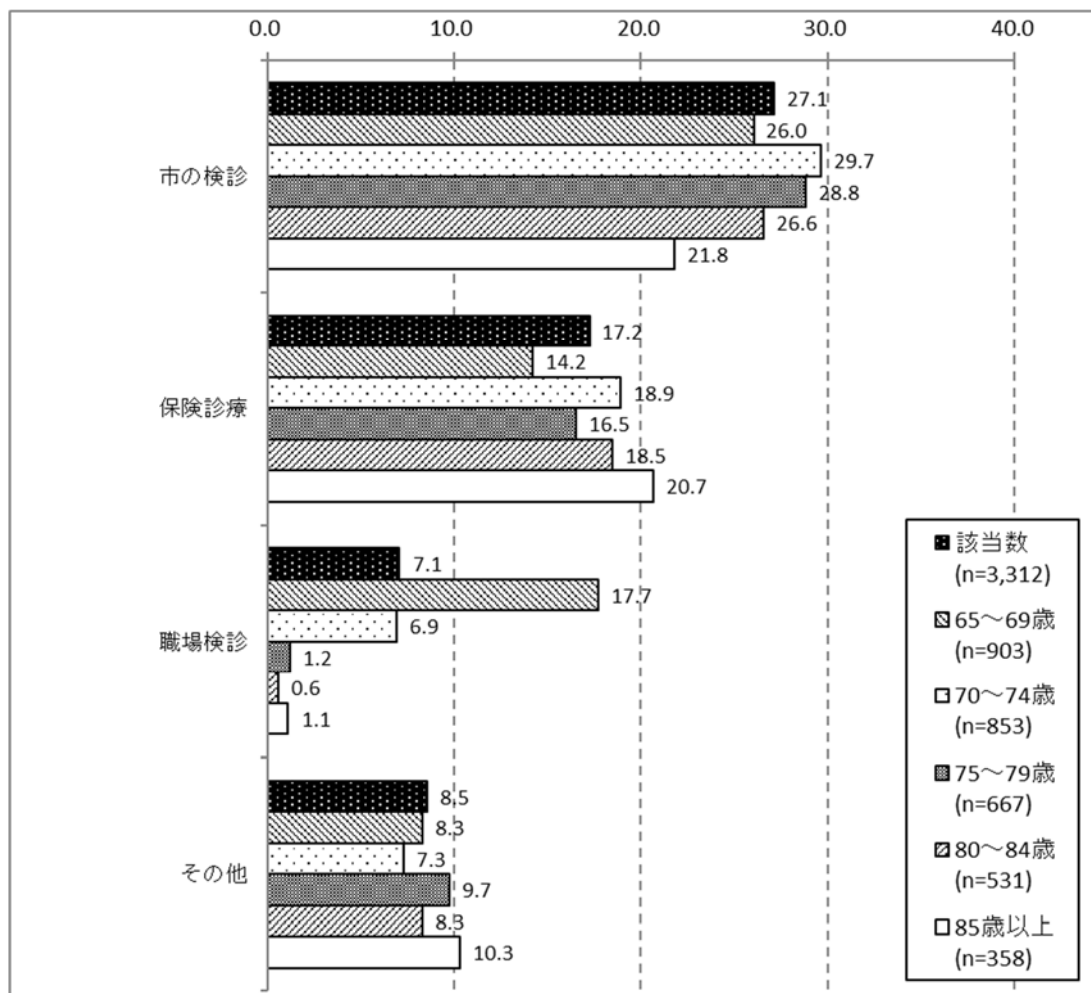


図4 過去1年間の健康診査の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	3,312	899	571	234	283	1,400	3,387
	%	100.0	27.1	17.2	7.1	8.5	42.3	102.3
65~69歳	人数	903	235	128	160	75	329	927
	%	100.0	26.0	14.2	17.7	8.3	36.4	102.7
70~74歳	人数	853	253	161	59	62	345	880
	%	100.0	29.7	18.9	6.9	7.3	40.4	103.2
75~79歳	人数	667	192	110	8	65	297	672
	%	100.0	28.8	16.5	1.2	9.7	44.5	100.7
80~84歳	人数	531	141	98	3	44	254	540
	%	100.0	26.6	18.5	0.6	8.3	47.8	101.7
85歳以上	人数	358	78	74	4	37	175	368
	%	100.0	21.8	20.7	1.1	10.3	48.9	102.8

表4 過去1年間の健康診査の受診方法

【問2】

1) 過去1年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
胃がん検診(胃透視検査、胃カメラ検査)

過去1年間に胃がん検診(胃透視検査、胃カメラ検査)を受けたかを聞いたところ、「受けた」は45.9%、「受けていない」は45.2%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は「70-74歳」、「75-79歳」でやや高く、「85歳以上」で低い。

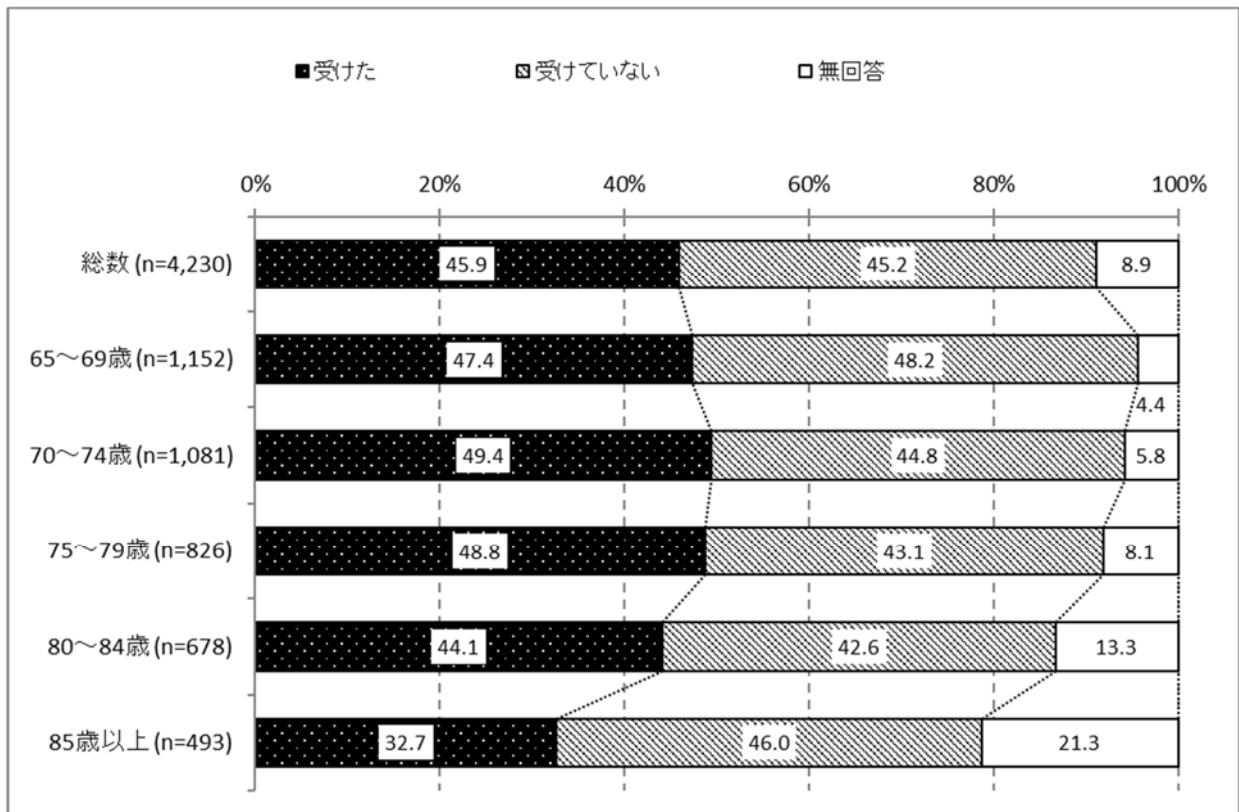


図5 過去1年間の胃がん検診の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
総数	人数	4,230	1,943	1,911	376
	%	100.0	45.9	45.2	8.9
65~69歳	人数	1,152	546	555	51
	%	100.0	47.4	48.2	4.4
70~74歳	人数	1,081	534	484	63
	%	100.0	49.4	44.8	5.8
75~79歳	人数	826	403	356	67
	%	100.0	48.8	43.1	8.1
80~84歳	人数	678	299	289	90
	%	100.0	44.1	42.6	13.3
85歳以上	人数	493	161	227	105
	%	100.0	32.7	46.0	21.3

表5 過去1年間の胃がん検診の受診

過去1年間に胃がん検診（胃透視検査、胃カメラ検査）を受けたと回答した人（1,943人）に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」（34.9%）、「保険診療」（15.6%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「職場検診」は「65-69歳」で高い。

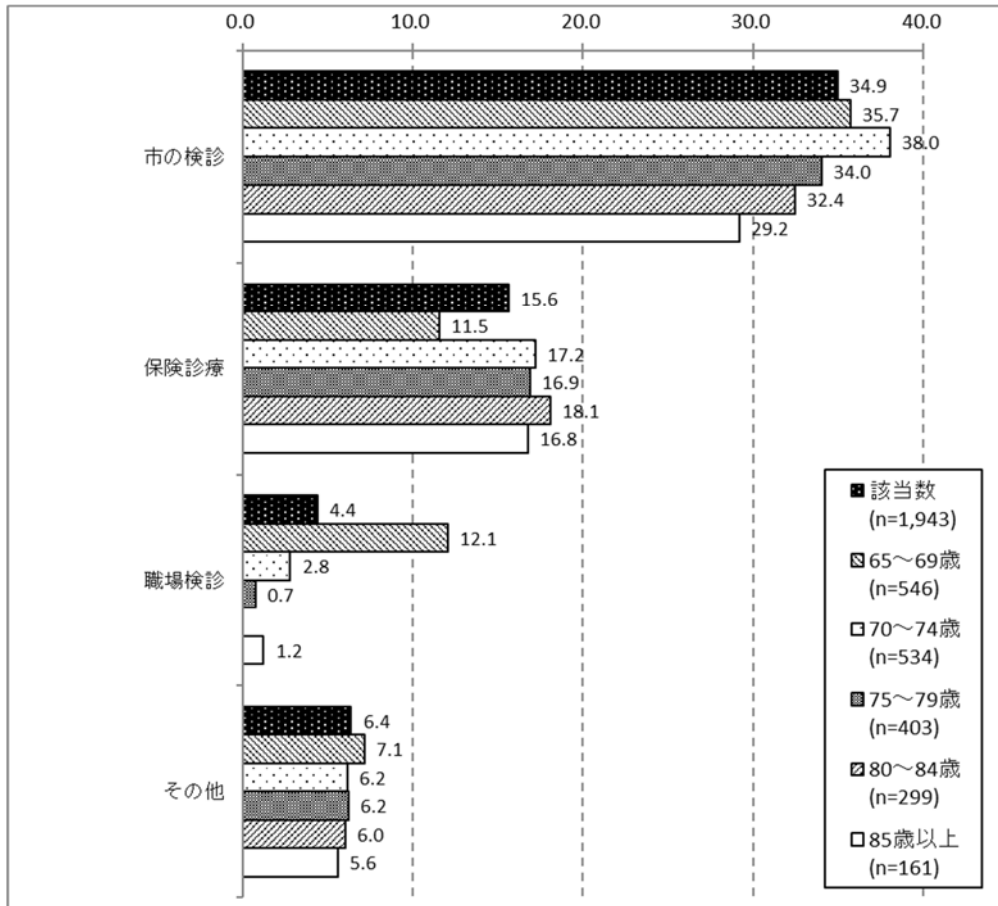


図6 過去1年間の胃がん検診の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	1,943	679	304	86	124	762	1,955
	%	100.0	34.9	15.6	4.4	6.4	39.2	100.6
65~69歳	人数	546	195	63	66	39	186	549
	%	100.0	35.7	11.5	12.1	7.1	34.1	100.5
70~74歳	人数	534	203	92	15	33	197	540
	%	100.0	38.0	17.2	2.8	6.2	36.9	101.1
75~79歳	人数	403	137	68	3	25	170	403
	%	100.0	34.0	16.9	0.7	6.2	42.2	100.0
80~84歳	人数	299	97	54	-	18	132	301
	%	100.0	32.4	18.1	-	6.0	44.1	100.7
85歳以上	人数	161	47	27	2	9	77	162
	%	100.0	29.2	16.8	1.2	5.6	47.8	100.6

表6 過去1年間の胃がん検診の受診方法

【問 2】

1) 過去 1 年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
肺がん検診(胸部レントゲン検査、痰の検査)

過去 1 年間に肺がん検診(胸部レントゲン検査、痰の検査)を受けたかを聞いたところ、「受けた」は 54.9%、「受けていない」は 36.2%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は「65-69歳」でやや高く、「85歳以上」で低い。

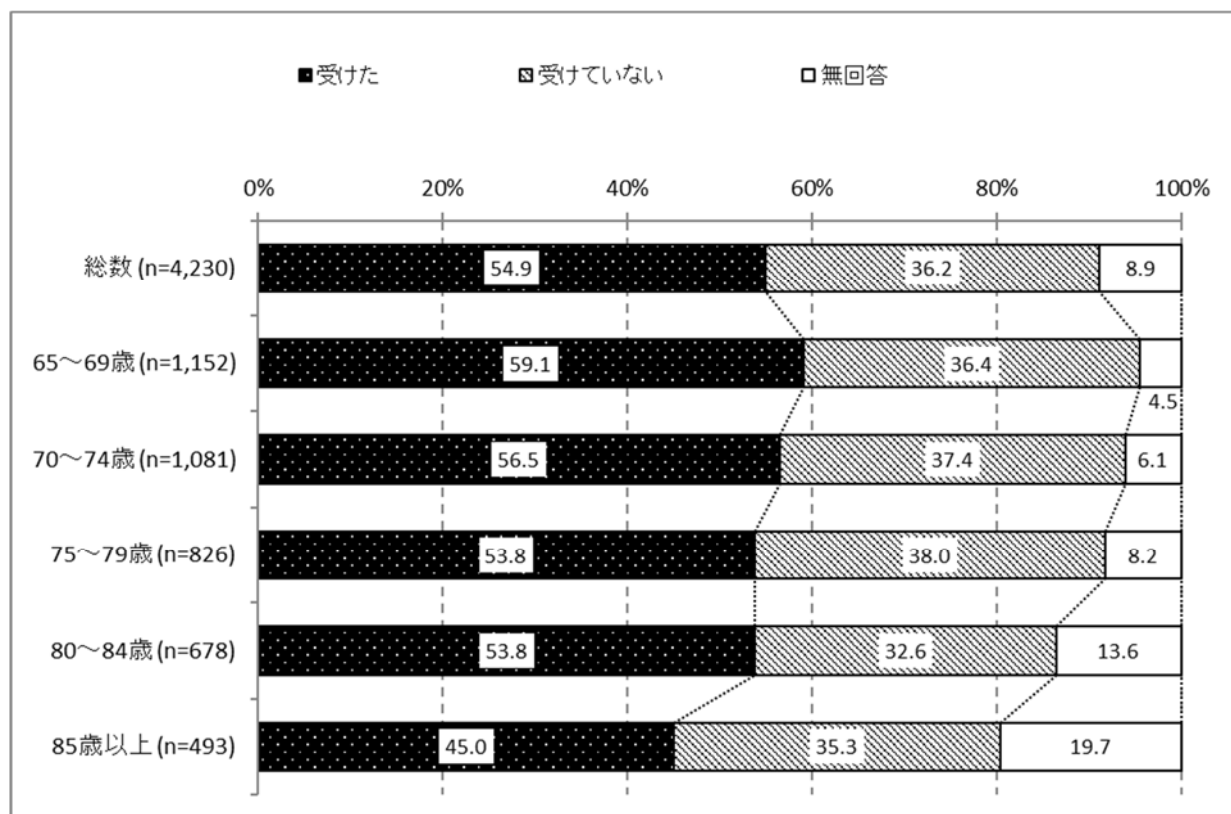


図 7 過去 1 年間の肺がん検診の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
総数	人数	4,230	2,323	1,532	375
	%	100.0	54.9	36.2	8.9
65~69歳	人数	1,152	681	419	52
	%	100.0	59.1	36.4	4.5
70~74歳	人数	1,081	611	404	66
	%	100.0	56.5	37.4	6.1
75~79歳	人数	826	444	314	68
	%	100.0	53.8	38.0	8.2
80~84歳	人数	678	365	221	92
	%	100.0	53.8	32.6	13.6
85歳以上	人数	493	222	174	97
	%	100.0	45.0	35.3	19.7

表 7 過去 1 年間の肺がん検診の受診

過去1年間に肺がん検診（胸部レントゲン検査、痰の検査）を受けたと回答した人（2,323人）に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」（32.9%）、「保険診療」（14.5%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「職場検診」は「65-69歳」で高い。

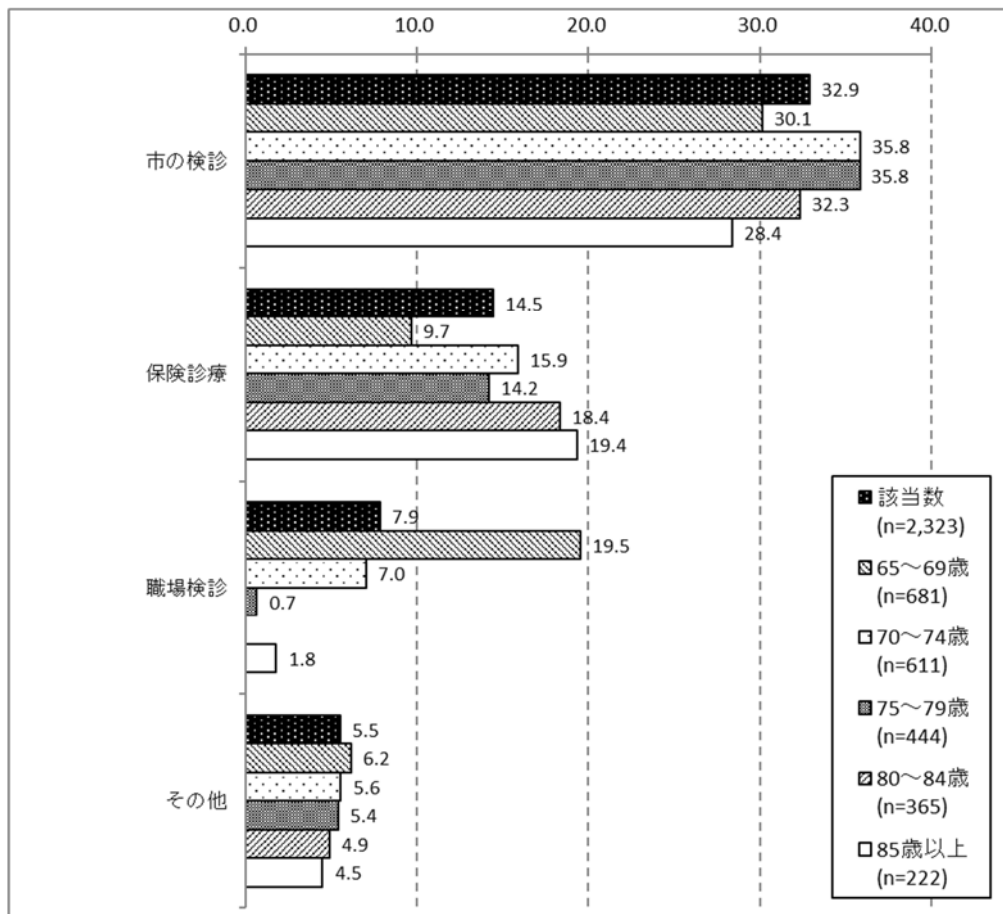


図8 過去1年間の肺がん検診の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	2,323	764	336	183	128	928	2,339
	%	100.0	32.9	14.5	7.9	5.5	39.9	100.7
65~69歳	人数	681	205	66	133	42	238	684
	%	100.0	30.1	9.7	19.5	6.2	34.9	100.4
70~74歳	人数	611	219	97	43	34	227	620
	%	100.0	35.8	15.9	7.0	5.6	37.2	101.5
75~79歳	人数	444	159	63	3	24	195	444
	%	100.0	35.8	14.2	0.7	5.4	43.9	100.0
80~84歳	人数	365	118	67	-	18	164	367
	%	100.0	32.3	18.4	-	4.9	44.9	100.5
85歳以上	人数	222	63	43	4	10	104	224
	%	100.0	28.4	19.4	1.8	4.5	46.8	100.9

表8 過去1年間の肺がん検診の受診方法

【問2】

1) 過去1年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
大腸がん検診(便の検査)

過去1年間に大腸がん検診(便の検査)を受けたかを聞いたところ、「受けた」は46.1%、「受けていない」は45.3%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高く、「85歳以上」で低い。

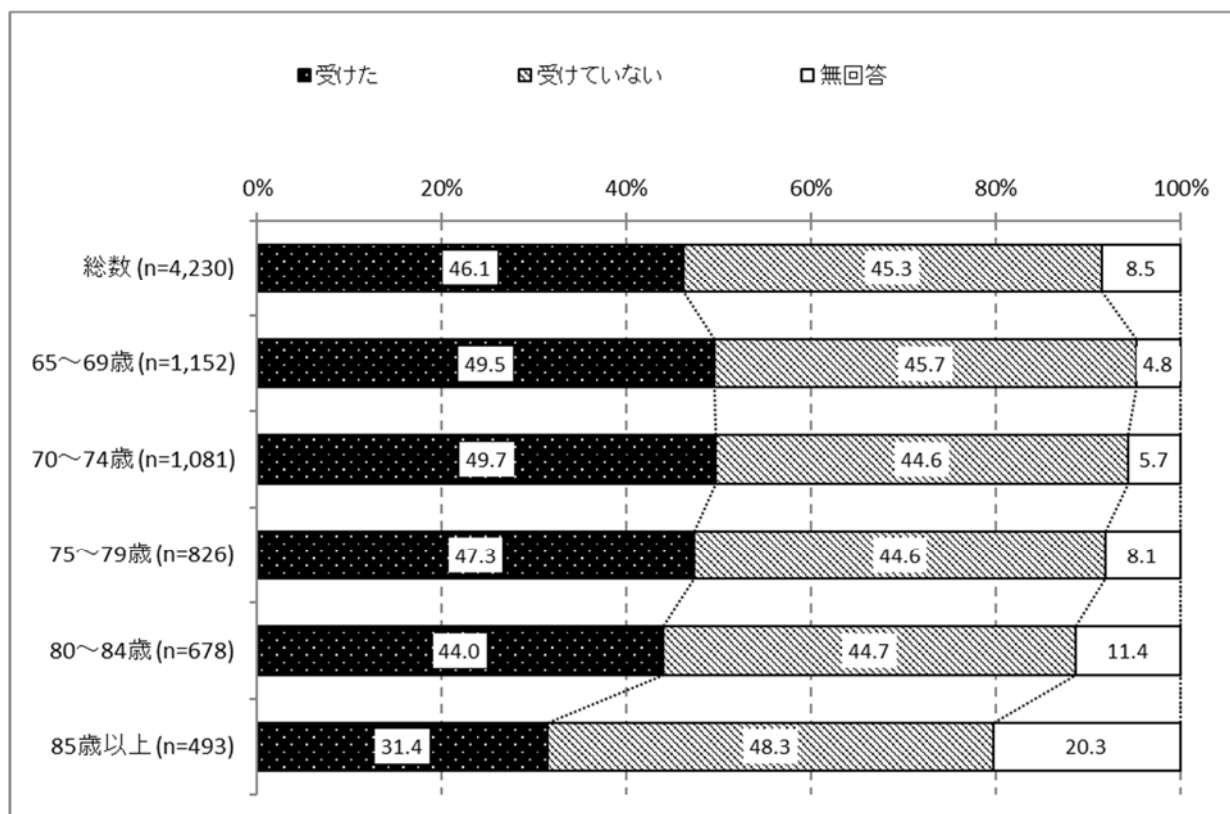


図9 過去1年間の大腸がん検診の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
総数	人数	4,230	1,951	1,918	361
	%	100.0	46.1	45.3	8.5
65~69歳	人数	1,152	570	527	55
	%	100.0	49.5	45.7	4.8
70~74歳	人数	1,081	537	482	62
	%	100.0	49.7	44.6	5.7
75~79歳	人数	826	391	368	67
	%	100.0	47.3	44.6	8.1
80~84歳	人数	678	298	303	77
	%	100.0	44.0	44.7	11.4
85歳以上	人数	493	155	238	100
	%	100.0	31.4	48.3	20.3

表9 過去1年間の大腸がん検診の受診

過去1年間に大腸がん検診（便の検査）を受けたと回答した人（1,951人）に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」（36.1%）、「保険診療」（12.6%）などが挙げられた。

年齢別にみると、「保険診療」は「85歳以上」で、「職場検診」は「65-69歳」で高い。

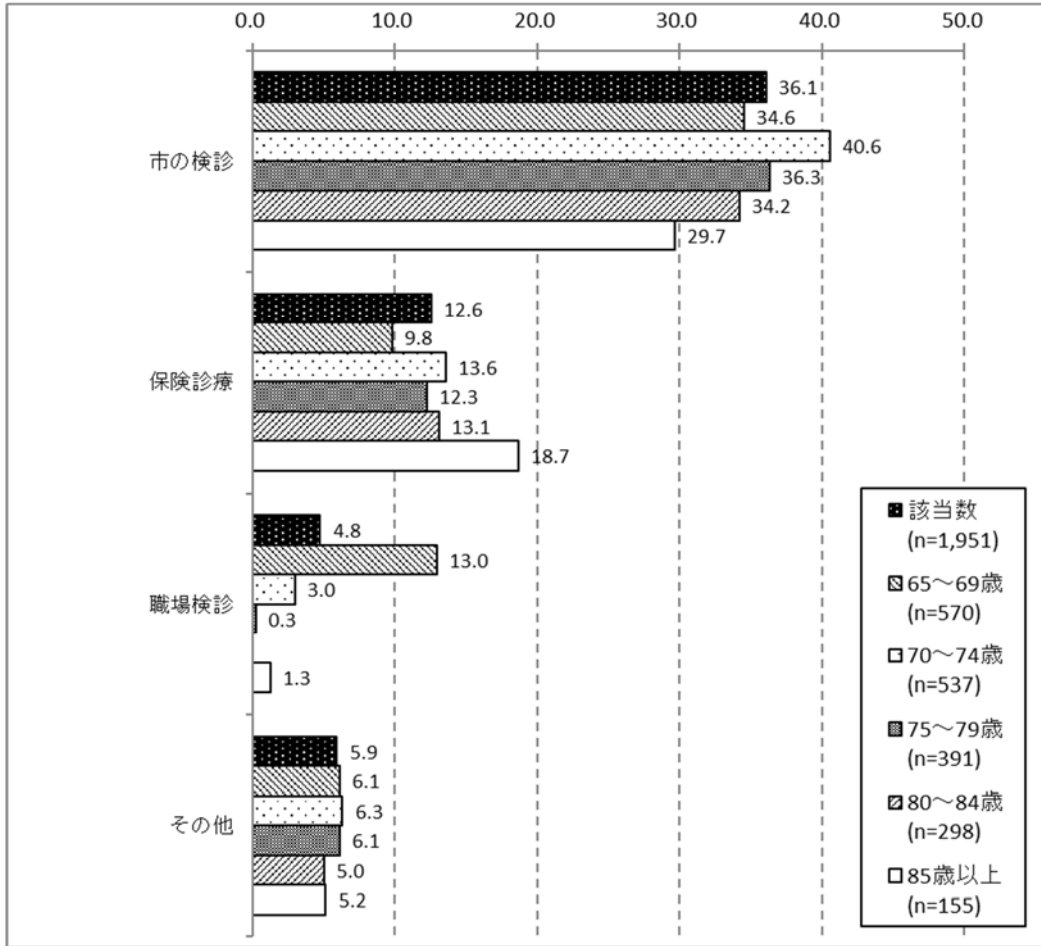


図10 過去1年間の大腸がん検診の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	1,951	705	245	93	116	802	1,961
	%	100.0	36.1	12.6	4.8	5.9	41.1	100.5
65~69歳	人数	570	197	56	74	35	209	571
	%	100.0	34.6	9.8	13.0	6.1	36.7	100.2
70~74歳	人数	537	218	73	16	34	200	541
	%	100.0	40.6	13.6	3.0	6.3	37.2	100.7
75~79歳	人数	391	142	48	1	24	177	392
	%	100.0	36.3	12.3	0.3	6.1	45.3	100.3
80~84歳	人数	298	102	39	-	15	143	299
	%	100.0	34.2	13.1	-	5.0	48.0	100.3
85歳以上	人数	155	46	29	2	8	73	158
	%	100.0	29.7	18.7	1.3	5.2	47.1	101.9

表10 過去1年間の大腸がん検診の受診方法

【問 2】

1) 過去 1 年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
子宮頸がん検診(女性のみ) 過去 2 年についてお答えください

女性(2,326人)に、過去 2 年間に子宮頸がん検診を受けたかを聞いたところ、「受けた」は 21.3%、「受けていない」は 67.0%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は年齢が低いほど高くなっている。

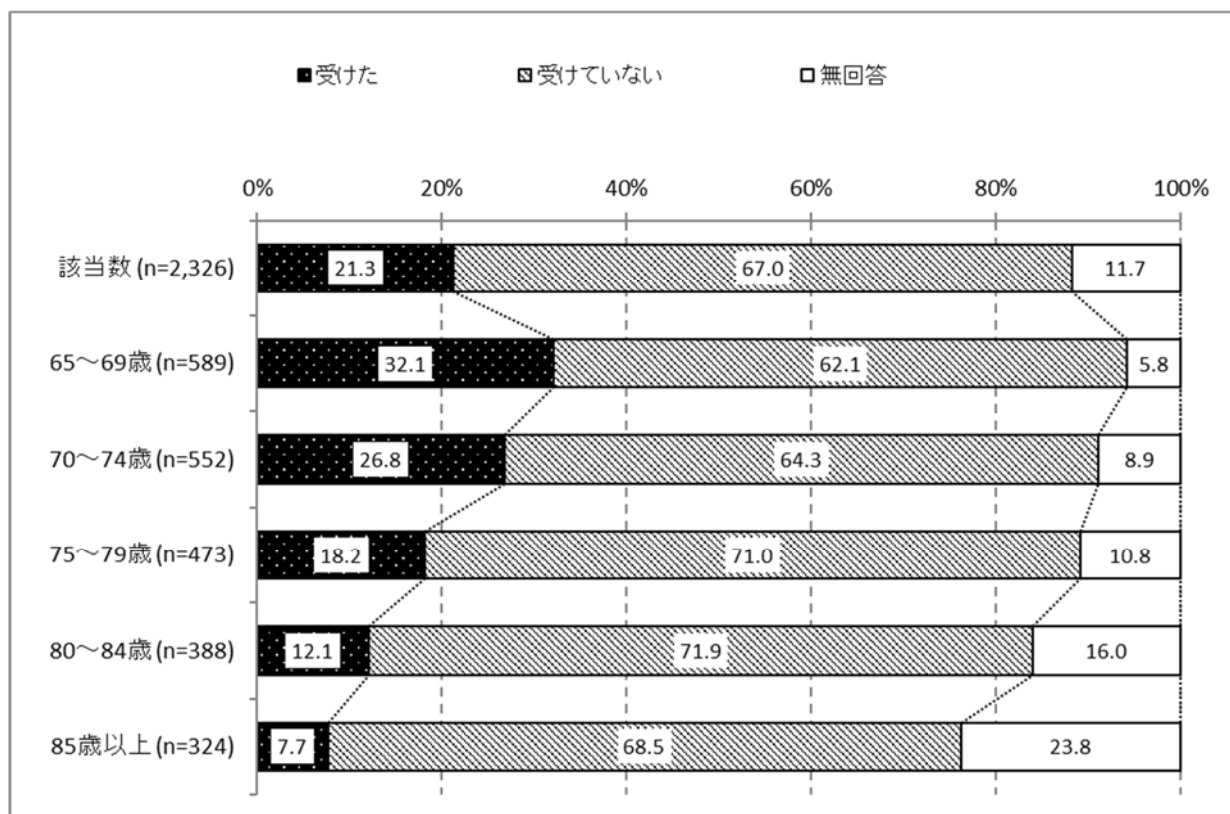


図 11 過去 2 年間の子宮頸がん検診の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
該当数	人数	2,326	495	1,558	273
	%	100.0	21.3	67.0	11.7
65~69歳	人数	589	189	366	34
	%	100.0	32.1	62.1	5.8
70~74歳	人数	552	148	355	49
	%	100.0	26.8	64.3	8.9
75~79歳	人数	473	86	336	51
	%	100.0	18.2	71.0	10.8
80~84歳	人数	388	47	279	62
	%	100.0	12.1	71.9	16.0
85歳以上	人数	324	25	222	77
	%	100.0	7.7	68.5	23.8

図 11 過去 2 年間の子宮頸がん検診の受診

過去2年間に子宮頸がん検診を受けたと回答した女性(495人)に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」(43.4%)、「保険診療」(13.3%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「市の検診」は「65-69歳」で高い。「保険診療」は年齢が高いほど高くなっている。

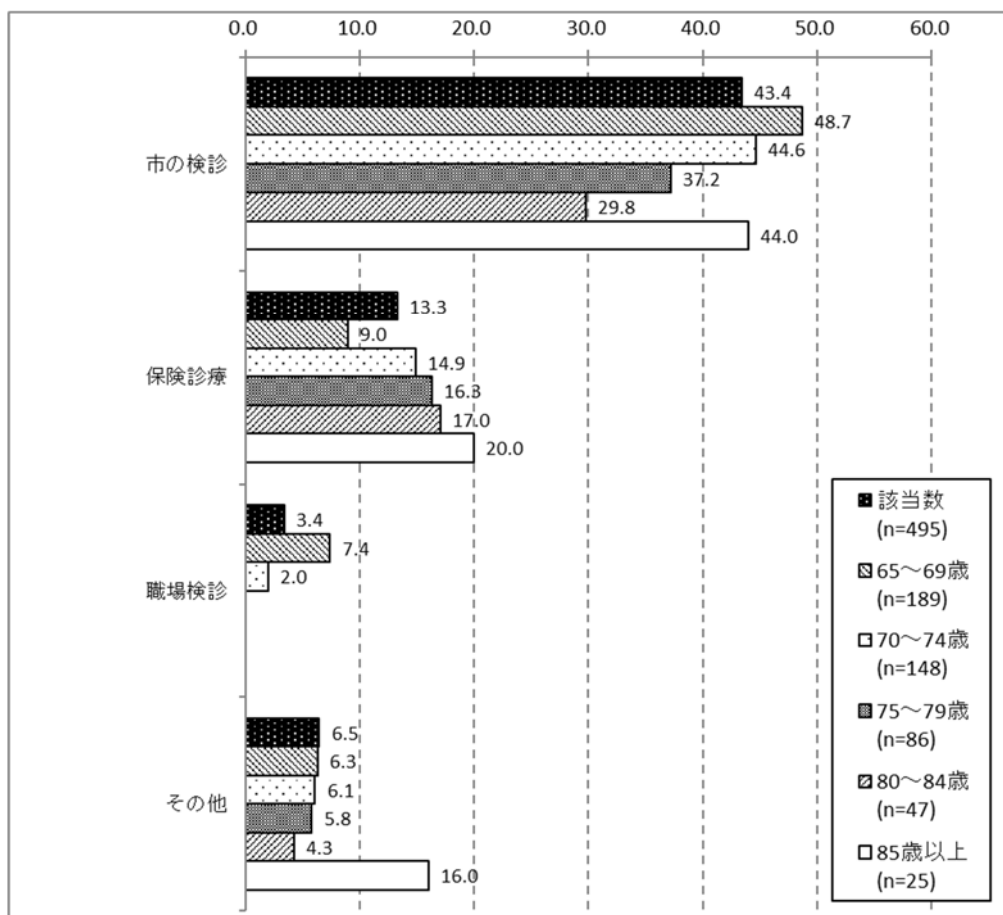


図 12 過去2年間の子宮頸がん検診の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	495	215	66	17	32	167	497
	%	100.0	43.4	13.3	3.4	6.5	33.7	100.4
65~69歳	人数	189	92	17	14	12	54	189
	%	100.0	48.7	9.0	7.4	6.3	28.6	100.0
70~74歳	人数	148	66	22	3	9	48	148
	%	100.0	44.6	14.9	2.0	6.1	32.4	100.0
75~79歳	人数	86	32	14	-	5	36	87
	%	100.0	37.2	16.3	-	5.8	41.9	101.2
80~84歳	人数	47	14	8	-	2	23	47
	%	100.0	29.8	17.0	-	4.3	48.9	100.0
85歳以上	人数	25	11	5	-	4	6	26
	%	100.0	44.0	20.0	-	16.0	24.0	104.0

表 12 過去2年間の子宮頸がん検診の受診方法

【問 2】

1) 過去 1 年間に健診(検診)を受けましたか。受けた方は、その方法も健診毎にお答えください。
乳がん検診(女性のみ) 過去 2 年についてお答えください

女性(2,326人)に、過去 2 年間に乳がん検診を受けたかを聞いたところ、「受けた」は 25.4%、「受けていない」は 63.3%となっている。

年齢別にみると、「受けた」は年齢が低いほど、「受けていない」は年齢が高いほど高くなっている。

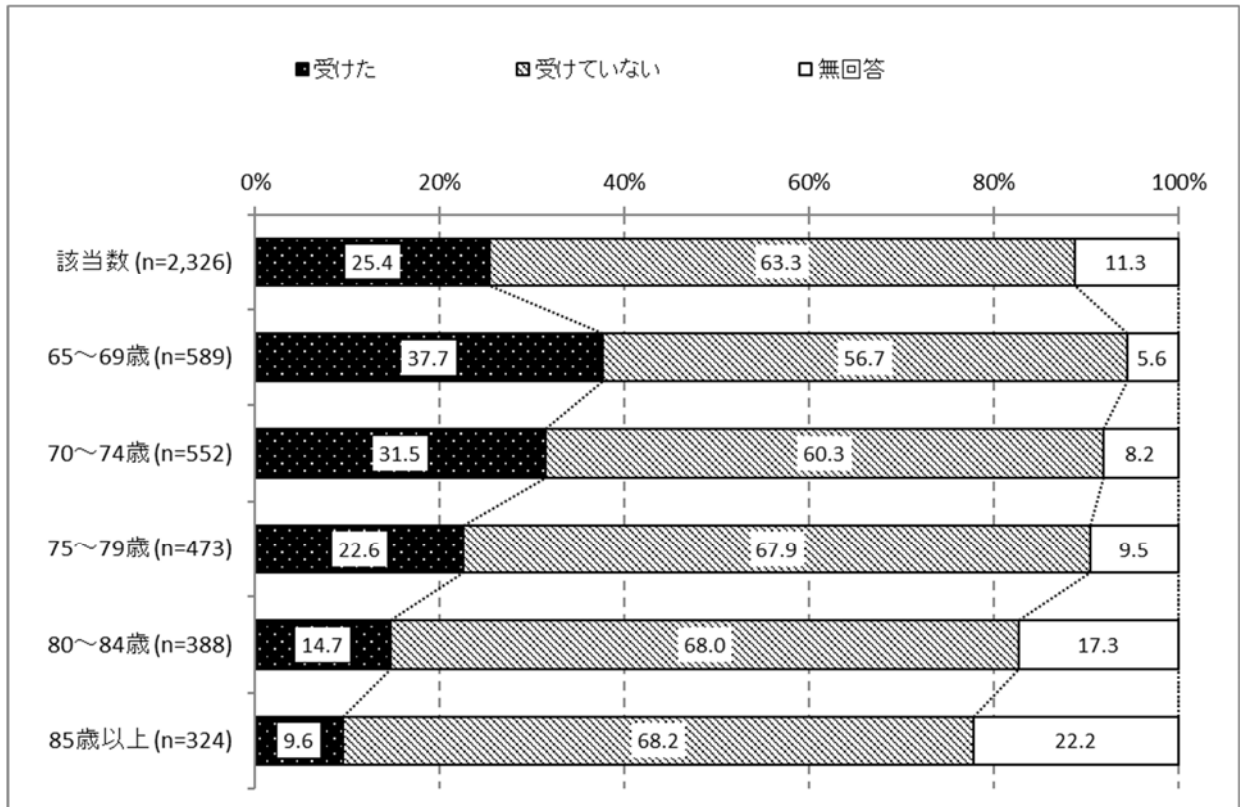


図 13 過去 2 年間の乳がん検診の受診

		サンプル数	受けた	受けていない	無回答
該当数	人数	2,326	591	1,473	262
	%	100.0	25.4	63.3	11.3
65～69歳	人数	589	222	334	33
	%	100.0	37.7	56.7	5.6
70～74歳	人数	552	174	333	45
	%	100.0	31.5	60.3	8.2
75～79歳	人数	473	107	321	45
	%	100.0	22.6	67.9	9.5
80～84歳	人数	388	57	264	67
	%	100.0	14.7	68.0	17.3
85歳以上	人数	324	31	221	72
	%	100.0	9.6	68.2	22.2

図 13 過去 2 年間の乳がん検診の受診

過去2年間に乳がん検診を受けたと回答した女性(591人)に、その方法を挙げてもらったところ、「市の検診」(44.7%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「市の検診」は年齢が低いほど高くなっている。

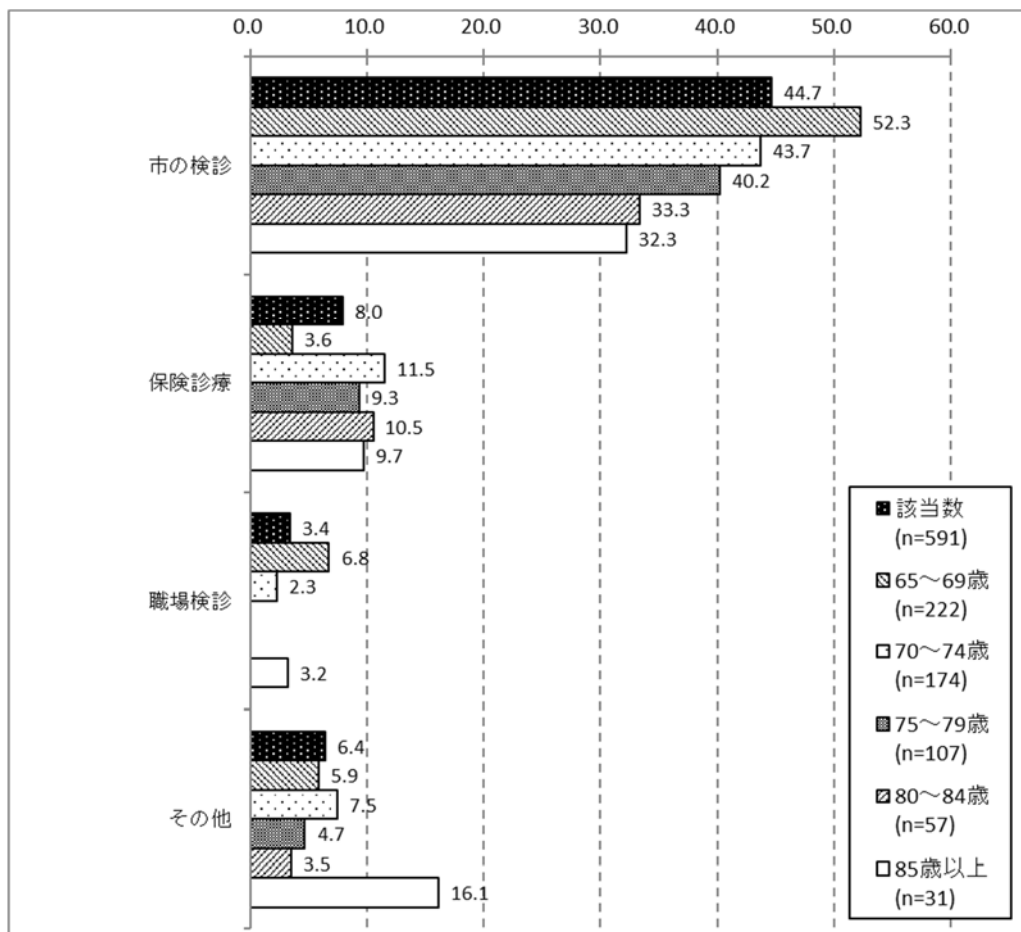


図 14 過去2年間の乳がん検診の受診方法

		サンプル数	市の検診	保険診療	職場検診	その他	無回答	回答計
該当数	人数	591	264	47	20	38	223	592
	%	100.0	44.7	8.0	3.4	6.4	37.7	100.2
65~69歳	人数	222	116	8	15	13	70	222
	%	100.0	52.3	3.6	6.8	5.9	31.5	100.0
70~74歳	人数	174	76	20	4	13	61	174
	%	100.0	43.7	11.5	2.3	7.5	35.1	100.0
75~79歳	人数	107	43	10	-	5	49	107
	%	100.0	40.2	9.3	-	4.7	45.8	100.0
80~84歳	人数	57	19	6	-	2	30	57
	%	100.0	33.3	10.5	-	3.5	52.6	100.0
85歳以上	人数	31	10	3	1	5	13	32
	%	100.0	32.3	9.7	3.2	16.1	41.9	103.2

表 14 過去2年間の乳がん検診の受診方法

【問2】

2) 健康診査を過去1年間に「受けた」と答えた方にお尋ねします。健診を受けた後の受診状況や生活改善等について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

過去1年間に健康診査を受けたと回答した人(3,312人)に、健診を受けた後の受診状況や生活改善等を挙げてもらったところ、「食生活の改善に取り組んでいる」(28.3%)、「再検査や治療を勧められ受診した」(23.3%)、「運動習慣を取り入れている」(21.6%)などが挙げられた。

年齢別にみると、「運動習慣を取り入れている」は「70-74歳」でやや高い。

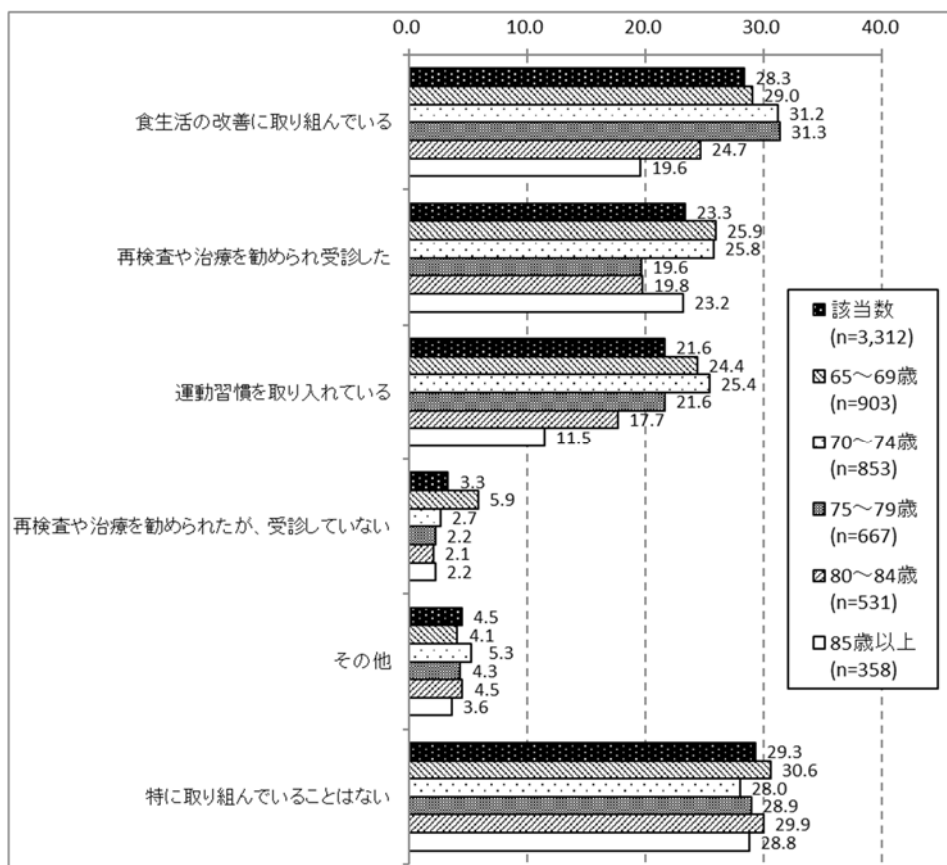


図 15 健診を受けた後の受診状況や生活改善等

		サンプル数	食生活の改善に取り組んでいる	再検査や治療を勧められ受診した	運動習慣を取り入れている	再検査や治療を勧められたが未受診	その他	特に取り組んでいることはない	無回答	回答計
該当数	人数	3,312	938	773	716	110	148	970	465	4,120
	%	100.0	28.3	23.3	21.6	3.3	4.5	29.3	14.0	124.4
65~69歳	人数	903	262	234	220	53	37	276	63	1,145
	%	100.0	29.0	25.9	24.4	5.9	4.1	30.6	7.0	126.8
70~74歳	人数	853	266	220	217	23	45	239	89	1,099
	%	100.0	31.2	25.8	25.4	2.7	5.3	28.0	10.4	128.8
75~79歳	人数	667	209	131	144	15	29	193	110	831
	%	100.0	31.3	19.6	21.6	2.2	4.3	28.9	16.5	124.6
80~84歳	人数	531	131	105	94	11	24	159	109	633
	%	100.0	24.7	19.8	17.7	2.1	4.5	29.9	20.5	119.2
85歳以上	人数	358	70	83	41	8	13	103	94	412
	%	100.0	19.6	23.2	11.5	2.2	3.6	28.8	26.3	115.1

表 15 健診を受けた後の受診状況や生活改善等

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いもの1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)
健康診査(血圧・血液検査・尿検査等)

健康診査(血圧・血液検査・尿検査等)を受けていないと回答した人(662人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は1.5%、「対象外だった」は0.9%、「時間が取れなかった」は6.8%、「場所が遠い」は0.9%、「費用がかかる」は1.4%、「面倒である」は12.1%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は0.6%、「結果が不安」は2.0%、「毎年受ける必要性を感じない」は7.3%、「健康状態に自信がある」は2.9%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は20.5%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は9.1%、「その他」は4.1%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」、「毎年受ける必要性を感じない」は年齢が低いほど高くなっている。

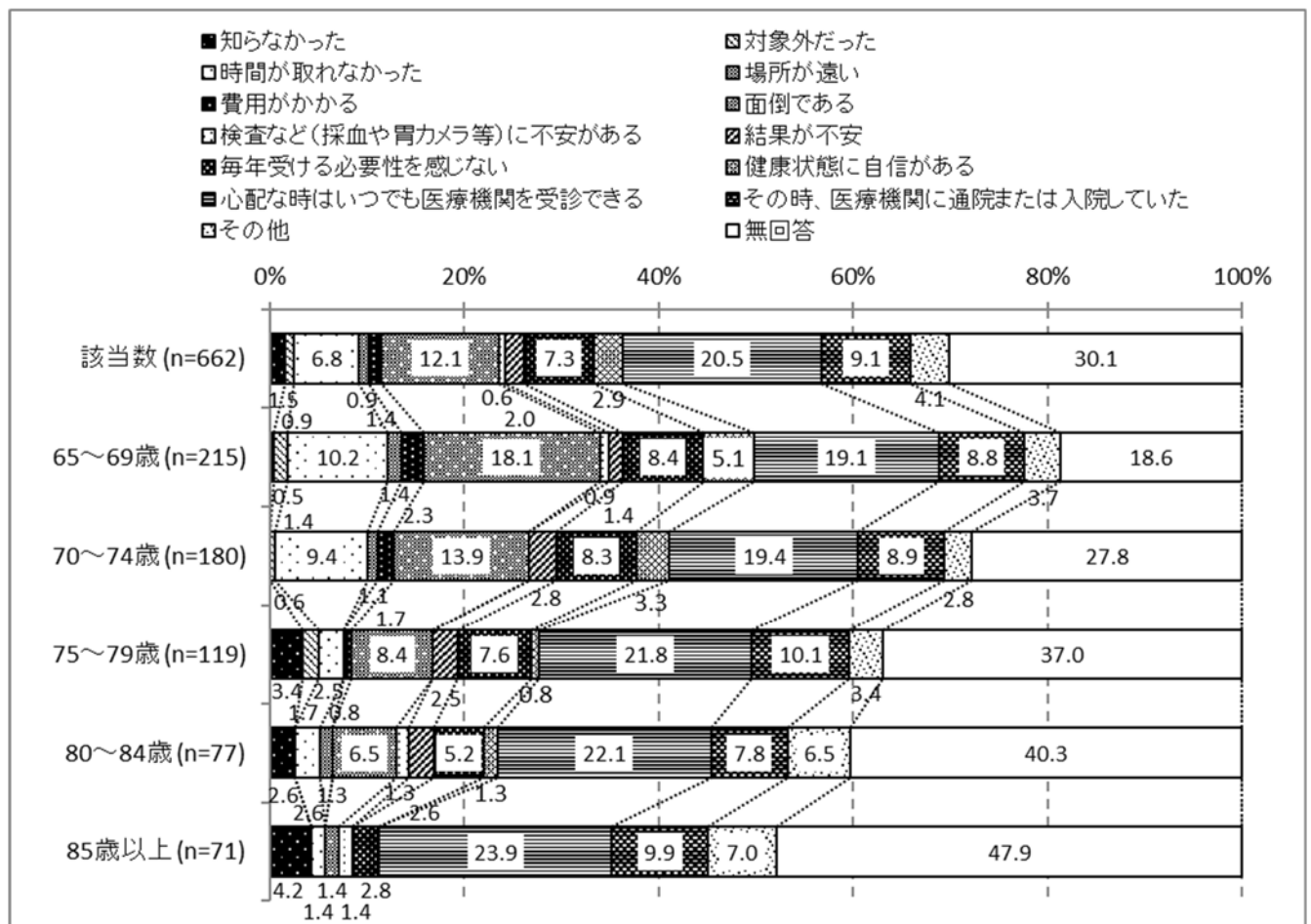


図 16 健康診査を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	662	10	6	45	6	9	80	4
	%	100.0	1.5	0.9	6.8	0.9	1.4	12.1	0.6
65～69歳	人数	215	1	3	22	3	5	39	2
	%	100.0	0.5	1.4	10.2	1.4	2.3	18.1	0.9
70～74歳	人数	180	-	1	17	2	3	25	-
	%	100.0	-	0.6	9.4	1.1	1.7	13.9	-
75～79歳	人数	119	4	2	3	-	1	10	-
	%	100.0	3.4	1.7	2.5	-	0.8	8.4	-
80～84歳	人数	77	2	-	2	1	-	5	1
	%	100.0	2.6	-	2.6	1.3	-	6.5	1.3
85歳以上	人数	71	3	-	1	-	-	1	1
	%	100.0	4.2	-	1.4	-	-	1.4	1.4
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	13	48	19	136	60	27	199	
	%	2.0	7.3	2.9	20.5	9.1	4.1	30.1	
65～69歳	人数	3	18	11	41	19	8	40	
	%	1.4	8.4	5.1	19.1	8.8	3.7	18.6	
70～74歳	人数	5	15	6	35	16	5	50	
	%	2.8	8.3	3.3	19.4	8.9	2.8	27.8	
75～79歳	人数	3	9	1	26	12	4	44	
	%	2.5	7.6	0.8	21.8	10.1	3.4	37.0	
80～84歳	人数	2	4	1	17	6	5	31	
	%	2.6	5.2	1.3	22.1	7.8	6.5	40.3	
85歳以上	人数	-	2	-	17	7	5	34	
	%	-	2.8	-	23.9	9.9	7.0	47.9	

表 16 健康診査を受けなかった理由

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いもの1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)

胃がん検診

胃がん検診を受けていないと回答した人(1,911人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は0.6%、「対象外だった」は2.9%、「時間が取れなかった」は5.0%、「場所が遠い」は0.7%、「費用がかかる」は1.4%、「面倒である」は8.0%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は6.6%、「結果が不安」は8.8%、「毎年受ける必要性を感じない」は3.6%、「健康状態に自信がある」は16.9%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は2.6%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は2.4%、「その他」は2.4%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は年齢が低いほど高くなっている。

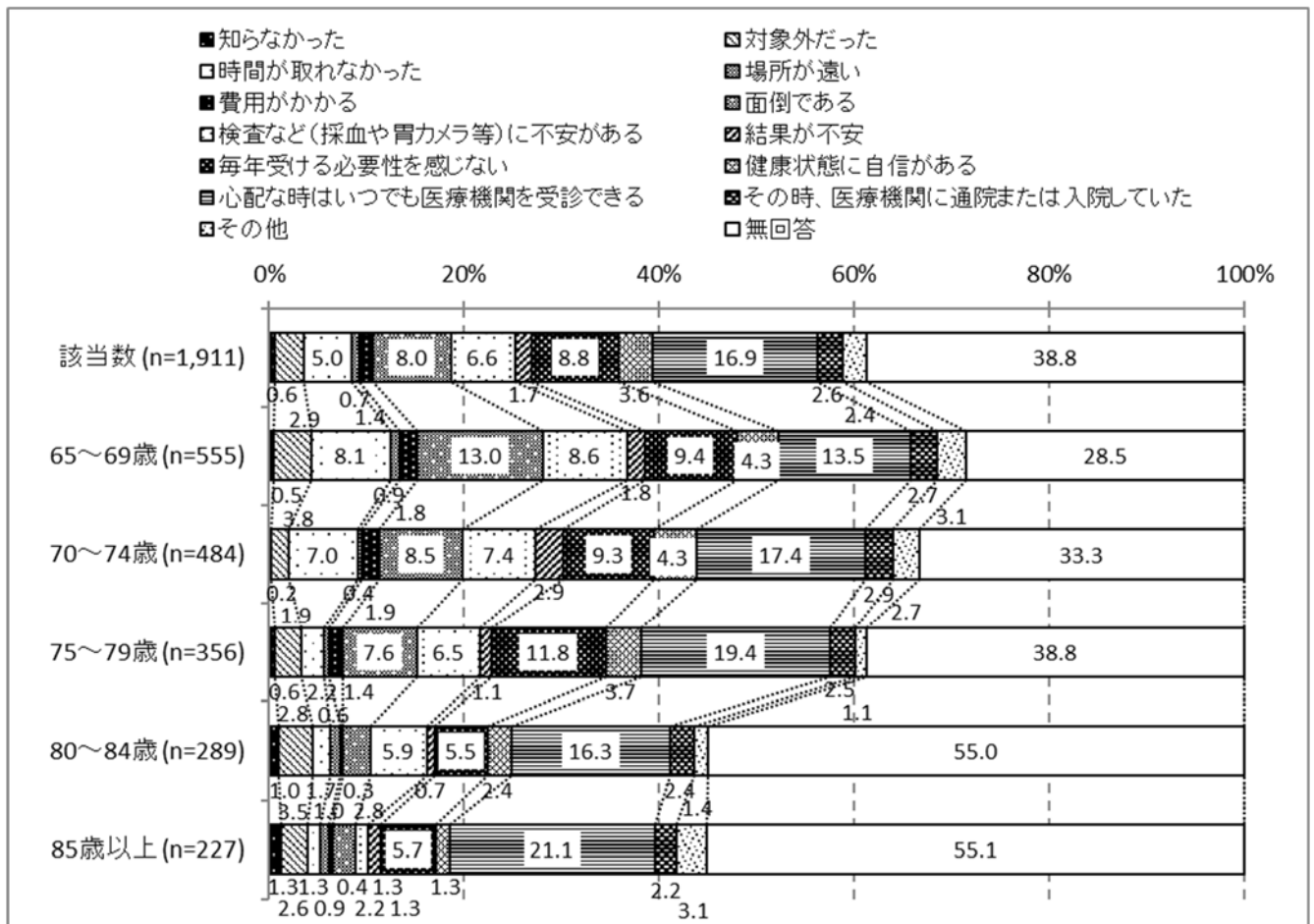


図 17 胃がん検診を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	1,911	12	56	95	14	26	153	127
	%	100.0	0.6	2.9	5.0	0.7	1.4	8.0	6.6
65～69歳	人数	555	3	21	45	5	10	72	48
	%	100.0	0.5	3.8	8.1	0.9	1.8	13.0	8.6
70～74歳	人数	484	1	9	34	2	9	41	36
	%	100.0	0.2	1.9	7.0	0.4	1.9	8.5	7.4
75～79歳	人数	356	2	10	8	2	5	27	23
	%	100.0	0.6	2.8	2.2	0.6	1.4	7.6	6.5
80～84歳	人数	289	3	10	5	3	1	8	17
	%	100.0	1.0	3.5	1.7	1.0	0.3	2.8	5.9
85歳以上	人数	227	3	6	3	2	1	5	3
	%	100.0	1.3	2.6	1.3	0.9	0.4	2.2	1.3
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	33	168	68	323	50	45	741	
	%	1.7	8.8	3.6	16.9	2.6	2.4	38.8	
65～69歳	人数	10	52	24	75	15	17	158	
	%	1.8	9.4	4.3	13.5	2.7	3.1	28.5	
70～74歳	人数	14	45	21	84	14	13	161	
	%	2.9	9.3	4.3	17.4	2.9	2.7	33.3	
75～79歳	人数	4	42	13	69	9	4	138	
	%	1.1	11.8	3.7	19.4	2.5	1.1	38.8	
80～84歳	人数	2	16	7	47	7	4	159	
	%	0.7	5.5	2.4	16.3	2.4	1.4	55.0	
85歳以上	人数	3	13	3	48	5	7	125	
	%	1.3	5.7	1.3	21.1	2.2	3.1	55.1	

表 17 胃がん検診を受けなかった理由

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いもの1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)

肺がん検診

肺がん検診を受けていないと回答した人(1,532人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は0.8%、「対象外だった」は2.5%、「時間が取れなかった」は5.4%、「場所が遠い」は0.4%、「費用がかかる」は1.4%、「面倒である」は9.4%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は1.5%、「結果が不安」は2.1%、「毎年受ける必要性を感じない」は9.2%、「健康状態に自信がある」は4.4%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は18.2%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は3.4%、「その他」は2.2%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」は「65-69歳」で高い。

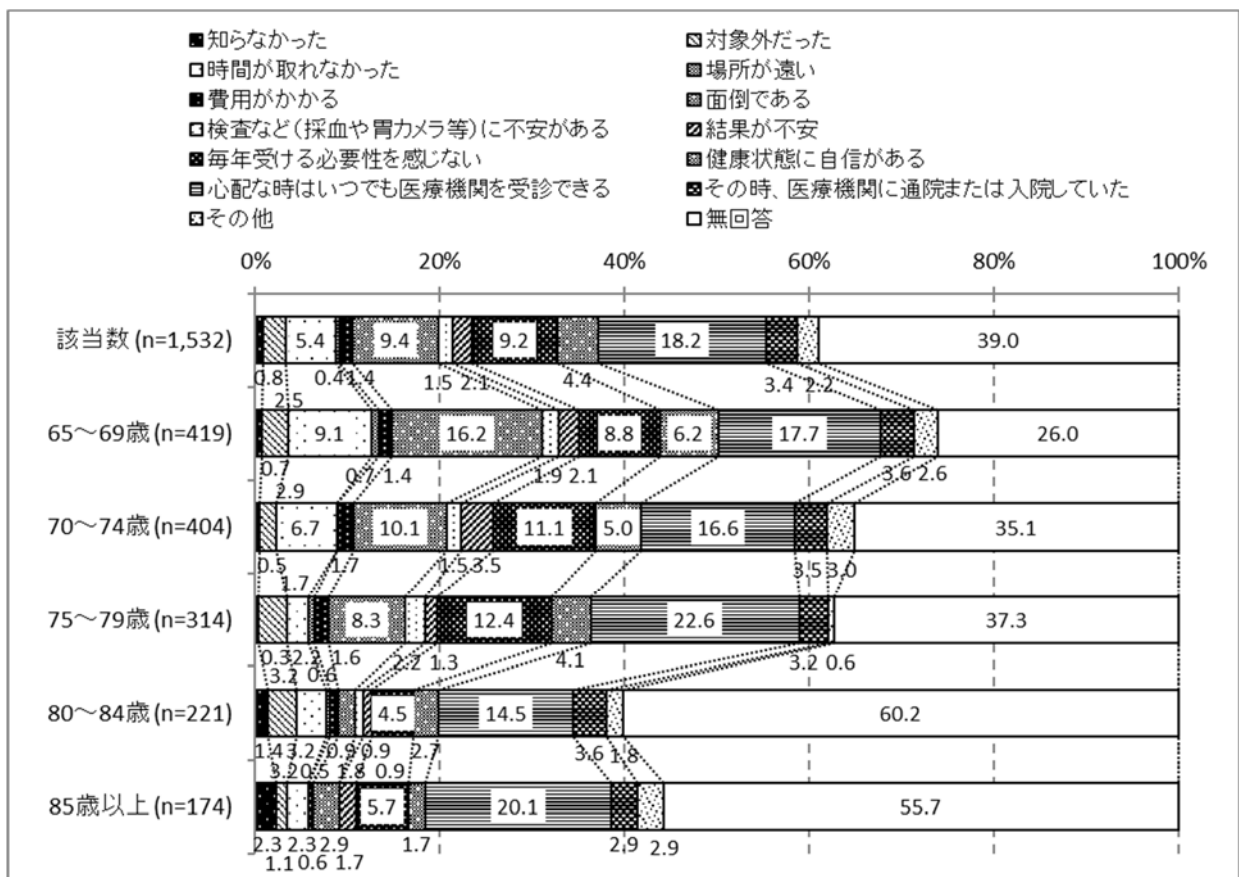


図 18 肺がん検診を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	1,532	13	38	83	6	21	144	23
	%	100.0	0.8	2.5	5.4	0.4	1.4	9.4	1.5
65～69歳	人数	419	3	12	38	3	6	68	8
	%	100.0	0.7	2.9	9.1	0.7	1.4	16.2	1.9
70～74歳	人数	404	2	7	27	-	7	41	6
	%	100.0	0.5	1.7	6.7	-	1.7	10.1	1.5
75～79歳	人数	314	1	10	7	2	5	26	7
	%	100.0	0.3	3.2	2.2	0.6	1.6	8.3	2.2
80～84歳	人数	221	3	7	7	1	2	4	2
	%	100.0	1.4	3.2	3.2	0.5	0.9	1.8	0.9
85歳以上	人数	174	4	2	4	-	1	5	-
	%	100.0	2.3	1.1	2.3	-	0.6	2.9	-
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	32	141	68	279	52	34	598	
	%	2.1	9.2	4.4	18.2	3.4	2.2	39.0	
65～69歳	人数	9	37	26	74	15	11	109	
	%	2.1	8.8	6.2	17.7	3.6	2.6	26.0	
70～74歳	人数	14	45	20	67	14	12	142	
	%	3.5	11.1	5.0	16.6	3.5	3.0	35.1	
75～79歳	人数	4	39	13	71	10	2	117	
	%	1.3	12.4	4.1	22.6	3.2	0.6	37.3	
80～84歳	人数	2	10	6	32	8	4	133	
	%	0.9	4.5	2.7	14.5	3.6	1.8	60.2	
85歳以上	人数	3	10	3	35	5	5	97	
	%	1.7	5.7	1.7	20.1	2.9	2.9	55.7	

表 18 肺がん検診を受けなかった理由

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いもの1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)
大腸がん検診

大腸がん検診を受けていないと回答した人(1,918人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は0.7%、「対象外だった」は2.2%、「時間が取れなかった」は4.4%、「場所が遠い」は1.0%、「費用がかかる」は1.2%、「面倒である」は10.0%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は2.1%、「結果が不安」は2.3%、「毎年受ける必要性を感じない」は8.8%、「健康状態に自信がある」は3.8%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は17.6%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は2.5%、「その他」は2.2%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は年齢が低いほど高くなっている。「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は「75-79歳」で高い。

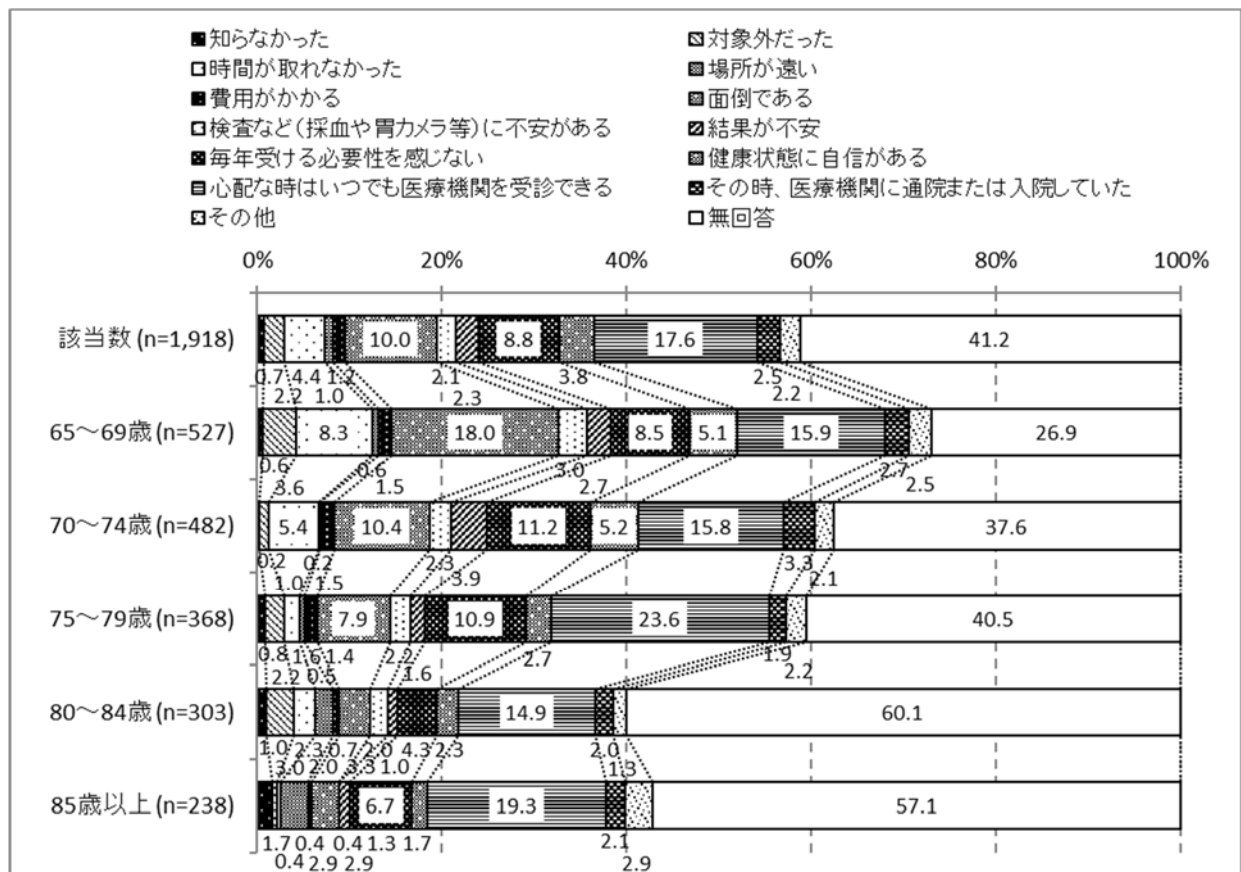


図 19 大腸がん検診を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	1,918	14	42	84	19	23	191	41
	%	100.0	0.7	2.2	4.4	1.0	1.2	10.0	2.1
65～69歳	人数	527	3	19	44	3	8	95	16
	%	100.0	0.6	3.6	8.3	0.6	1.5	18.0	3.0
70～74歳	人数	482	1	5	26	1	7	50	11
	%	100.0	0.2	1.0	5.4	0.2	1.5	10.4	2.3
75～79歳	人数	368	3	8	6	2	5	29	8
	%	100.0	0.8	2.2	1.6	0.5	1.4	7.9	2.2
80～84歳	人数	303	3	9	7	6	2	10	6
	%	100.0	1.0	3.0	2.3	2.0	0.7	3.3	2.0
85歳以上	人数	238	4	1	1	7	1	7	-
	%	100.0	1.7	0.4	0.4	2.9	0.4	2.9	-
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	45	168	73	338	48	42	790	
	%	2.3	8.8	3.8	17.6	2.5	2.2	41.2	
65～69歳	人数	14	45	27	84	14	13	142	
	%	2.7	8.5	5.1	15.9	2.7	2.5	26.9	
70～74歳	人数	19	54	25	76	16	10	181	
	%	3.9	11.2	5.2	15.8	3.3	2.1	37.6	
75～79歳	人数	6	40	10	87	7	8	149	
	%	1.6	10.9	2.7	23.6	1.9	2.2	40.5	
80～84歳	人数	3	13	7	45	6	4	182	
	%	1.0	4.3	2.3	14.9	2.0	1.3	60.1	
85歳以上	人数	3	16	4	46	5	7	136	
	%	1.3	6.7	1.7	19.3	2.1	2.9	57.1	

表 19 大腸がん検診を受けなかった理由

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いものを1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)
子宮頸がん検診(女性のみ)

子宮頸がん検診を受けていないと回答した女性(1,558人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は0.5%、「対象外だった」は4.7%、「時間が取れなかった」は3.7%、「場所が遠い」は1.2%、「費用がかかる」は1.3%、「面倒である」は8.6%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は1.3%、「結果が不安」は2.1%、「毎年受ける必要性を感じない」は8.7%、「健康状態に自信がある」は3.0%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は16.9%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は1.3%、「その他」は3.7%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」は年齢が低いほど高くなっている。

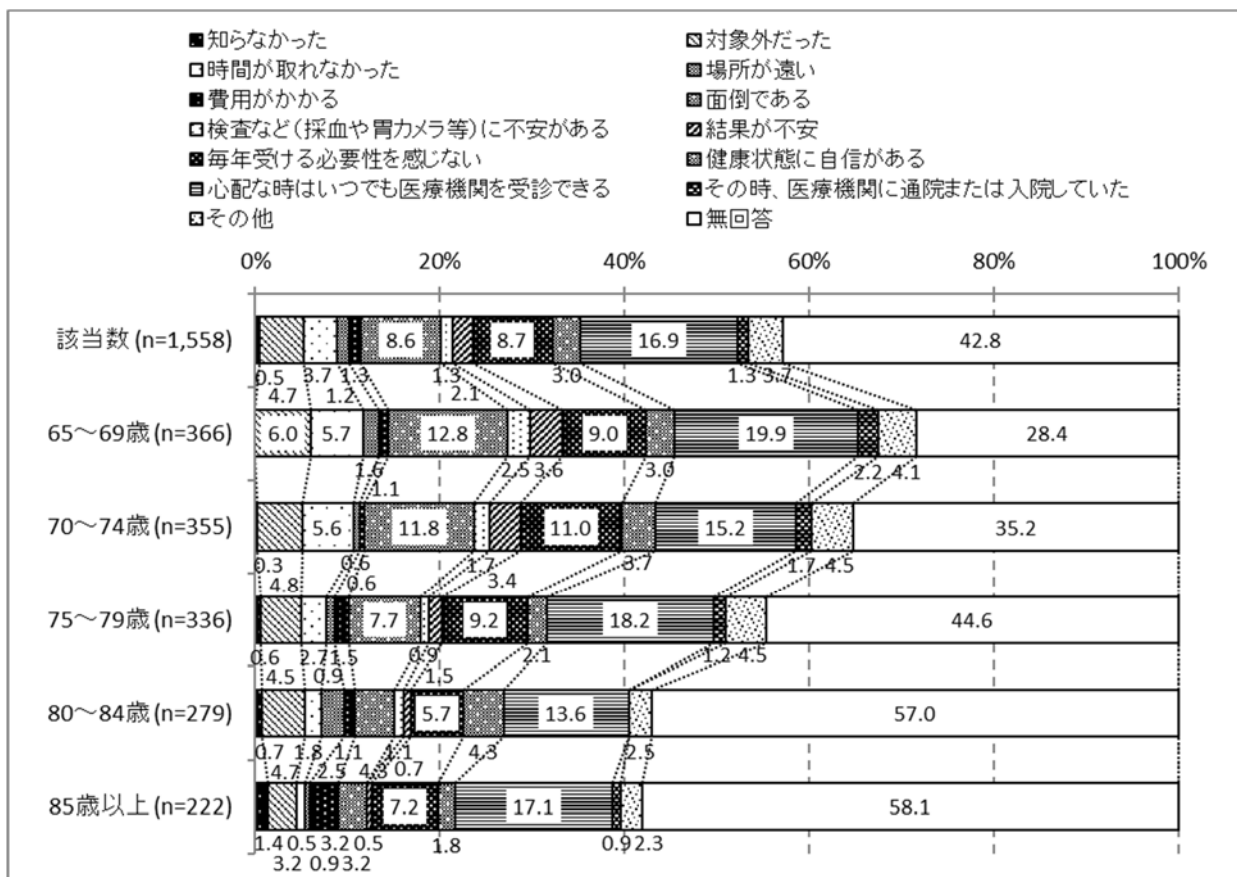


図20 子宮頸がん検診を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	1,558	8	74	57	19	21	134	21
	%	100.0	0.5	4.7	3.7	1.2	1.3	8.6	1.3
65～69歳	人数	366	-	22	21	6	4	47	9
	%	100.0	-	6.0	5.7	1.6	1.1	12.8	2.5
70～74歳	人数	355	1	17	20	2	2	42	6
	%	100.0	0.3	4.8	5.6	0.6	0.6	11.8	1.7
75～79歳	人数	336	2	15	9	3	5	26	3
	%	100.0	0.6	4.5	2.7	0.9	1.5	7.7	0.9
80～84歳	人数	279	2	13	5	7	3	12	3
	%	100.0	0.7	4.7	1.8	2.5	1.1	4.3	1.1
85歳以上	人数	222	3	7	2	1	7	7	-
	%	100.0	1.4	3.2	0.9	0.5	3.2	3.2	-
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	33	135	47	264	20	58	667	
	%	2.1	8.7	3.0	16.9	1.3	3.7	42.8	
65～69歳	人数	13	33	11	73	8	15	104	
	%	3.6	9.0	3.0	19.9	2.2	4.1	28.4	
70～74歳	人数	12	39	13	54	6	16	125	
	%	3.4	11.0	3.7	15.2	1.7	4.5	35.2	
75～79歳	人数	5	31	7	61	4	15	150	
	%	1.5	9.2	2.1	18.2	1.2	4.5	44.6	
80～84歳	人数	2	16	12	38	-	7	159	
	%	0.7	5.7	4.3	13.6	-	2.5	57.0	
85歳以上	人数	1	16	4	38	2	5	129	
	%	0.5	7.2	1.8	17.1	0.9	2.3	58.1	

表 20 子宮頸がん検診を受けなかった理由

【問2】

3) 前ページの1) ~ で、「受けていない」と答えた健診(検診)についてお尋ねします。各健診(検診)毎に、健診(検診)を受けなかった理由に最も近いもの1つを下記から選んで()に番号で記入してください。(子宮頸がん検診、乳がん検診は女性のみ)
乳がん検診(女性のみ)

乳がん検診を受けていないと回答した女性(1,473人)に、受けなかった理由に最も近いものを聞いたところ、「知らなかった」は0.4%、「対象外だった」は4.5%、「時間が取れなかった」は3.9%、「場所が遠い」は1.2%、「費用がかかる」は0.6%、「面倒である」は9.2%、「検査など(採血や胃カメラ等)に不安がある」は1.0%、「結果が不安」は2.2%、「毎年受ける必要性を感じない」は8.4%、「健康状態に自信がある」は3.8%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」は18.4%、「その時、医療機関に通院または入院していた」は1.1%、「その他」は2.5%となっている。

年齢別にみると、「面倒である」は「65-69歳」で高い。

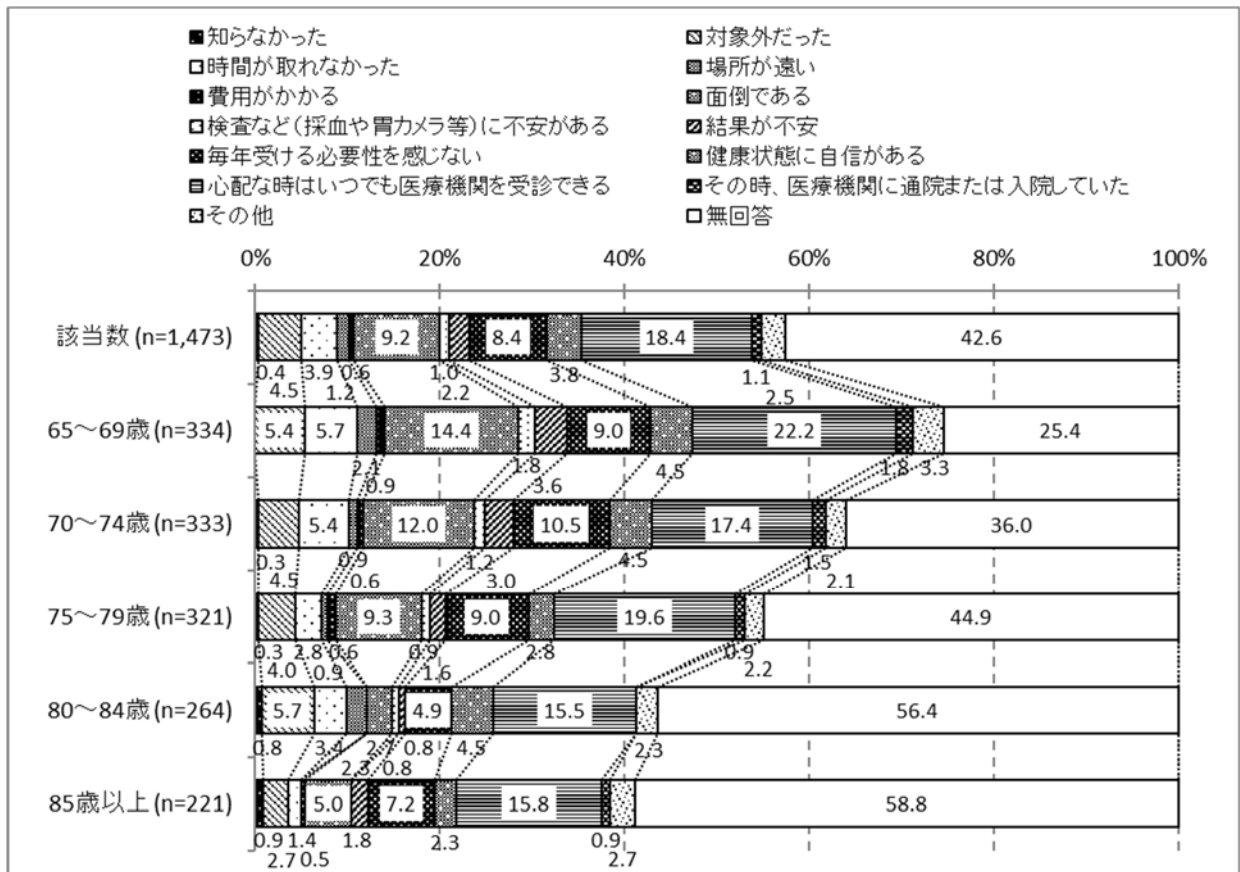


図21 乳がん検診を受けなかった理由

		サンプル数	知らなかった	対象外だった	時間が取れなかった	場所が遠い	費用がかかる	面倒である	検査などに不安がある
該当数	人数	1,473	6	67	58	18	9	136	15
	%	100.0	0.4	4.5	3.9	1.2	0.6	9.2	1.0
65～69歳	人数	334	-	18	19	7	3	48	6
	%	100.0	-	5.4	5.7	2.1	0.9	14.4	1.8
70～74歳	人数	333	1	15	18	3	2	40	4
	%	100.0	0.3	4.5	5.4	0.9	0.6	12.0	1.2
75～79歳	人数	321	1	13	9	2	3	30	3
	%	100.0	0.3	4.0	2.8	0.6	0.9	9.3	0.9
80～84歳	人数	264	2	15	9	6	-	7	2
	%	100.0	0.8	5.7	3.4	2.3	-	2.7	0.8
85歳以上	人数	221	2	6	3	-	1	11	-
	%	100.0	0.9	2.7	1.4	-	0.5	5.0	-
		結果が不安	毎年受ける必要性を感じない	健康状態に自信がある	心配時いつでも医療機関受診できる	その時、医療機関に通院または入院	その他	無回答	
該当数	人数	33	123	56	271	16	37	628	
	%	2.2	8.4	3.8	18.4	1.1	2.5	42.6	
65～69歳	人数	12	30	15	74	6	11	85	
	%	3.6	9.0	4.5	22.2	1.8	3.3	25.4	
70～74歳	人数	10	35	15	58	5	7	120	
	%	3.0	10.5	4.5	17.4	1.5	2.1	36.0	
75～79歳	人数	5	29	9	63	3	7	144	
	%	1.6	9.0	2.8	19.6	0.9	2.2	44.9	
80～84歳	人数	2	13	12	41	-	6	149	
	%	0.8	4.9	4.5	15.5	-	2.3	56.4	
85歳以上	人数	4	16	5	35	2	6	130	
	%	1.8	7.2	2.3	15.8	0.9	2.7	58.8	

表 21 乳がん検診を受けなかった理由

【問3】アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について

1) 人生の最終段階の医療・療養について、意思に沿った医療・療養を受けるために、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、または繰り返し話し合うことをアドバンス・ケア・プランニング（ACP）といいます。知っていますか。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を知っているかを聞いたところ、「知っている」は10.8%、「聞いたことはあるがよく知らない」は24.0%、「知らない」は57.2%となっている。年齢別にみると、「聞いたことはあるがよく知らない」は「75-79歳」で、「知らない」は「65-69歳」で高い。

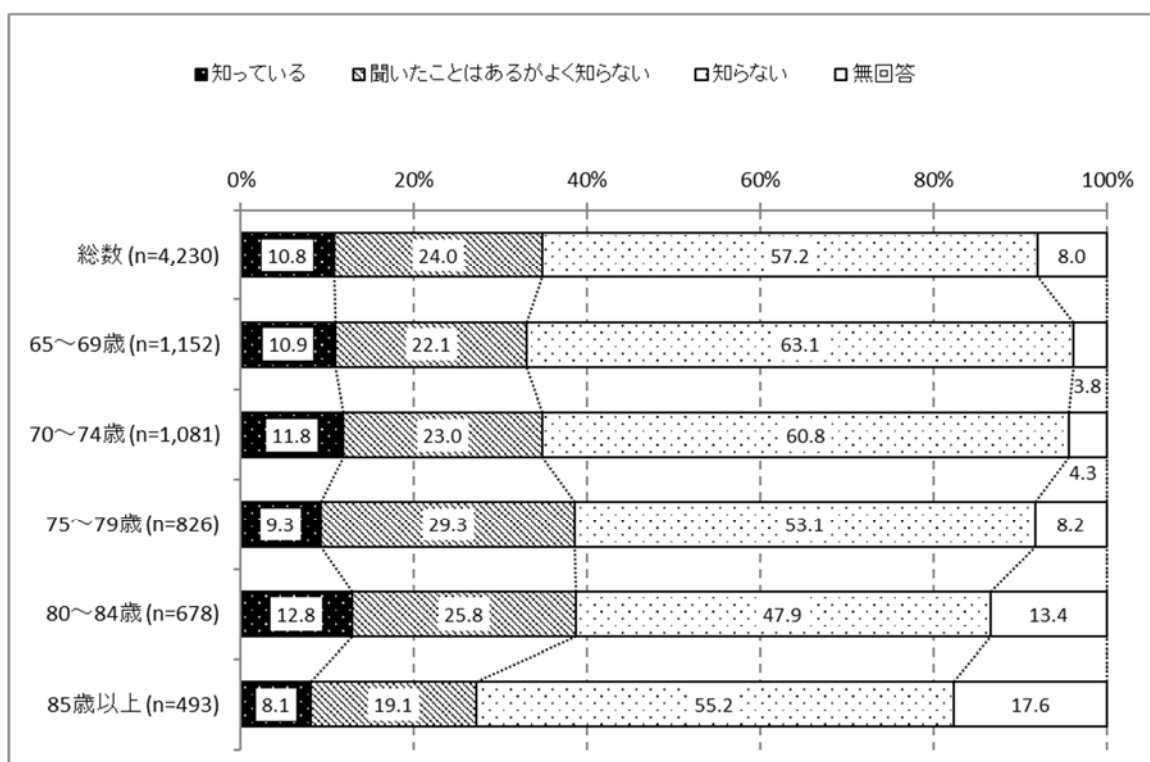


図 22 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	無回答
総数	人数	4,230	458	1,015	2,420	337
	%	100.0	10.8	24.0	57.2	8.0
65～69歳	人数	1,152	126	255	727	44
	%	100.0	10.9	22.1	63.1	3.8
70～74歳	人数	1,081	128	249	657	47
	%	100.0	11.8	23.0	60.8	4.3
75～79歳	人数	826	77	242	439	68
	%	100.0	9.3	29.3	53.1	8.2
80～84歳	人数	678	87	175	325	91
	%	100.0	12.8	25.8	47.9	13.4
85歳以上	人数	493	40	94	272	87
	%	100.0	8.1	19.1	55.2	17.6

表 22 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の認知度

【問3】

2) もし回復の見込みのない病気(状態)になったとき、あなたならどうしてほしいですか。
最もあてはまるもの1つに をつけてください。

もし回復の見込みのない病気(状態)になったとき、どうしてほしいかを聞いたところ、「少しでも延命できるよう、あらゆる治療をしてほしい」は2.5%、「延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい」は39.0%、「苦痛を少なくすることを重視したい」は28.8%、「今は分からない」は22.1%となっている。

年齢別にみると、「延命目的の治療はせず自然にまかせてほしい」は「85歳以上」で低い。

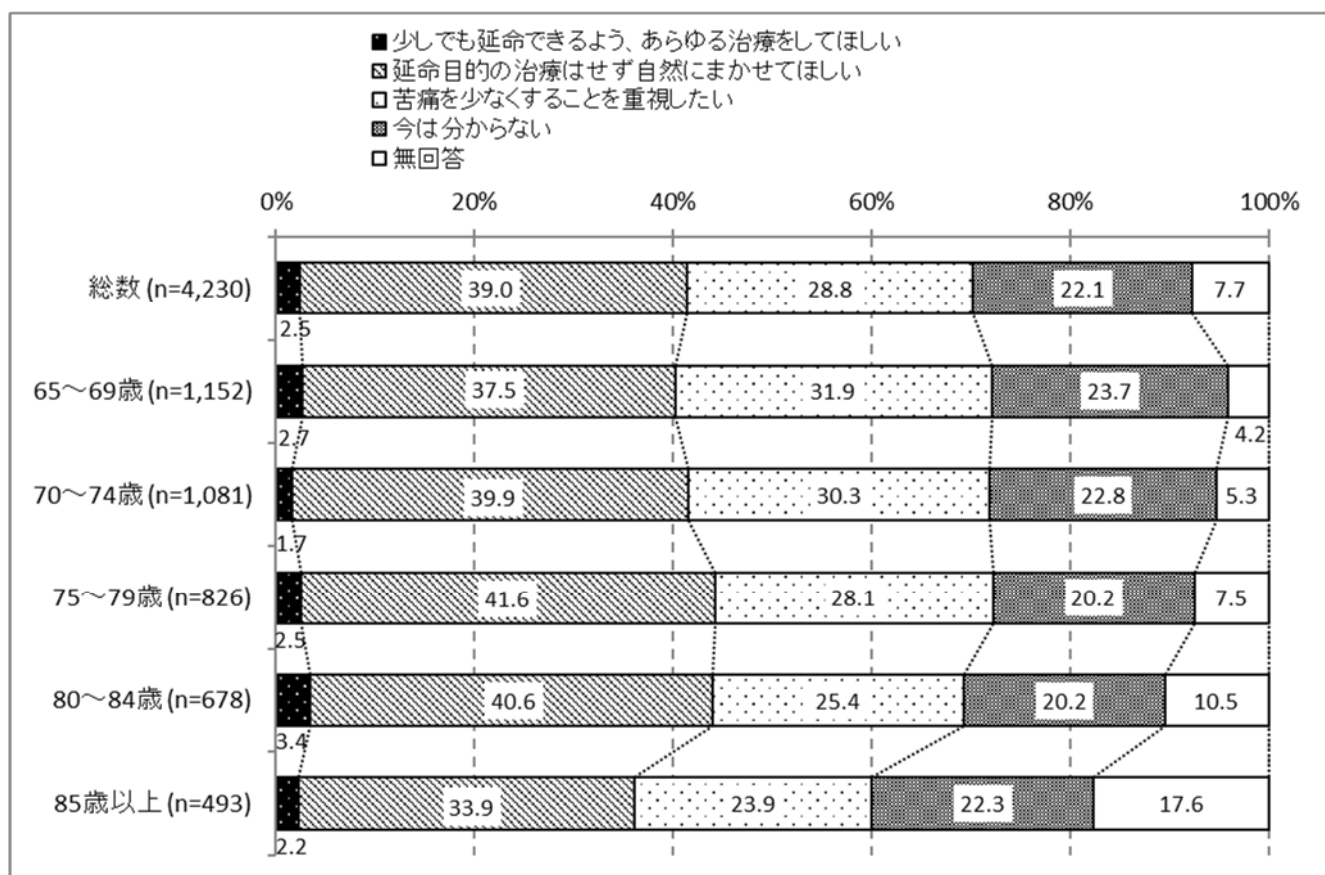


図 23 回復の見込みのない病気(状態)になったとき、どうしてほしいか

		サンプル 数	少しでも 延命、あ らゆる治 療ほしい	延命目的 の治療せ ず自然に まかせる	苦痛を少 なくする ことを重 視したい	今は分か らない	無回答
総数	人数	4,230	104	1,649	1,218	934	325
	%	100.0	2.5	39.0	28.8	22.1	7.7
65～69歳	人数	1,152	31	432	368	273	48
	%	100.0	2.7	37.5	31.9	23.7	4.2
70～74歳	人数	1,081	18	431	328	247	57
	%	100.0	1.7	39.9	30.3	22.8	5.3
75～79歳	人数	826	21	344	232	167	62
	%	100.0	2.5	41.6	28.1	20.2	7.5
80～84歳	人数	678	23	275	172	137	71
	%	100.0	3.4	40.6	25.4	20.2	10.5
85歳以上	人数	493	11	167	118	110	87
	%	100.0	2.2	33.9	23.9	22.3	17.6

表 23 回復の見込みのない病気（状態）になったとき、どうしてほしいか

(資 料) 基礎集計表